
荒尾市まちづくりアンケート 報告書

「荒尾市デジタル田園都市国家構想総合戦略」達成度評価等のための
アンケート調査

令和7年1月
荒尾市

<目次>

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収結果	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果	2
1. 対象者の基本属性	2
(1) 基本属性	2
(2) 移住の有無	3
2. 健康・福祉について	8
(1) 朝食の摂取状況	8
(2) 栄養バランスへの関心	9
(3) 日常的な運動の状況	10
(4) 健康診断や人間ドックの受診状況	11
(5) 保健や医療体制の満足度	13
3. 結婚・出産・子育てについて	15
(1) 結婚について	15
(2) 出産について	19
(3) 子育てについて	24
4. 生活全般について	27
(1) 給与・労働環境	27
(2) 公共交通の利用状況・満足度	32
(3) 街並みの評価	34
(4) 「荒尾干潟」の親しみやすさ	35
(5) 文化・教養に関する満足度	36
(6) スポーツに関する環境の満足度	37
(7) 防犯や防災に関する地域の安全性	38
(8) 多様性の尊重	39
(9) 障がい者への理解や関心	40
(10) 地域社会との交流	41
(11) 情報化について	42
5. 市民と行政との協働のまちづくりについて	47
(1) まちづくりに関する市民と行政の役割分担について	47
(2) 地域活動への参加	49
6. 荒尾市の住みやすさについて	53
(1) 荒尾市の住みやすさ	53
(2) 荒尾市への定住意向	61
7. 自由意見	64
【保健・医療・福祉分野】	64
【産業・観光分野】	65
【子育て・教育分野】	67
【スポーツ・文化・生涯学習分野】	70
【交通安全・防災・防犯分野】	72
【都市基盤、定住環境、公共交通分野】	73
【協働分野】	76
【環境保全・リサイクルの分野】	77
【市政全般・その他の分野】	78
第3章 調査票	81

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

「第6次荒尾市総合計画（荒尾市デジタル田園都市国家構想総合戦略）」に関する取り組みの効果を検証するとともに、市民のニーズや課題を抽出することを目的とした。

2. 調査設計と回収結果

調査対象	荒尾市内に居住する18歳以上90歳未満の方
抽出方法	郵送分：無作為抽出 ※地区ごとの人口比率に応じ抽出 市公式 LINE：友達登録者全て
調査方法	郵送による配布・回収、市公式 LINE による回答
配布数	郵送分：1,000通（うち、不達数0通） 市公式 LINE：12,018人 ※R6.9.6時点（荒尾市外住民含む、ブロック数除く）
有効回収数・回収率	郵送分：331件（33.1%） 市公式 LINE による回答数201件（1.6%）
調査期間	令和6年9月6日（金）～9月27日（金） ※ただし、9月27日（金）までの回収分を含む。

※例年、郵送により2,000人を対象に調査を行っていたが、令和4年度より市公式 LINE による調査を加えた。

3. 調査結果の見方

○回答は、原則として各質問の調査数を基数とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。

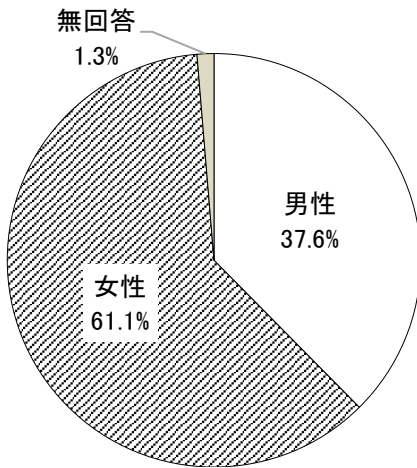
○本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

第2章 調査結果

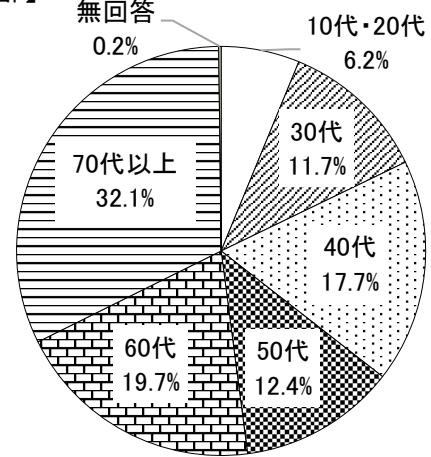
1. 対象者の基本属性

(1) 基本属性

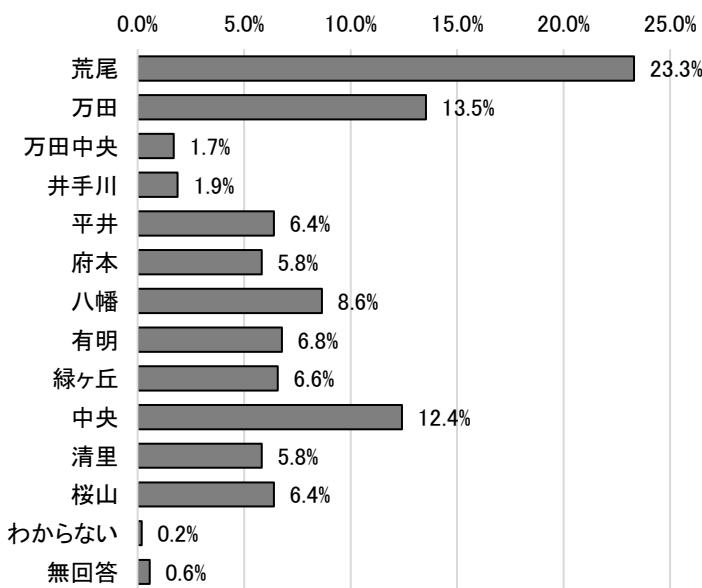
【性別】



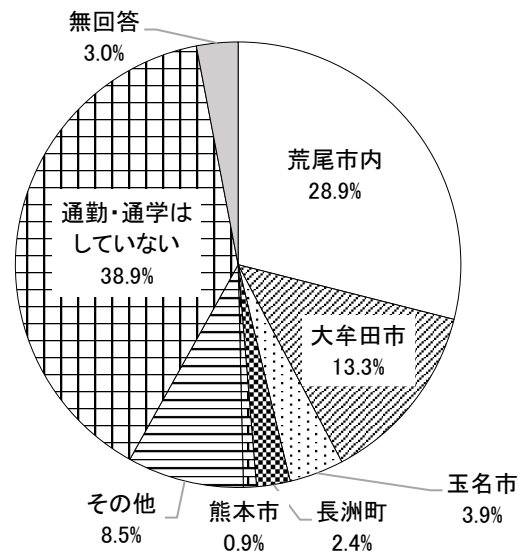
【年齢】



【居住地区】



【通勤地・通学地】



回答者の性別は、「女性」(61.1%)が過半数を占める。

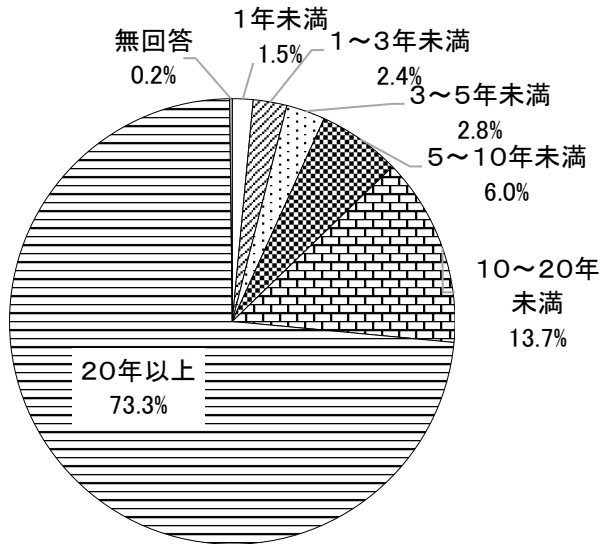
年齢は「70代以上」(32.1%)が最も高く、これに続く「60代」(19.7%)を合わせると回答者全体の半数以上(51.8%)になる。次いで「40代」(17.7%)、「50代」(12.4%)となっている。

居住地区は、「荒尾」(23.3%)が最も高く、次いで「万田」(13.5%)、「中央」(12.4%)となっている。

勤務地・通学地は、「荒尾市内」(28.9%)が最も高く、次いで「大牟田市」(13.3%)となっている。

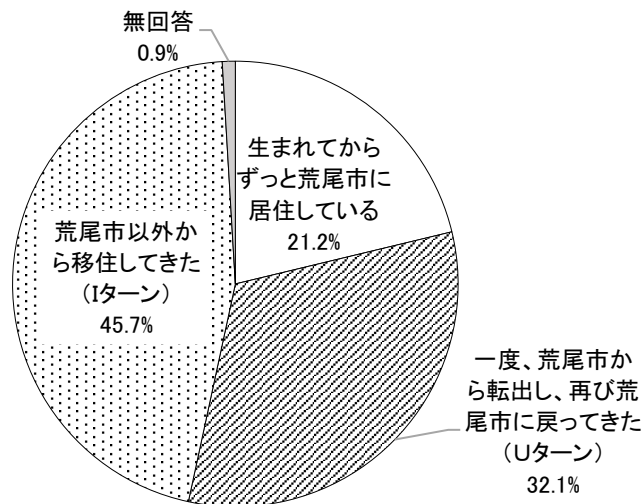
(2) 移住の有無

【荒尾市での居住年数】



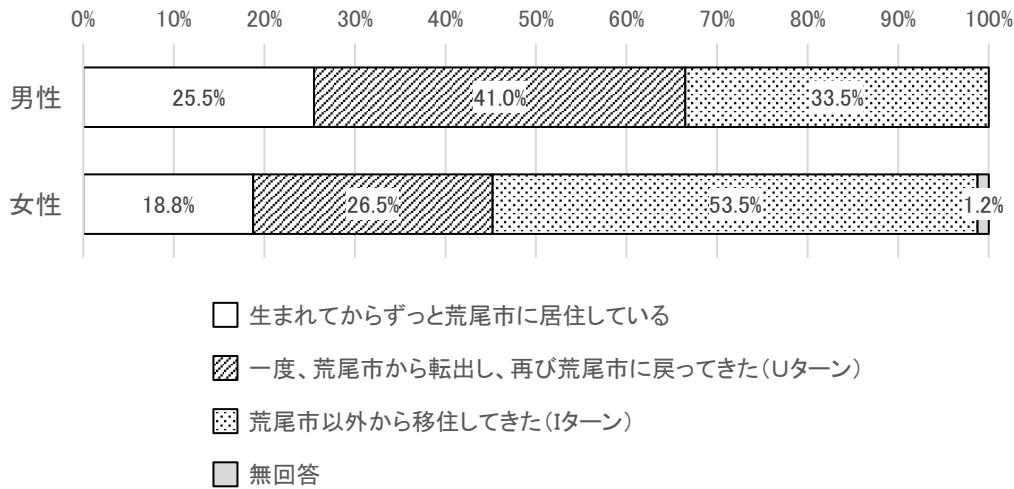
荒尾市での居住年数をみると、「20年以上」（73.3%）が最も高い。以下、居住年数が短くなるにつれて、割合も少なくなる傾向がある。

【移住の有無】



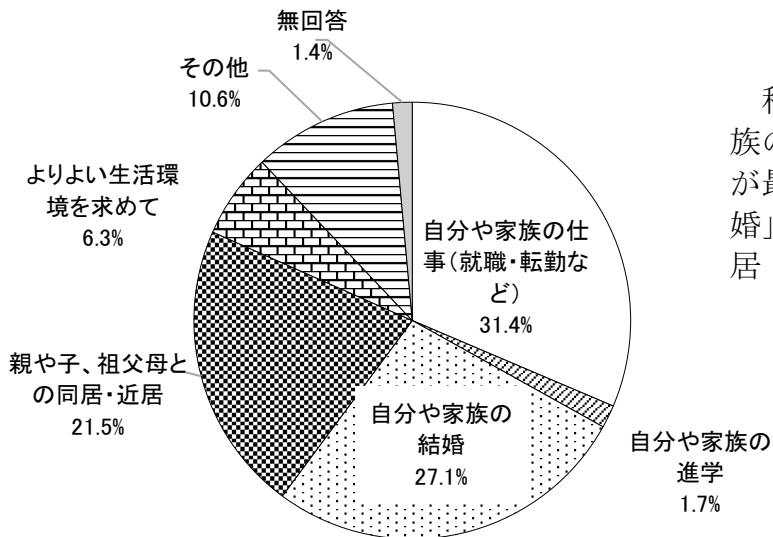
移住の有無をみると、「荒尾市以外から移住してきた（Iターン）」（45.7%）が最も高く、次いで「一度、荒尾市から転出し、再び荒尾市に戻ってきた（Uターン）」（32.1%）と、移住経験のある方が7割超となっている。

【男女別】



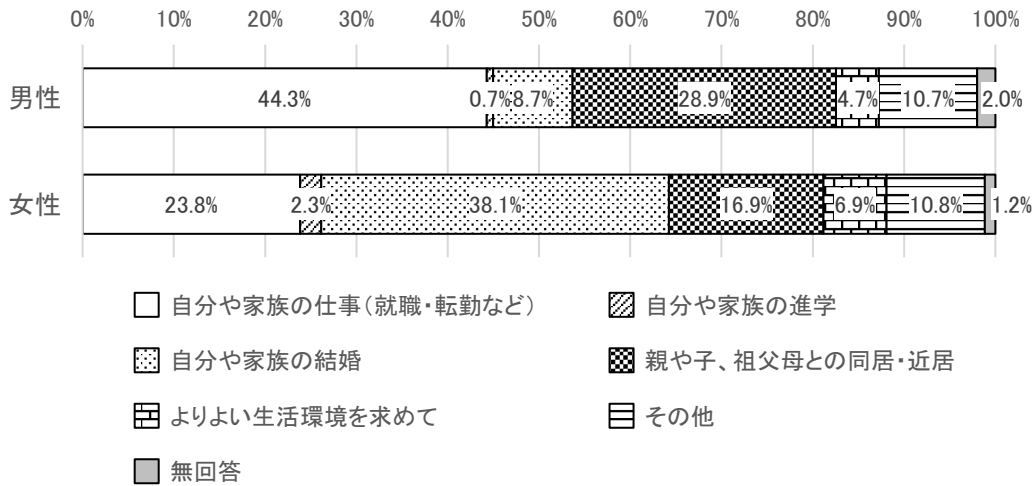
男女別にみると、男性は「一度、荒尾市から転出し、再び荒尾市に戻ってきた（Uターン）」の割合が最も高く、女性は「荒尾市以外から移住してきた（Iターン）」の割合が最も高い。なお、移住経験の視点からみると、女性は「Iターン」の割合が男性よりも高くなっている。

【移住の目的・きっかけ】



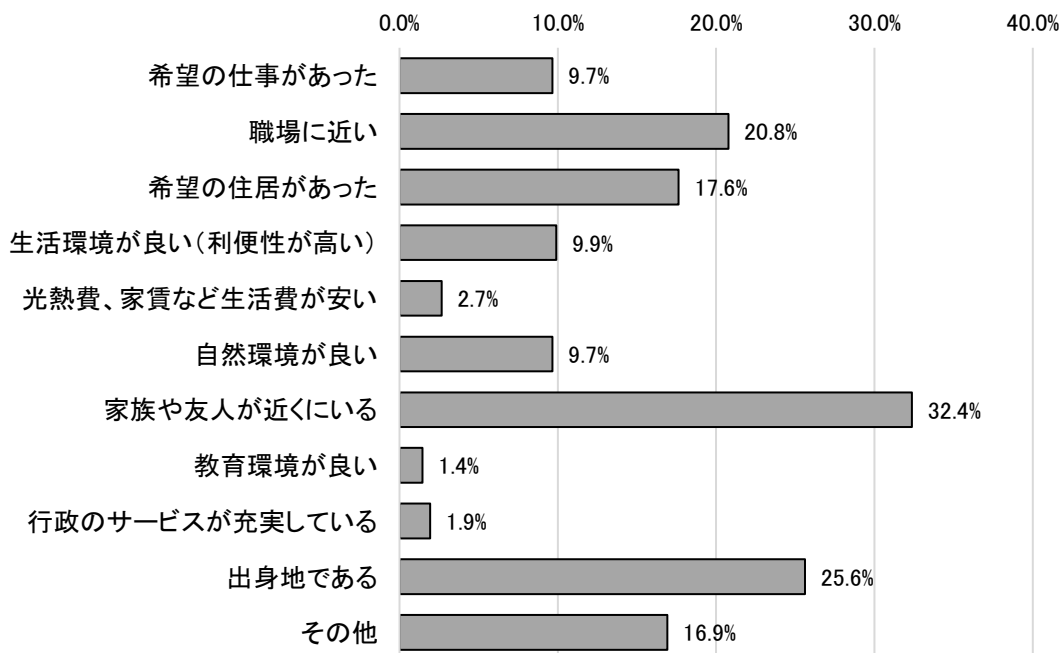
移住の目的・きっかけは、「自分や家族の仕事（就職・転勤など）」（31.4%）が最も高く、次いで「自分や家族の結婚」（27.1%）、「親や子、祖父母との同居・近居」（21.5%）となっている。

【男女別】



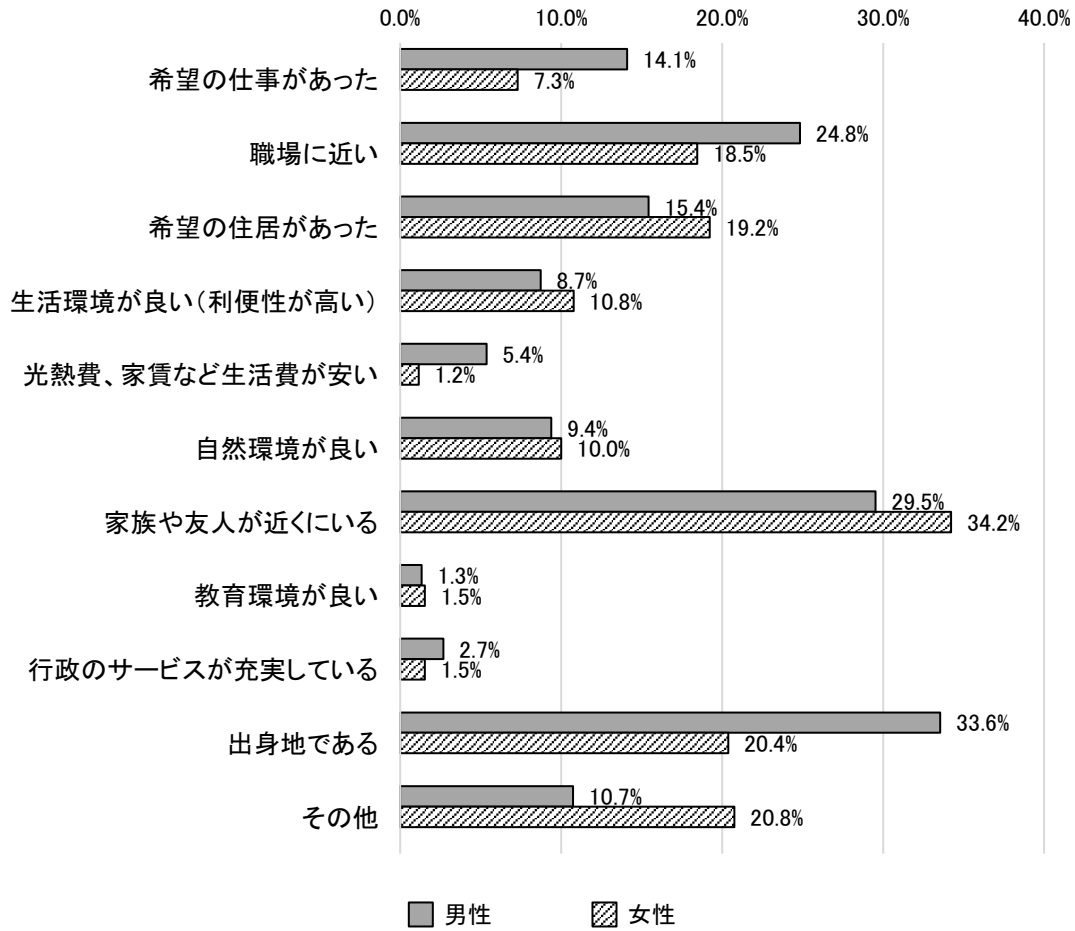
移住の目的・きっかけを男女別にみると、男性は「自分や家族の仕事（転職・転勤など）」（44.3％）の割合が最も高い。一方、女性は「自分や家族の結婚」（38.1％）をきっかけに移住する割合が最も高い。

【転居先を荒尾市に決めた理由】



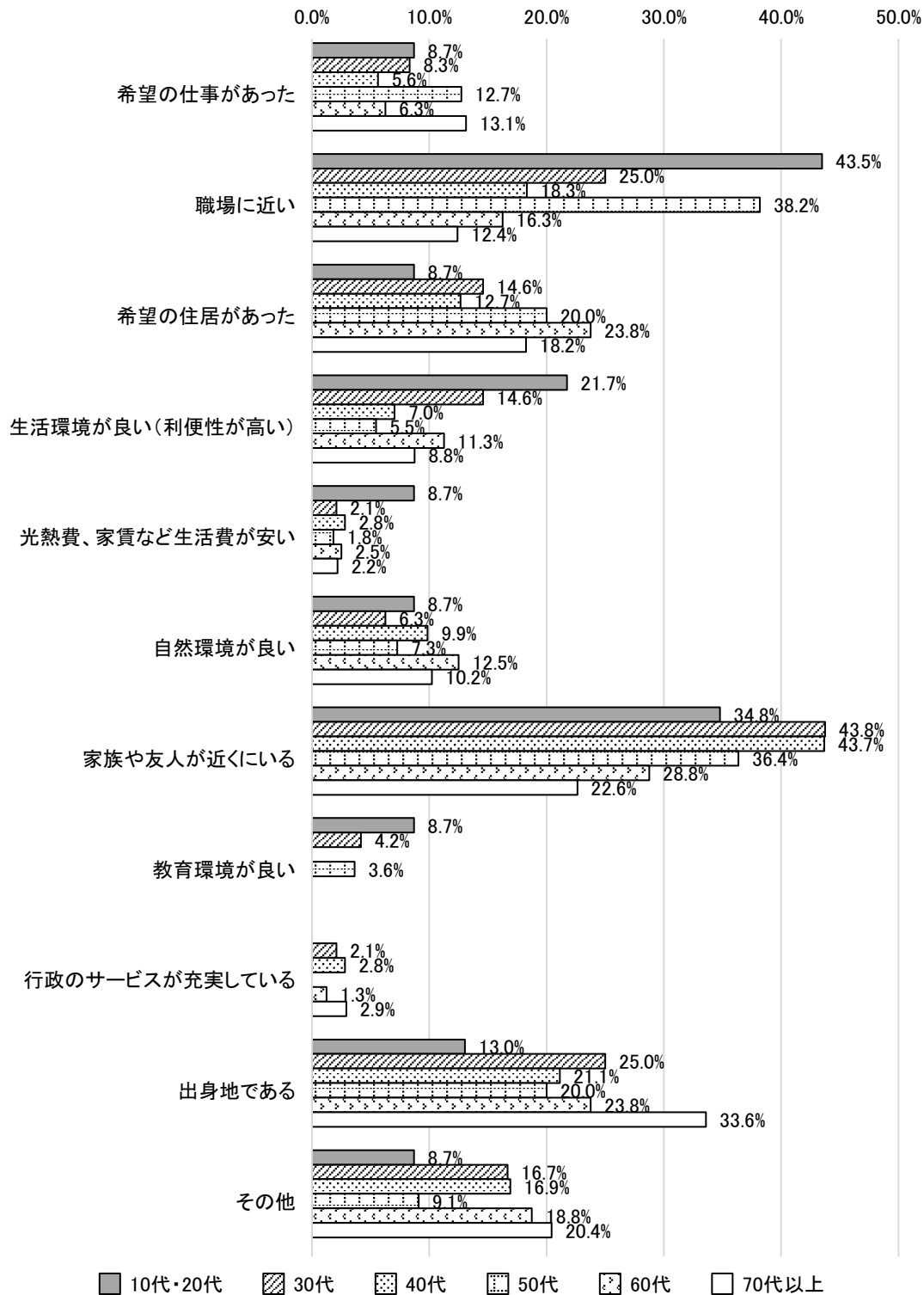
転居先を荒尾市に決めた理由は、「家族や友人が近くにいる」（32.4％）が最も高く、次いで「出身地である」（25.6％）、「職場に近い」（20.8％）となっている。

【男女別】



転居先を荒尾市に決めた理由を男女別にみると、男性は「出身地である」(33.6%)が最も高く、次いで「家族や友人が近くにいる」(29.5%)が高くなっている。女性は「家族や友人が近くにいる」(34.2%)が最も高く、次いで「その他」(20.8%)が高くなっている。

【年代別】



転居先を荒尾市に決めた理由を年代別にみると、10代・20代、50代は「職場に近い」が最も高くなっている。

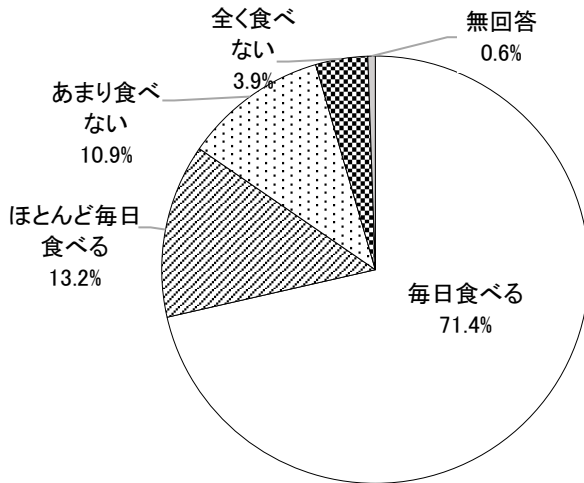
30代・40代・60代は「家族や友人が近くにいる」、70代以上は「出身地である」が最も高くなっているが、年代に関わらず理由の大半が「家族や友人近くにいる」となっていることが伺える。

2. 健康・福祉について

(1) 朝食の摂取状況

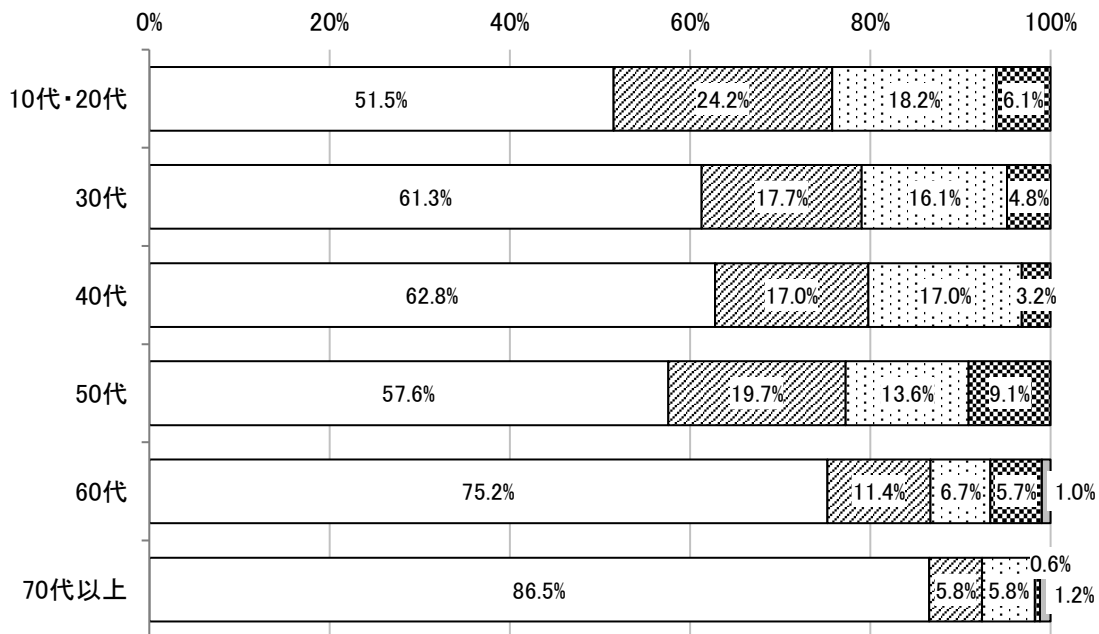
問1 あなたは、普段朝食を食べていますか。

【朝食の摂取状況】



朝食の摂取状況は、「毎日食べる」(71.4%)が7割以上を占めており、前回(71.9%)同様の傾向となっている。これに、「ほとんど毎日食べる」を加えると、約8割以上が普段朝食を摂取していることが分かる。

【年代別】



□ 毎日食べる ▨ ほとんど毎日食べる ▩ あまり食べない ▩ 全く食べない ■ 無回答

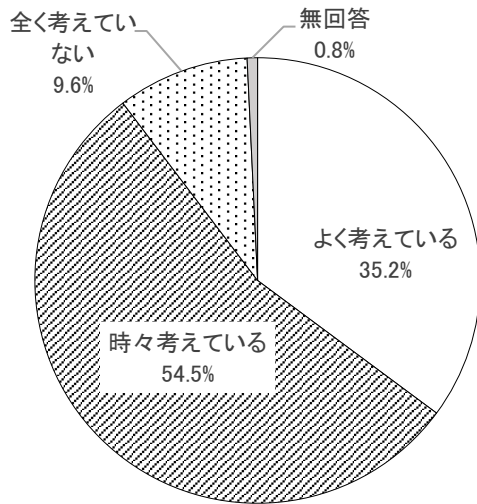
年代別にみると、60代以上は「毎日食べる」の割合が7割以上と高く、「ほとんど毎日食べる」も加えると全世代で7割以上が普段朝食を摂取していることが分かる。

一方、「毎日食べる」の割合は、昨年同様、10代・20代(51.5%)が最も低くなっている。

(2) 栄養バランスへの関心

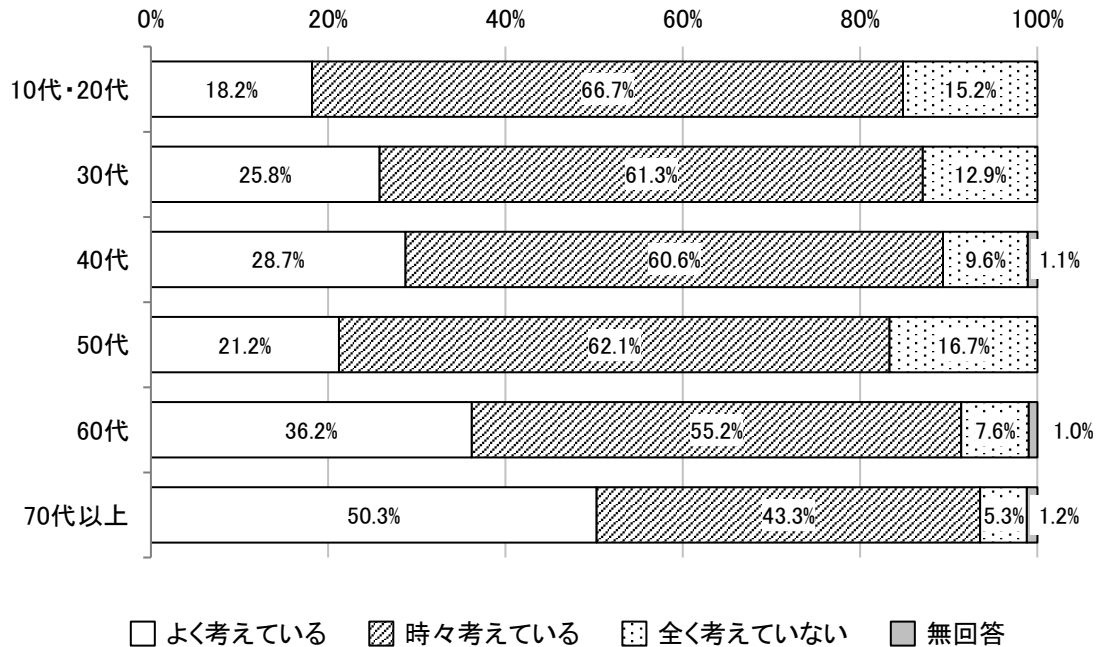
問2 あなたは、食事をとるときに栄養のバランスを考えて食べていますか。

【栄養のバランスへの関心】



栄養のバランスの関心については、「よく考えている」「時々考えている」を合わせた割合が約9割を占めており、市民の関心が非常に高いことが伺える。

【年代別】



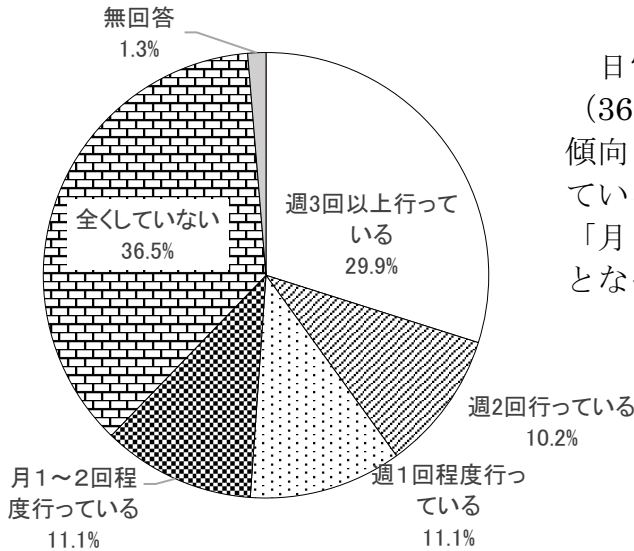
年代別にみると、年代が上がるにつれ、栄養のバランスへの関心が高くなる傾向にある。

また、「よく考えている」と答えた回答者では10代・20代（18.2%）が最も低いが、次いで50代（21.2%）も他の年代に比べて関心が低いことが伺える。

(3) 日常的な運動の状況

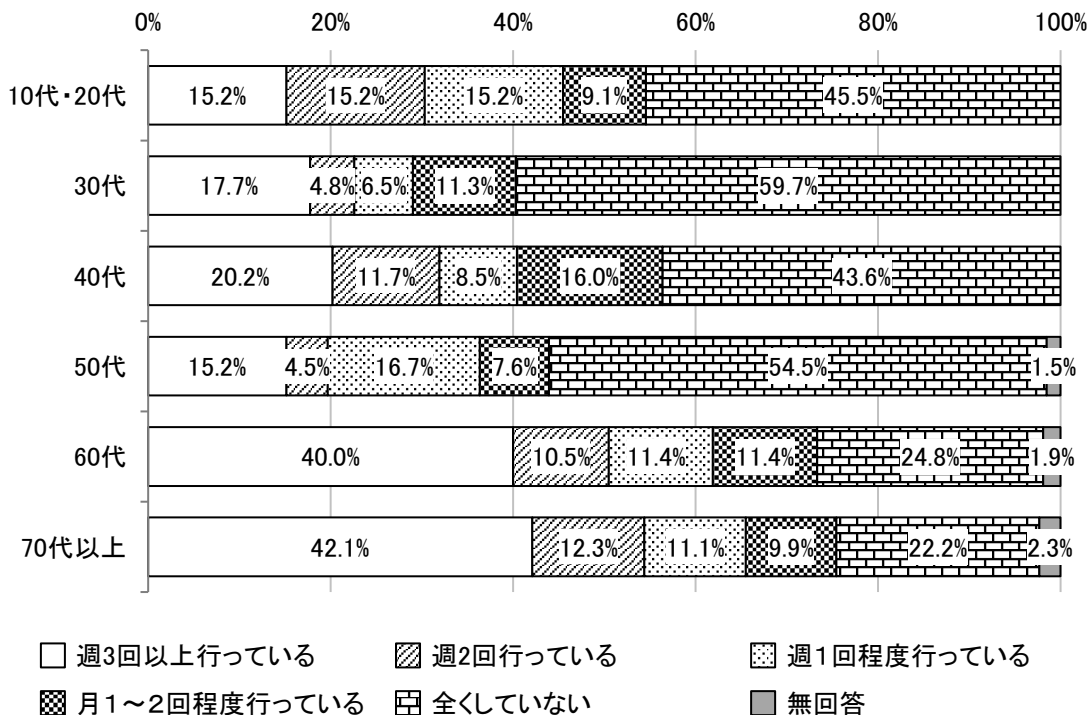
問3 あなたは、日常的に1回30分以上の汗ばむ程度の運動をしていますか。

【日常的な運動の状況】



日常的な運動の状況は、「全くしていない」(36.5%)が最も高く、前回(34.5%)同様の傾向となっており、次いで、「週3回以上行っている」(29.9%)、「週1回程度行っている」「月1~2回程度行っている」(ともに11.1%)となっている。

【年代別】

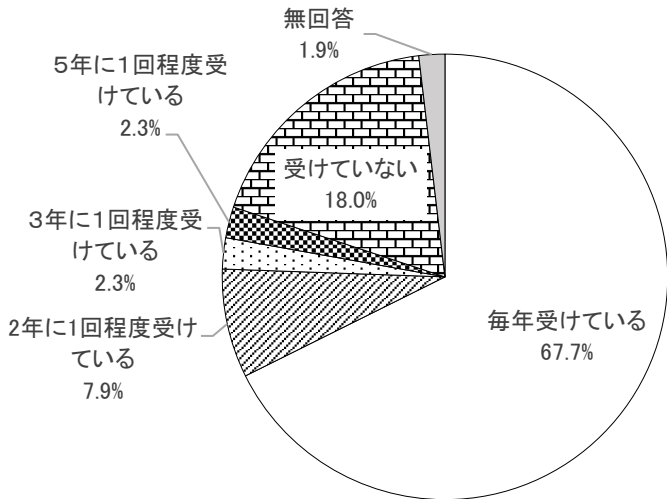


年代別にみると、10代・20代~50代までは「全くしていない」が4割を超えており、勤労世代の運動頻度が少なくなっているため、日常的な運動につなげる切っ掛けづくりを行うことが必要だと考える。

(4) 健康診断や人間ドックの受診状況

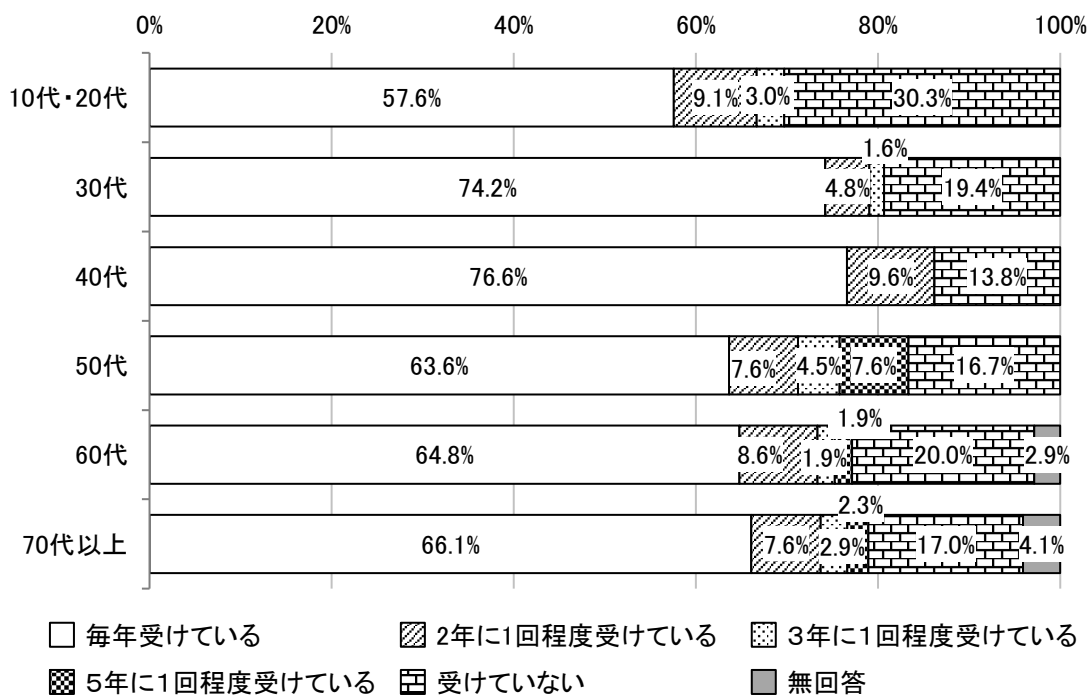
問4—1 あなたは、どれくらいの間隔で健康診断や人間ドックを受けていますか。

【健康診断や人間ドックの受診状況】



健康診断や人間ドックの受診状況は、「毎年受けている」(67.7%)が最も高く、次いで「受けていない」(18.0%)、「2年に1回程度受けている」(7.9%)となっており、前回とほぼ同様の傾向であった。

【年代別】

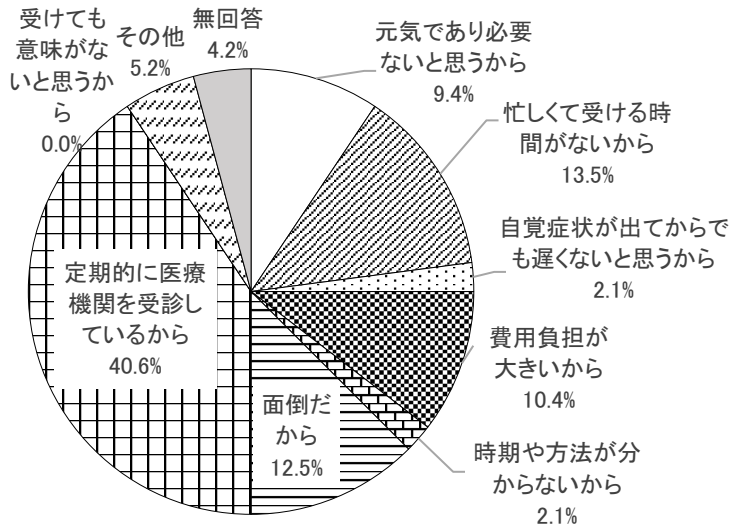


年代別にみると、40代の「毎年受けている」(76.6%)割合が前回(72.8%)より増加している一方、50代では(63.6%)と前回(82.7%)より19.1%減少している。

生活習慣病を発症しやすくなる30代から50代については、「受けていない」の割合が前回よりも増加しているため、早期発見・予防につなげるため、受診率を上げる効果的な取り組みが必要である。

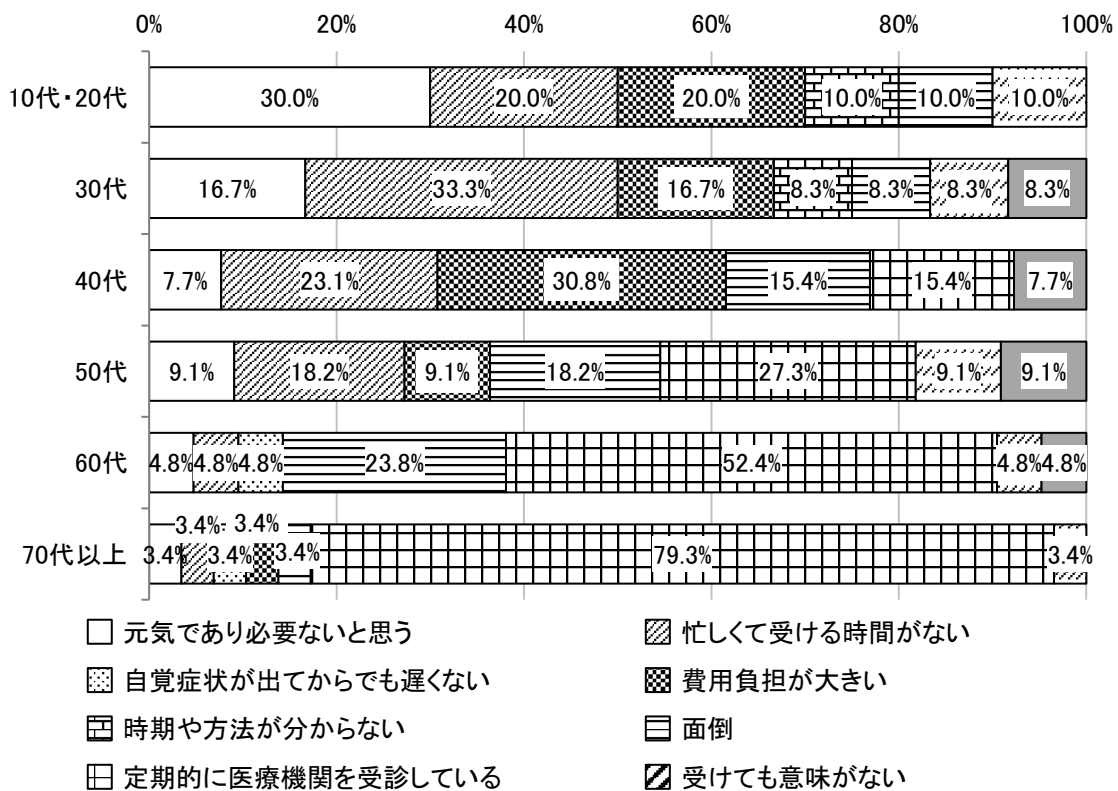
問4-2 (問4-1で「5. 受けていない」と回答した方)
その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

【健康診断や人間ドックを受けていない理由】



健康診断や人間ドックを受けていない理由は、「定期的に医療機関を受診しているから」(40.6%)が最も高くなっているが、前回(38.4%)と比べ少し増加し、「面倒だから」(12.5%(前回10.1%))、「費用負担が大きいから」(10.4%(前回9.1%))の理由が、前回から更に増加している。

【年代別】

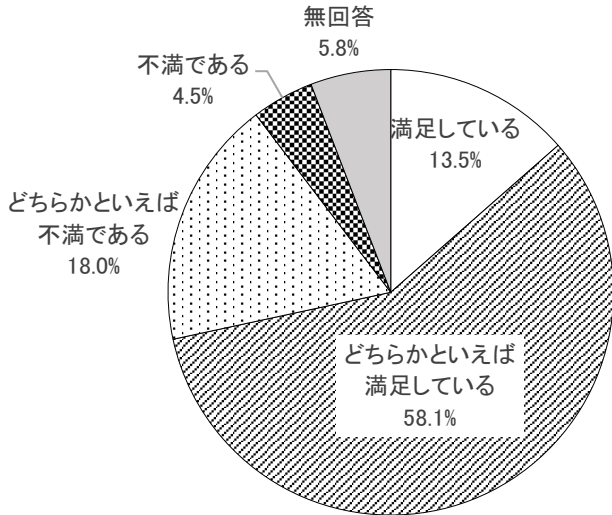


年代別にみると、特定健診の対象となる30代は、「忙しくて受ける時間がないから」(33.3%)が高くなっており、時間の確保や費用負担の軽減が課題である。一方で、40代は「費用負担が大きいから」(30.8%)が、60代以上は「定期的に医療機関を受診しているから」が半数以上を占めており、世代で受けない理由が大きく異なる。

(5) 保健や医療体制の満足度

問5-1 あなたは、荒尾市の保健サービスや医療体制についてどのように思いますか。

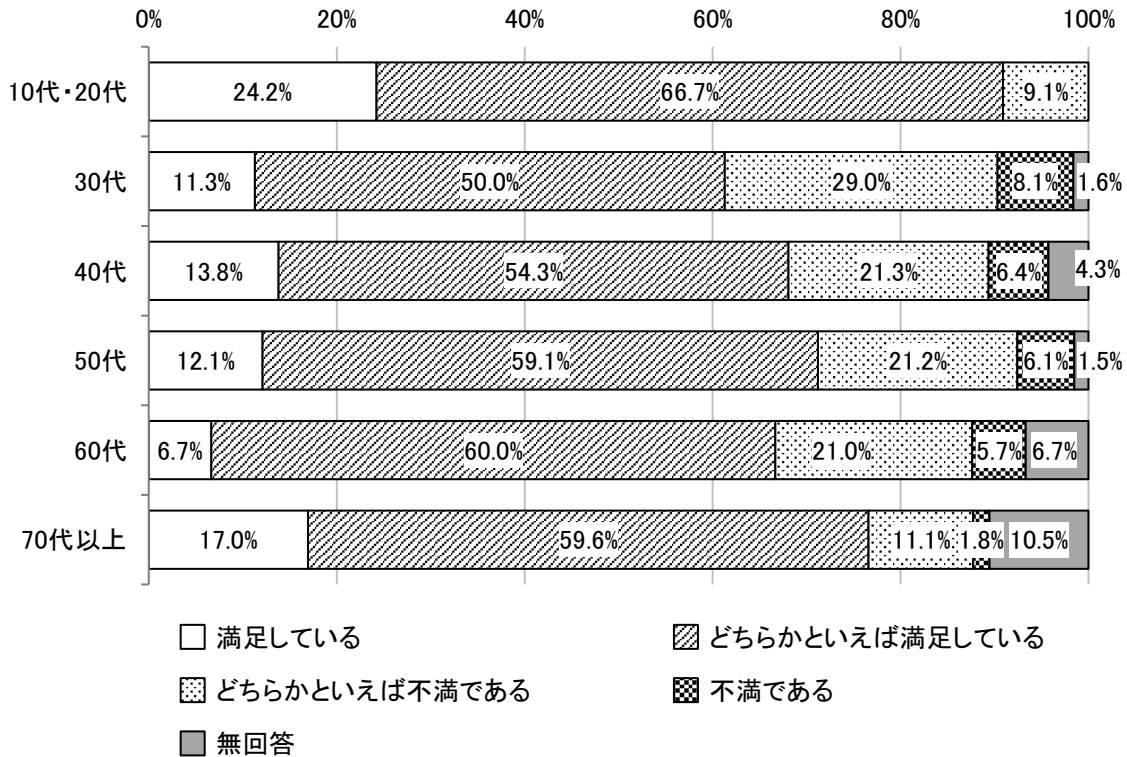
【保健サービスや医療体制の満足度】



荒尾市の保健サービスや医療体制の満足度は、「どちらかといえば満足している」(58.1%)が最も高く、これに「満足している」を合わせた『満足』層が7割以上(71.6%)となっている。

一方、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた『不満』層は22.5%となっており、前回(『満足』層：72.4%、『不満』層：22.8%)から満足度並びに不満度が下降している。

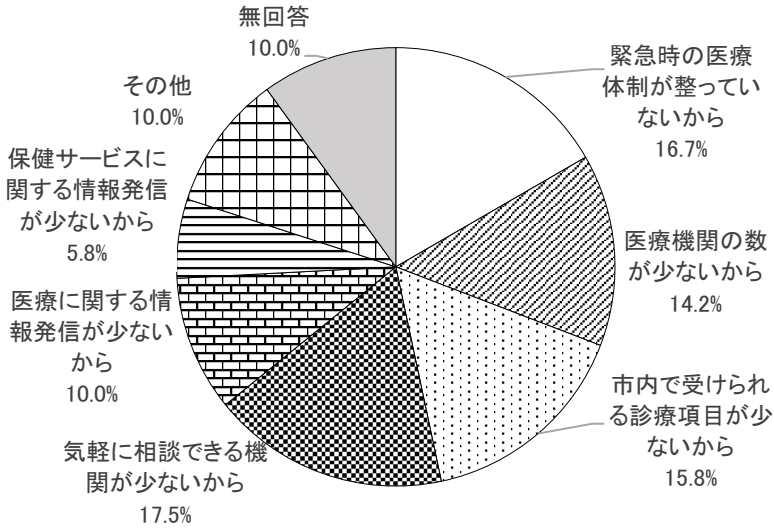
【年代別】



保健サービスや医療体制の満足度を年代別にみると、『満足』層では10代・20代(90.9%)が9割を超えて高くなっている。また、『不満』層では、30代(37.1%)が他の年代より高くなっている。

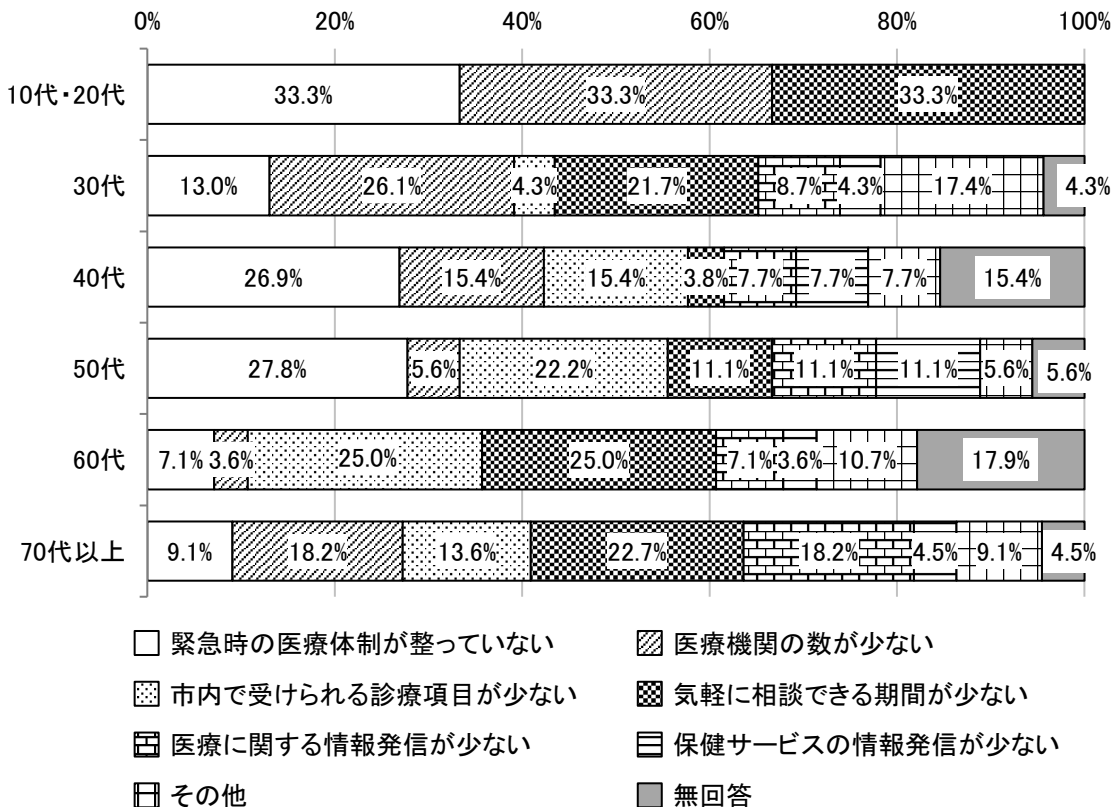
問5-2 (問5-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方) その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

【保健サービス・医療体制に不満な理由】



荒尾市の保健サービスや医療体制に不満な理由は、「気軽に相談できる機関がないから」(17.5%)が最も高く、次いで「緊急時の医療体制が整っていないから」(16.7%)、「市内で受けられる診療項目が少ないから」(15.8%)となっており、医療機関・医療体制の充実が求められている。

【年代別】



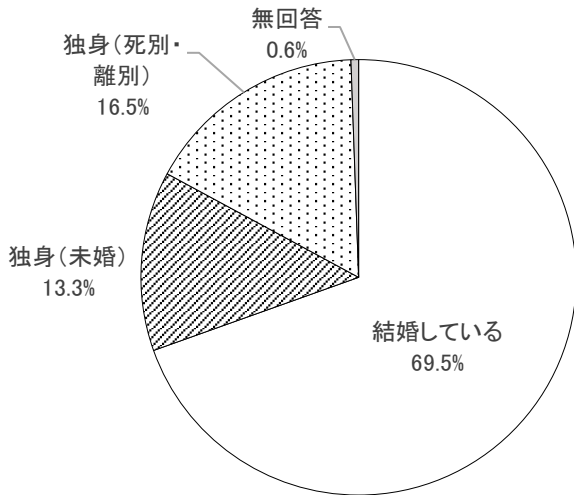
年代別にみると、10代・20代と30代の働く・子育て世代においては、「医療機関の数が少ない」の割合が他の年代より高くなっていることから、医療機関を充実させ、安心して働く・子どもを育てられる環境づくりを目指す必要がある。

3. 結婚・出産・子育てについて

(1) 結婚について

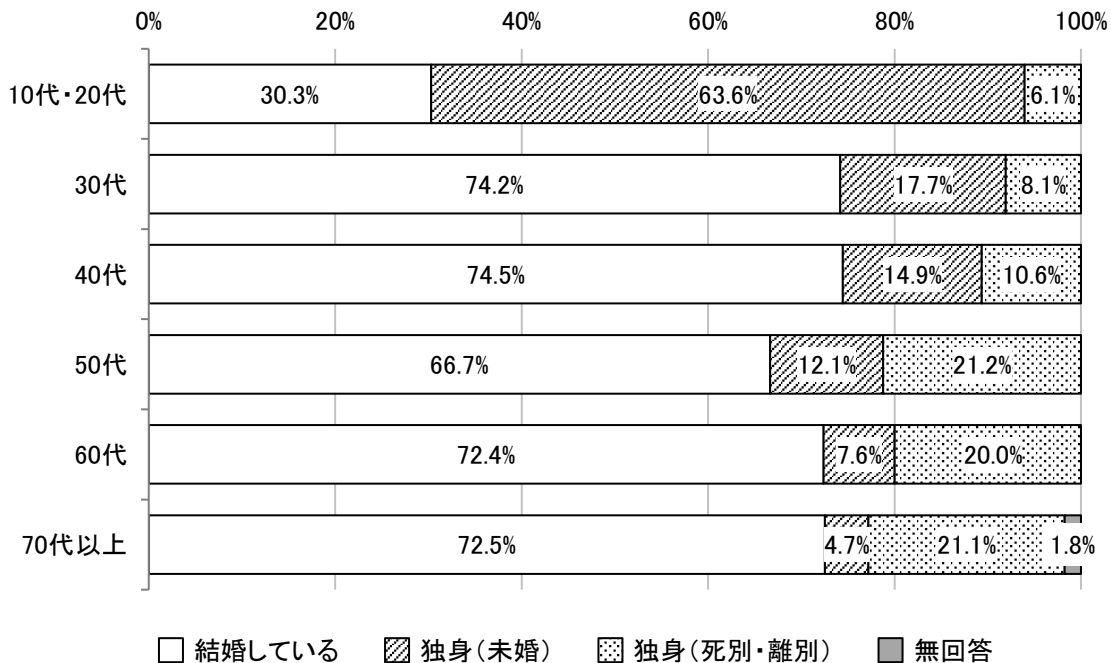
問6-1 あなたは、結婚していますか。

【婚姻状況】



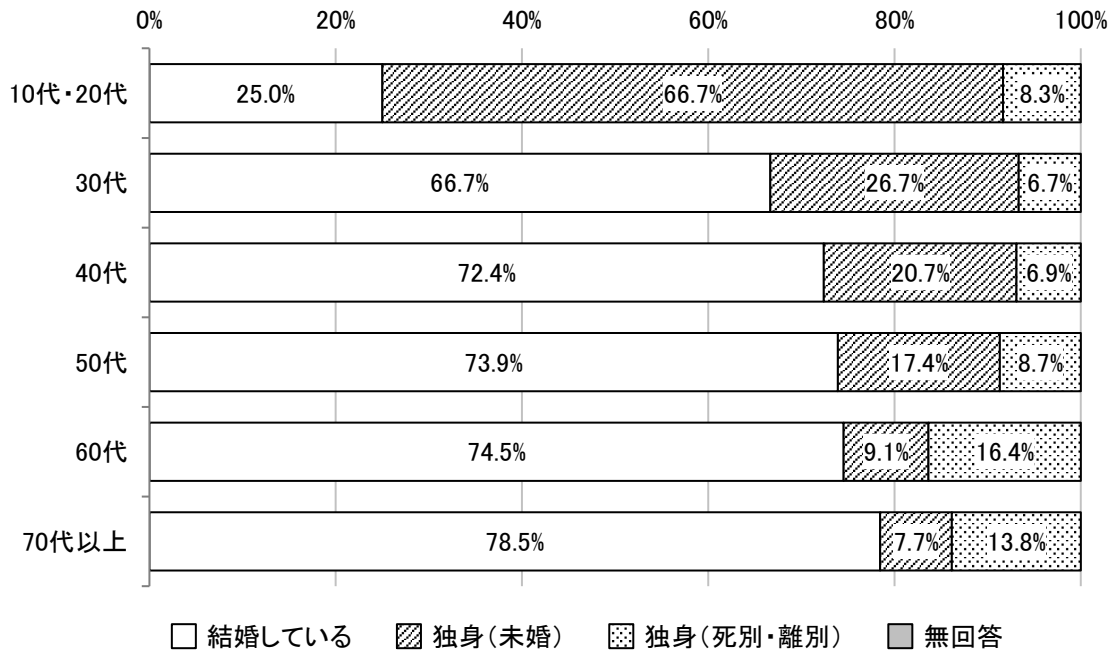
婚姻状況を見ると、「結婚している」(69.5%)が約7割、「独身(未婚、離別・死別の合計)」(29.8%)が3割弱となっている。

【年代別】

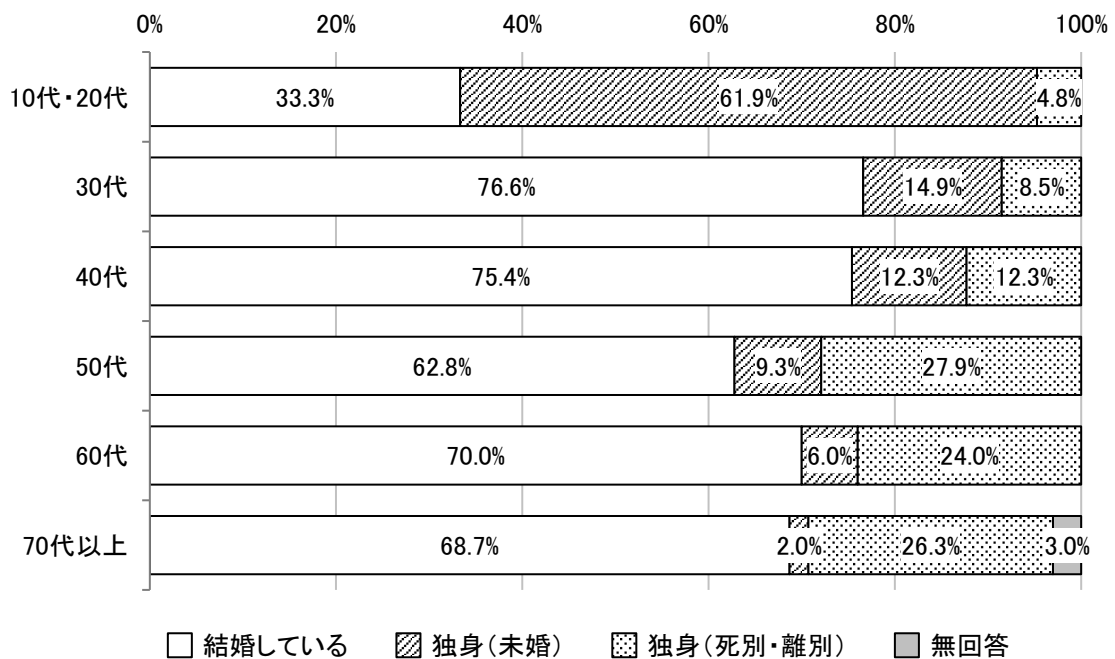


年代別にみると、10代・20代は「独身(未婚)」(63.6%)が全体の約6割を占めるが、30代になると「結婚している」(74.2%)が7割を占めるようになり、30代で結婚する方が多いことが分かる。一方で、50代以上になると独身(死別・離別)が2割と大きくなっている。

【年代別（男性）】

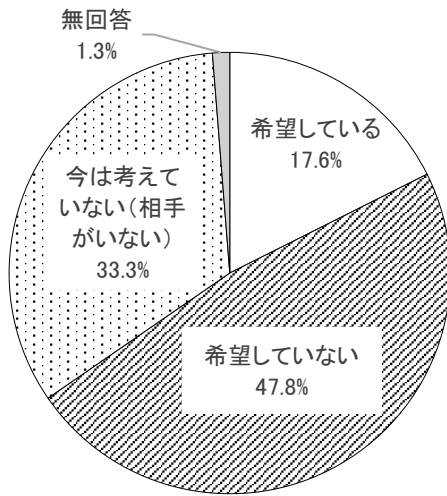


【年代別（女性）】



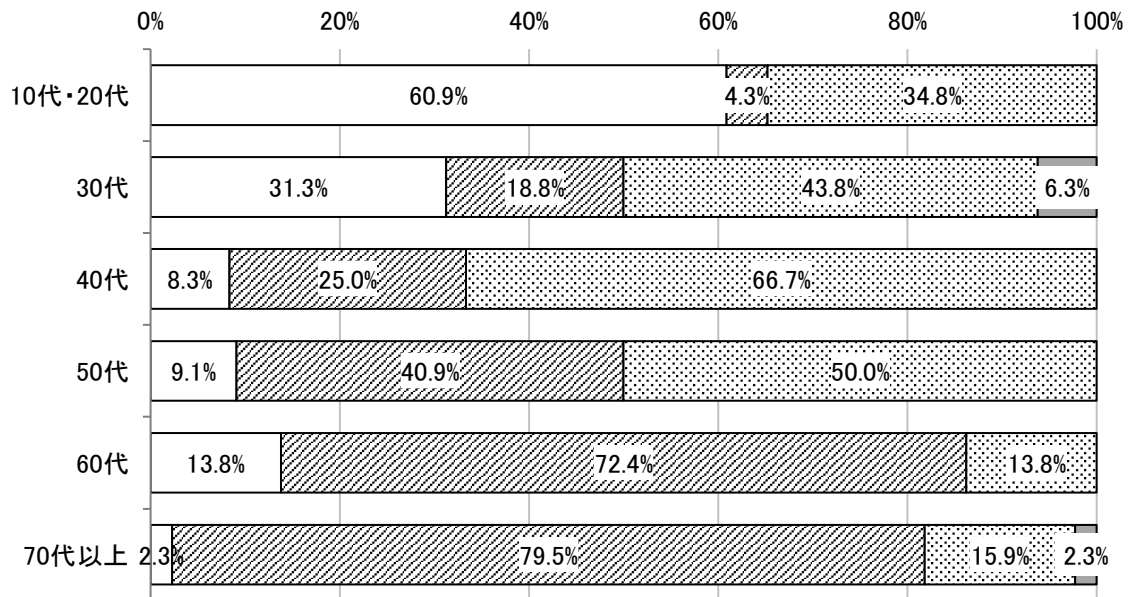
男女別では10代・20代の男性の婚姻率（25.0%）が女性（33.3%）より8.3%低くなっており、未婚率が高いことが分かる。また、男性は40代、50代の独身（未婚）が独身（死別・離別）を大きく上回っているのに対し、女性の50代以上は独身（死別・離別）が大きく上回っている。

問6-2 (問6で「2. 独身(未婚)」「3. 独身(死別・離婚)」と回答した方)
今後、結婚を希望していますか。



結婚希望状況をみると、「希望していない」(47.8%)が最も高く、次いで「今は考えていない(相手がいない)」(33.3%)となっている。

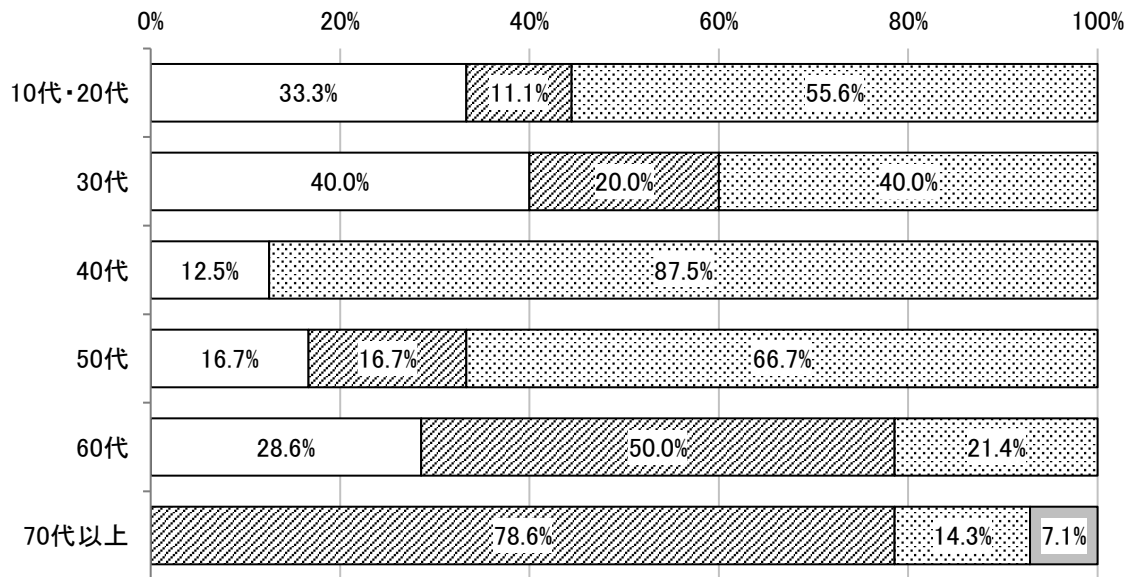
【年代別】



□ 希望している ▨ 希望していない ▤ 今は考えていない(相手がいない) ■ 無回答

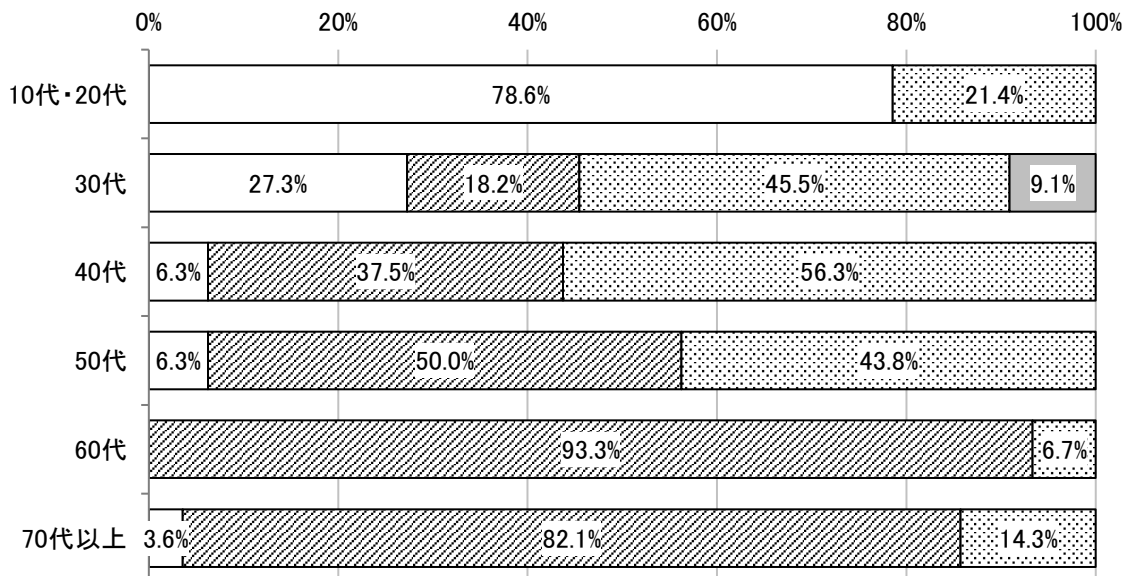
年代別にみると、10代・20代は「希望している」(60.9%)が全体の6割を占めているが、30代になると「希望していない」(18.8%)と「今は考えていない(相手がいない)」(43.8%)が4割を占め、年代が上がるにつれてその割合が増加している。

【年代別（男性）】



□ 希望している ▨ 希望していない ▩ 今は考えていない(相手がいない) ■ 無回答

【年代別（女性）】



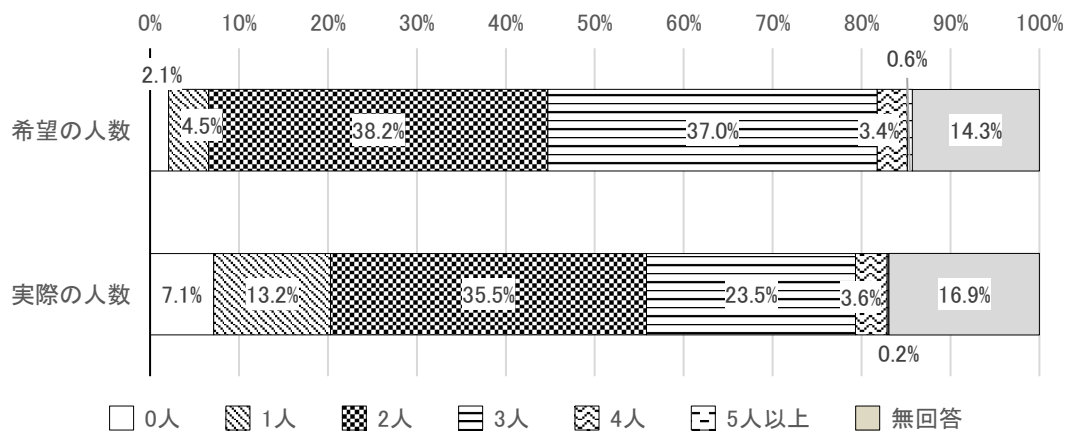
□ 希望している ▨ 希望していない ▩ 今は考えていない(相手がいない) ■ 無回答

男女別では、10代・20代の男性の希望率（33.3%）が女性（78.6%）より45.3%低くなっており、男性の希望率が低いことが分かる。また、男性は50代の「今は考えていない（相手がいない）」（66.7%）が「希望していない」（16.7%）を大きく上回っているのに対し、女性の50代は「希望していない」（50.0%）が上回っている。

(2) 出産について

問7-1 現在の子どもの有無に関わらず、あなたの希望する（希望していた）子どもの人数は何人くらいですか。
また、実際の子どもの人数は何人ですか。

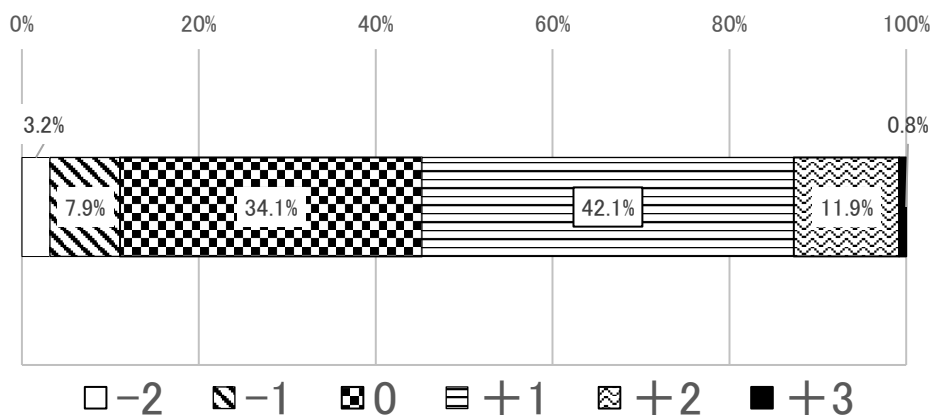
【希望する（希望していた）子どもの人数・実際の子どもの人数】



希望する（希望していた）子どもの人数と実際の子どもの人数をみると、希望では「2人」（38.2%）が最も高く、次いで「3人」（37.0%）となっており、2～3人を希望する人が75.2%と7割を超えている。

また、希望と実際の子どもの人数をみると、0人～1人までは、実際の子どもの人数が希望の人数を上回り、2人以上になると、実際の子どもの人数が希望の人数を下回る傾向にある。

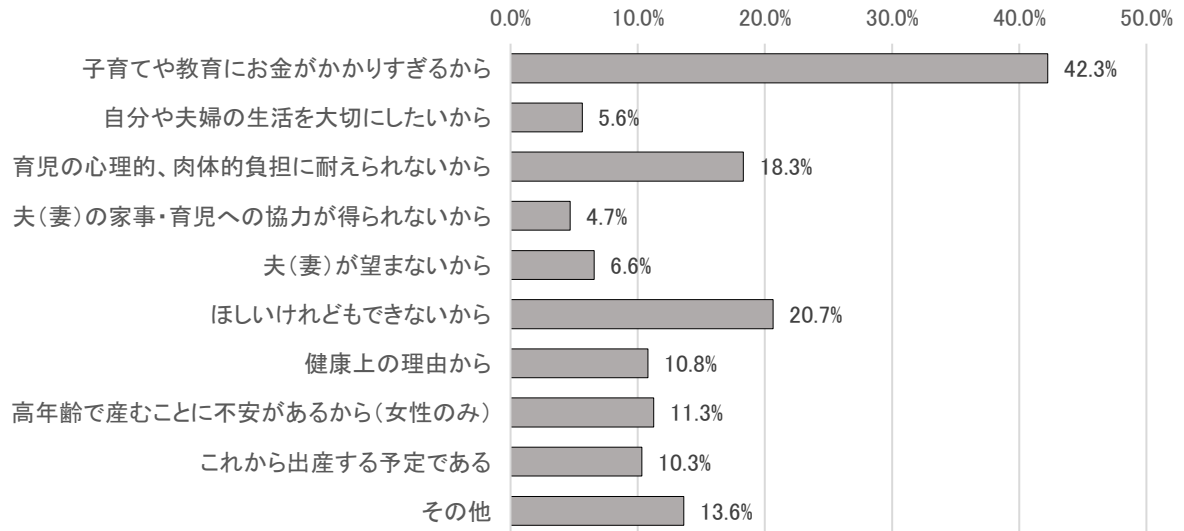
【10代・20代から40代までの結婚している男女の希望数と実際数の比較】



さらに、10代・20代から40代までの結婚している男女126人のデータを見ると、希望の人数よりも実際の子どもの人数が少ない人は14人（11.1%）、希望の人数と実際の子どもの人数が同じ人は43人（34.1%）、希望の人数よりも実際の子どもの人数が多い人は69人（54.8%）となっている。

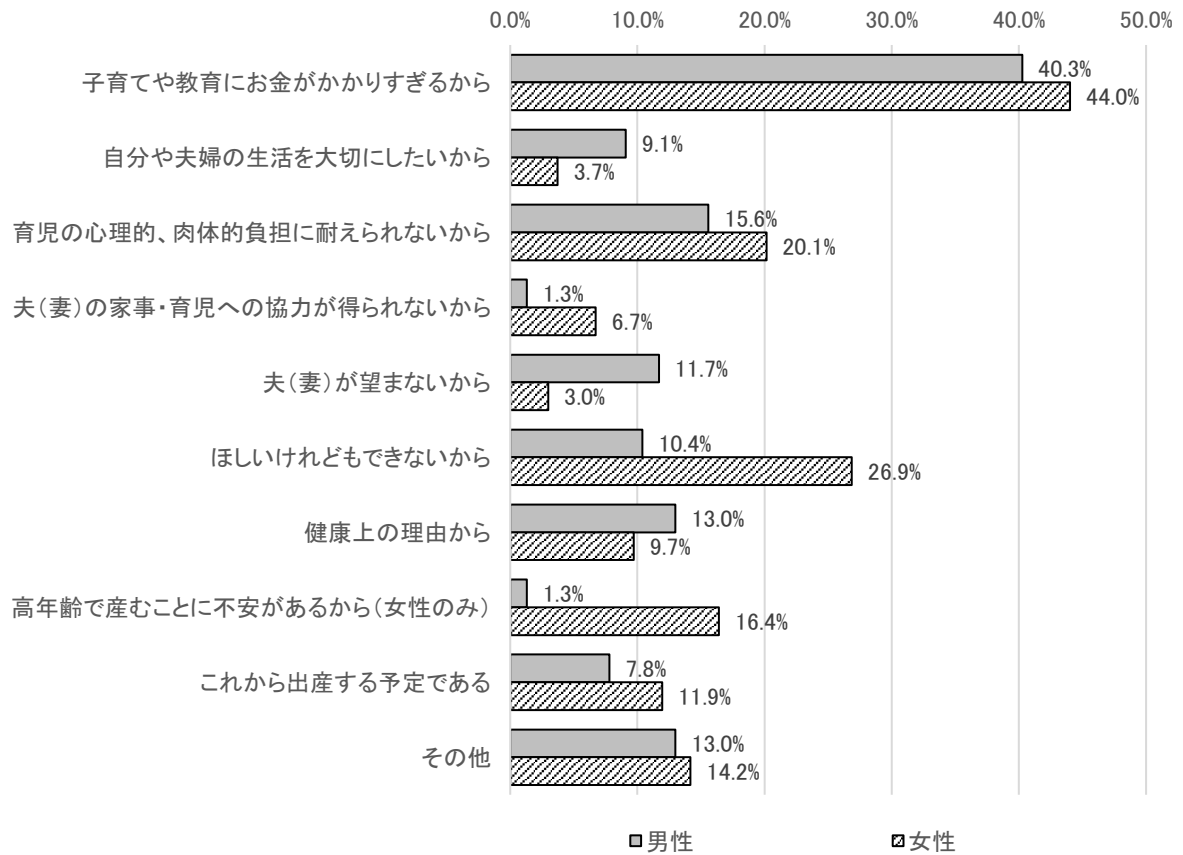
問7-2 (問7-1で「希望する(希望していた)子どもの人数」より「実際」の方が少ない方)「実際の子どもの人数」の方が少ない理由として、どのようなことが考えられると思いますか。【3つまで】

【希望する子どもの人数より実際の子どもの人数が少ない理由】



希望する子どもの人数より実際の子どもの人数の方が少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(42.3%)が最も高く、次いで「ほしいけれどもできないから」(20.7%)となっている。

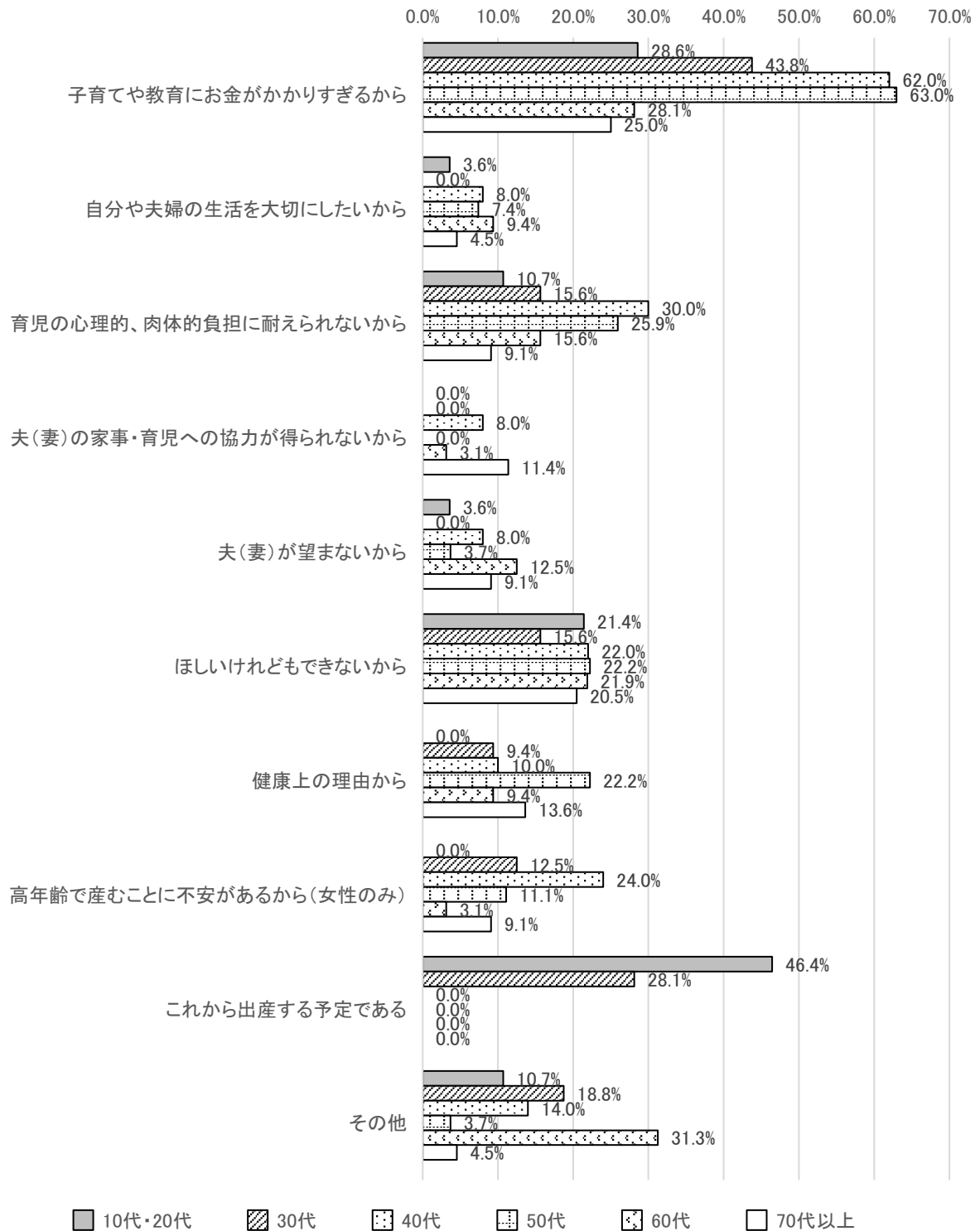
【男女別】



男女ともに、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」との回答が多いが、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」、「夫(妻)が望まないから」、「ほしいけれどもできないから」の回答では、男女の差異が顕著にみられた。

女性は、育児や家事に対する負担を感じる回答と不妊に関する回答が多く、子育て支援策を考える上で、経済的支援だけでなく、女性が安心して子育てしやすい社会づくりを行うとともに、幼少期から男女の役割を固定化させない男女共同の視点での家庭教育の必要もあると考える。

【年代別】

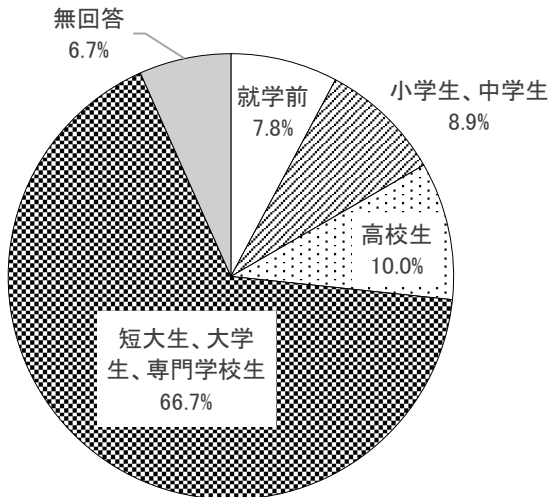


年代別にみると、子育て世代の30代及び40代では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高くなっている。その他の答えとしては、「まだ独身だから」という答えが多かった。

10代・20代から40代までの結婚している男女については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」が多かった。

問7-3 (問7-2で「1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した方)
最も経済的負担を感じる年代はどれですか。【主なもの1つ】

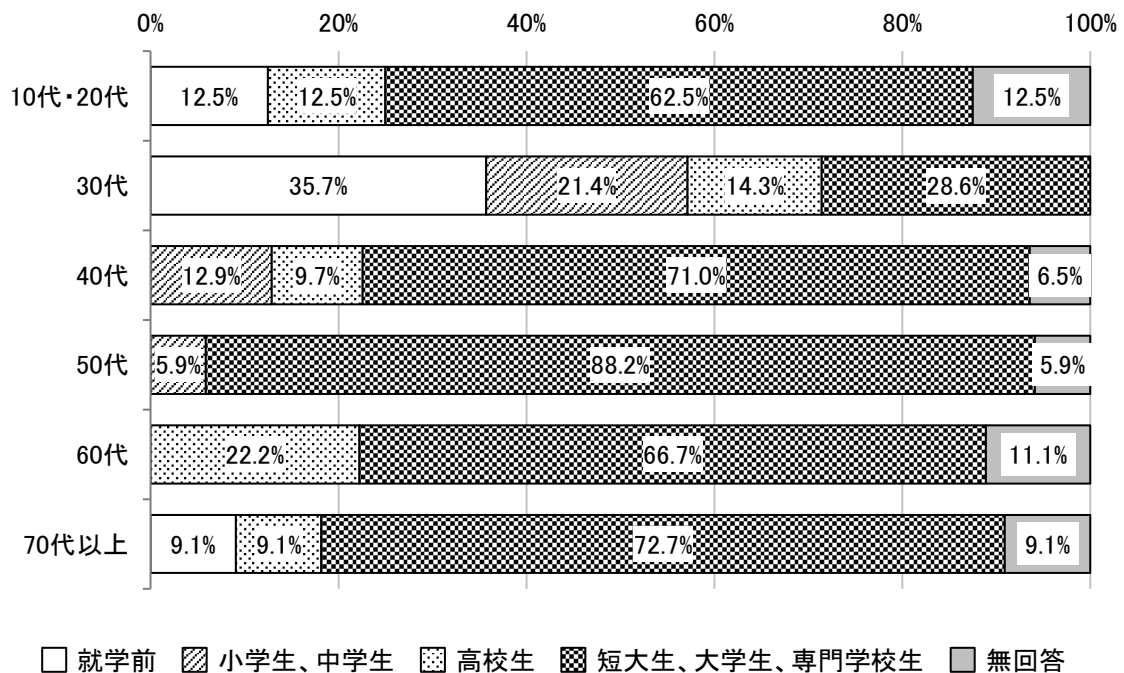
【最も経済的負担を感じる年代】



最も経済的負担を感じる子育ての年代は、「短大生、大学生、専門学校生」(66.7%)が最も高く、次いで「高校生」(10.0%)となっており、児童手当の支給対象から外れた年代の割合が高くなっている。

国のこども未来戦略に基づき、令和6年10月からは、児童手当が高校生年代まで拡充されており、また令和7年度からは多子世帯の大学等の授業料等の支援も予定されていることから、その効果を注視していく必要がある。

【年代別】



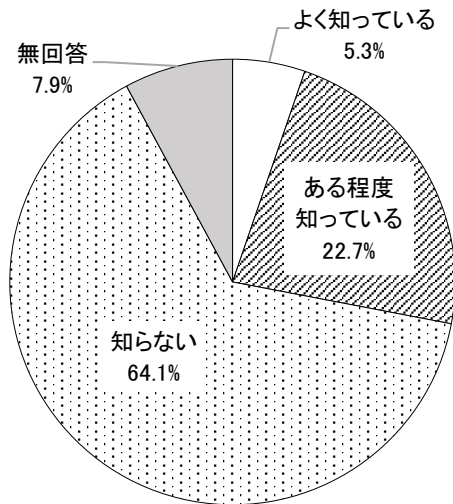
年代別にみると、40代以上は「短大生、大学生、専門学校生」と答える方の割合が突出して高く、その割合は年代が上がるにつれ、顕著になる傾向がある。

一方、30代は、他の年代と比較して、「就学前」と答える方の割合が高く、就学中の子どもがいる世帯だけでなく、未就学の子どもがいる世帯にも経済的支援の更なる強化を検討する必要がある。

(3) 子育てについて

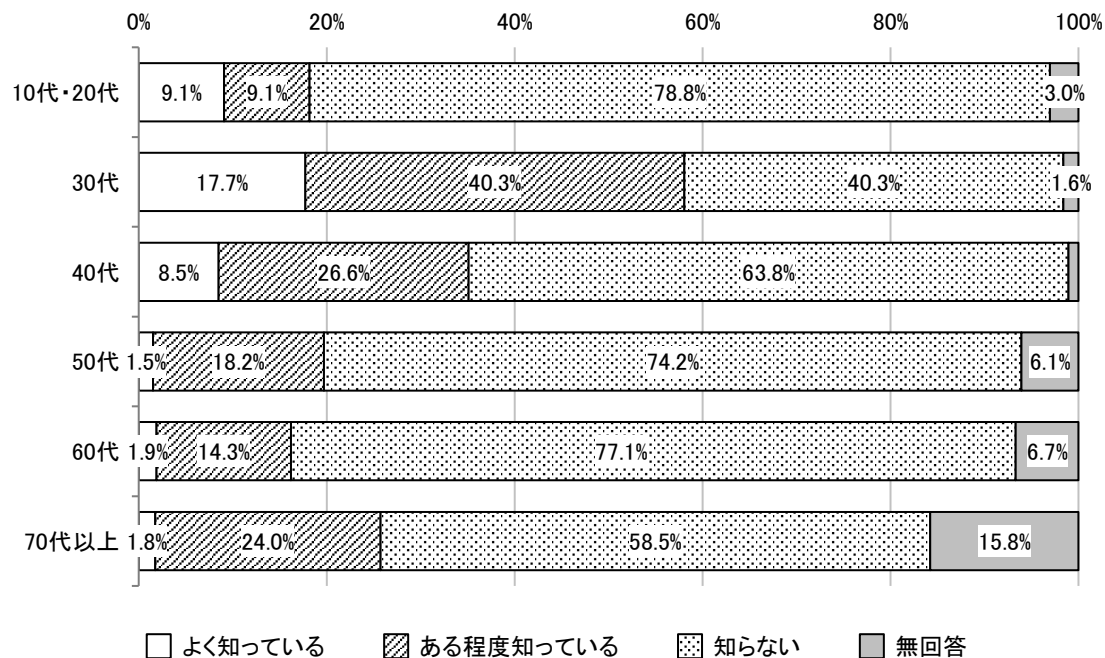
問8 あなたは、「こども家庭センター」が妊娠期から子育て期の相談支援を行っていることを知っていますか。

【こども家庭センターの認知度】



こども家庭センターを「知らない」と回答した割合が6割を超えており、前回（57.5%）から6.6%の増加であった。

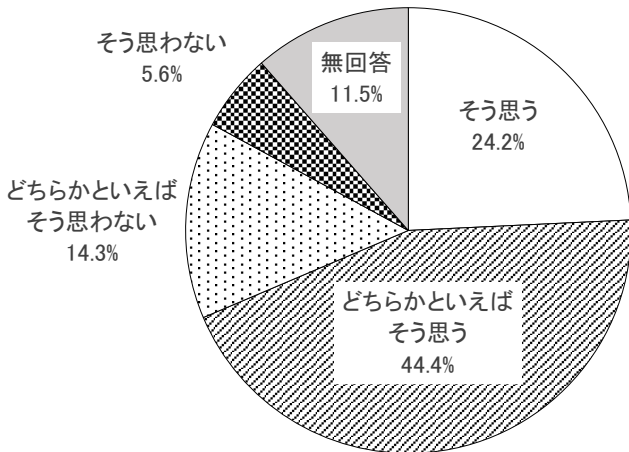
【年代別】



年代別にみると、30代以外のすべての世代において、「知らない」と回答する方の割合が過半数以上を占めているが、30代は「よく知っている」、「ある程度知っている」を合わせた『知っている』層（58.0%）が6割近くとなっており、就学前の子どもを多く抱えていると思われる世代には、認知されつつあることが伺える。

問9-1 あなたは、荒尾市で子育てをしたいと思いますか。

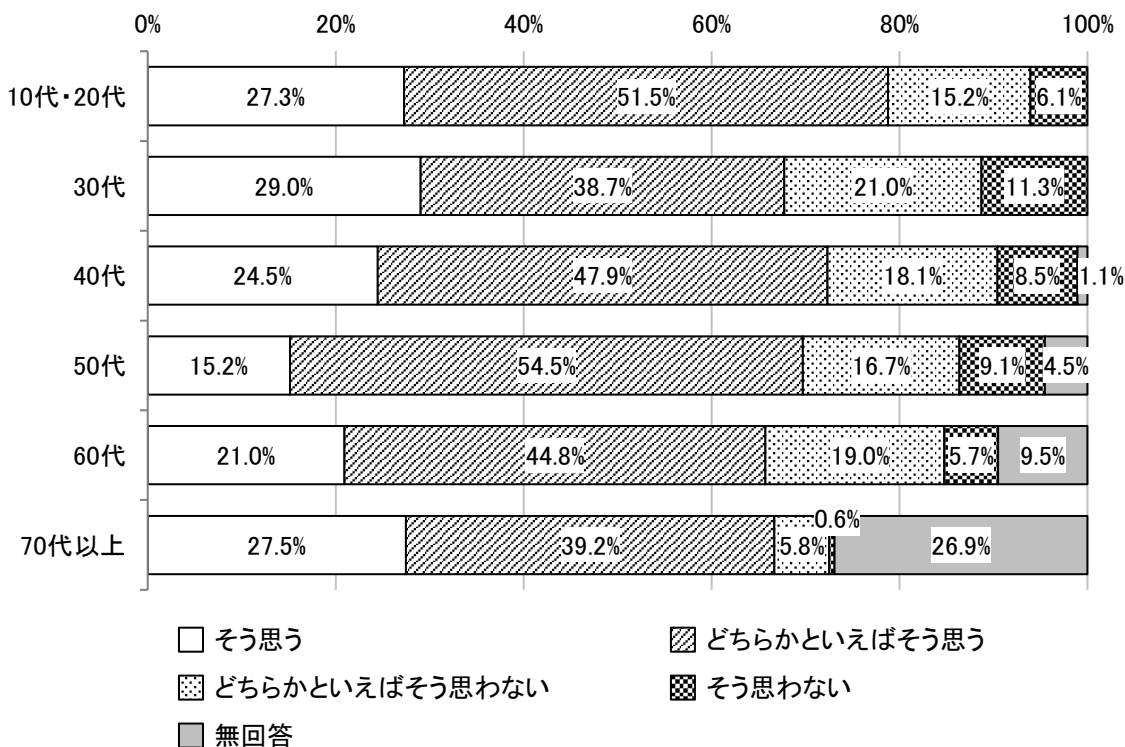
【荒尾市での子育て意向】



荒尾市で子育てをしたいかどうかを尋ねたところ、「どちらかといえばそう思う」(44.4%)が最も高く、次いで「そう思う」(24.2%)と7割近い方が荒尾市での子育ての意向があることが分かる。

一方、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた『したいと思わない』層(19.9%)は前回(16.4%)より微増傾向となっている。

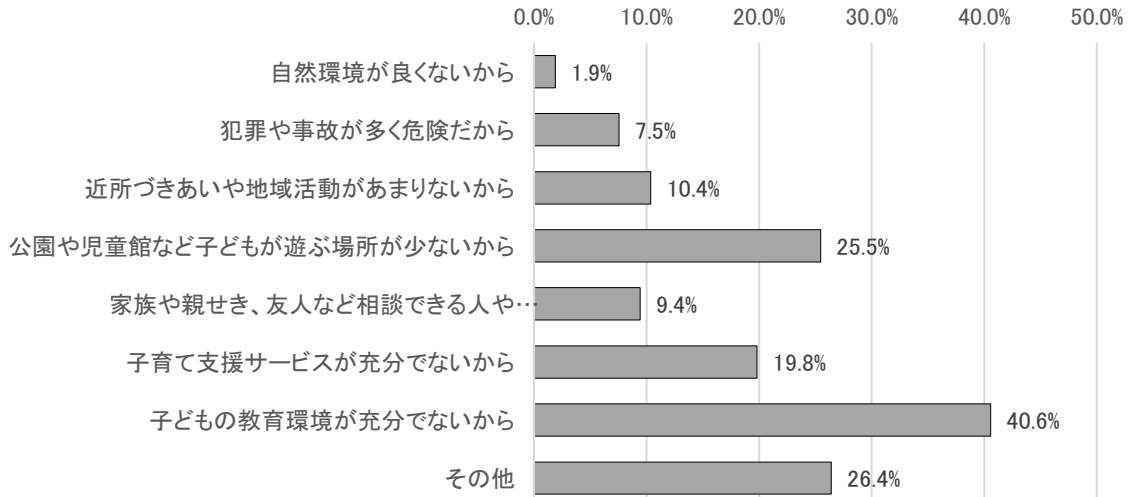
【年代別】



全ての世代で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」が6割を超えている。ただし、全世代で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が前回より若干低くなっている。

問9-2 (問9-1で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と回答した方) その理由はなぜですか。【2つまで】

【荒尾市での子育てをしたいと思わない理由】

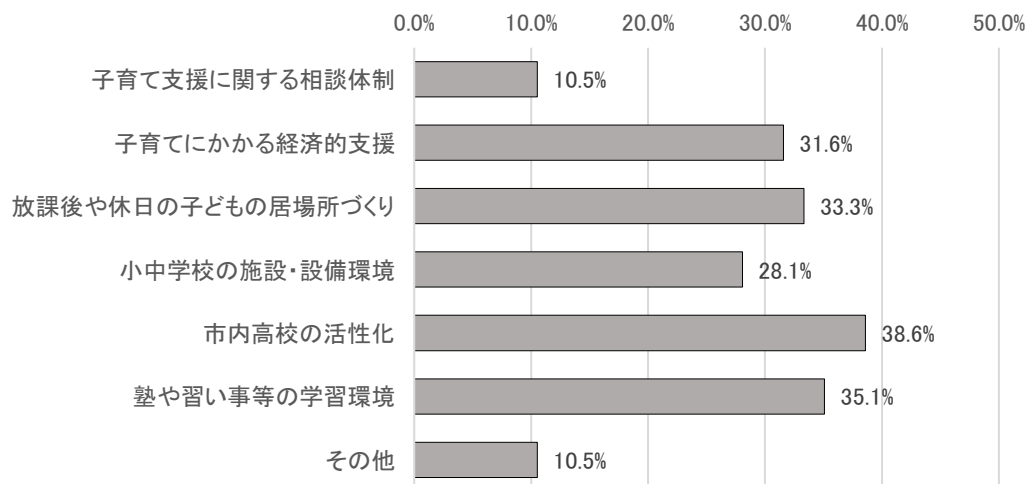


荒尾市で子育てをしたいと思わない理由をみると、「子どもの教育環境が充分でないから」(40.6%)が最も高く、次いで「公園や児童館など子どもが遊ぶ場所が少ないから」(25.5%)が主な理由として挙げられており、「その他」については、前回(11.2%)から15.2%増加している。

幼児期から青年期における遊び場所の提供のほか、学力向上等の取組みなど、教育環境の改善及び子育て支援サービスの拡充が必要であると思われる。

問9-3 (問9-2で「6. 子育て支援サービスが充分でないから」「7. 子どもの教育環境が充分でないから」と回答した方) どのような事柄が充実するとよいと思いますか。【2つまで】

【子育てで充実するとよいと思う事柄】



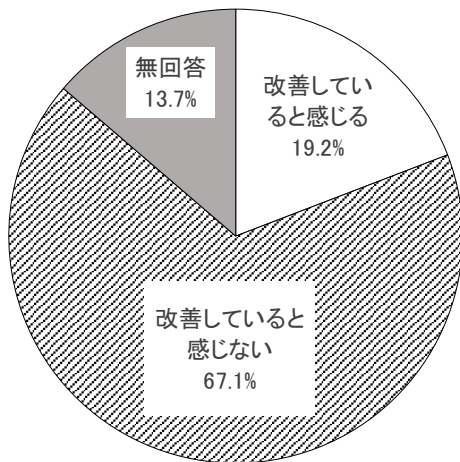
どのような事柄が充実するとよいかと思うかをみると、「市内高校の活性化」(38.6%)が最も高く、次いで「塾や習い事等の学習環境」(35.1%)、「放課後や休日の子どもの居場所づくり」(33.3%)となっている。経済的支援は昨年度より改善はしたものの、高校活性化や塾・習い事等の学習環境が高くなっているため、学習環境の更なる整備が必要であると考えられる。

4. 生活全般について

(1) 給与・労働環境

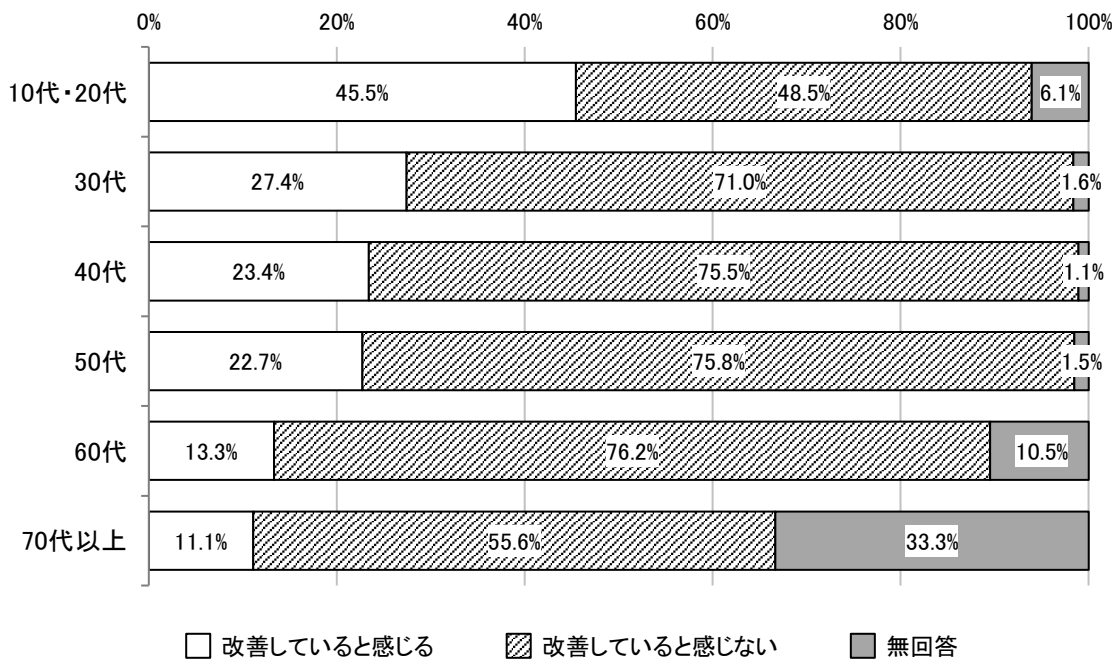
問10 あなたや、あなたの家族（荒尾市に居住の方のみ）の給与について、前年と比べて、改善していると感じますか。

【給与の改善状況】



給与の改善状況を見ると、「改善していると感じない」(67.1%)が7割弱になっており、前回(67.7%)と同等の市民が給与の改善を実感できていないことが分かる。

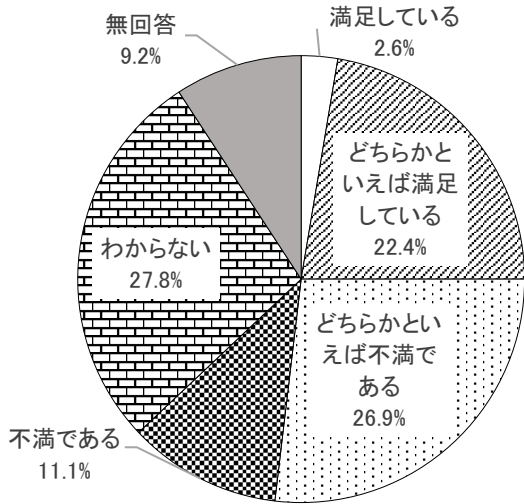
【年代別】



年代別にみると、10代・20代の若い世代では改善の傾向が見られるものの、60代が「改善していると感じない」(76.2%)の割合が大きくなっている。

問11-1 あなたは、荒尾市における労働環境について、どのように思いますか。

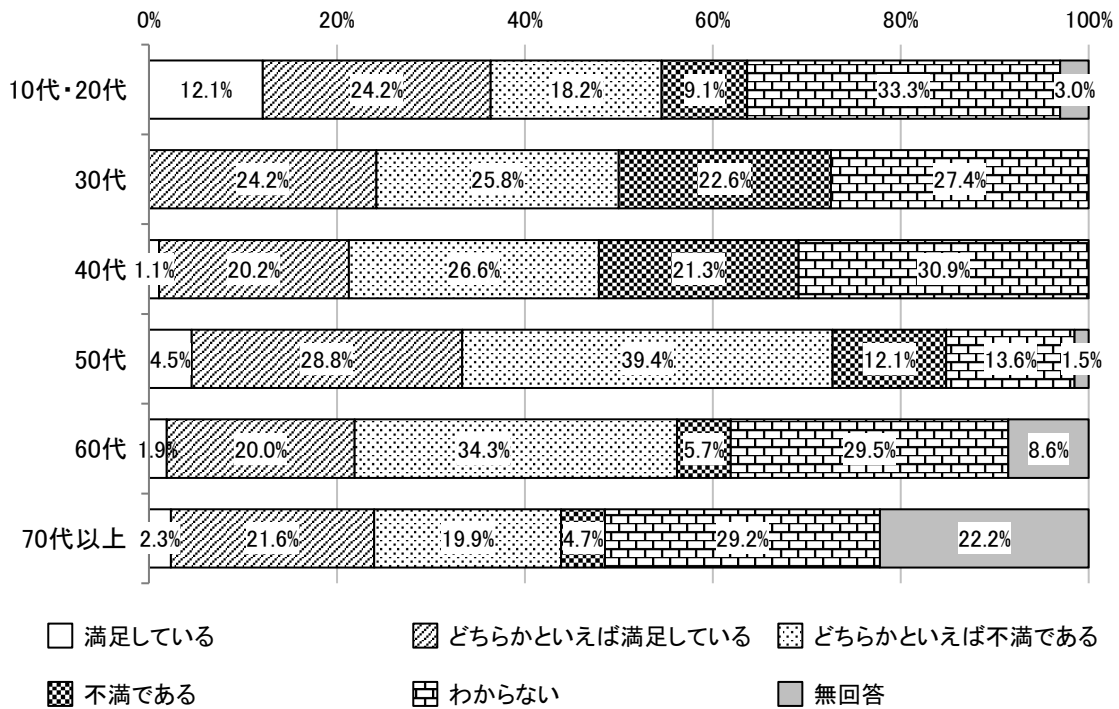
【荒尾市の労働環境の満足度】



荒尾市の労働環境の満足度は、「どちらかといえば満足している」、「満足している」を合わせた『満足』層が25.0%に対し、「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた『不満』層は38.0%となっており、『不満』層が13.0%高かった。

一方、「わからない」と答えた方は27.8%となっており、選択肢中では最も高くなっている。

【年代別】

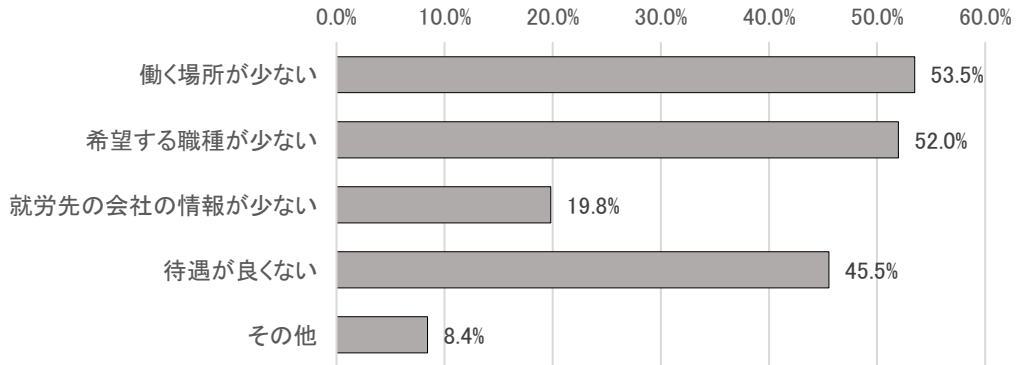


『満足』層と『不満』層の割合を年代別にみると、10代・20代では『満足』層の割合が高くなっているが、30代～70代以上では『不満』層の割合が高く、特に30代～60代では4割を超えて高くなっている。

問11-2

(問11-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方)
その理由はなぜですか。【いくつでも】

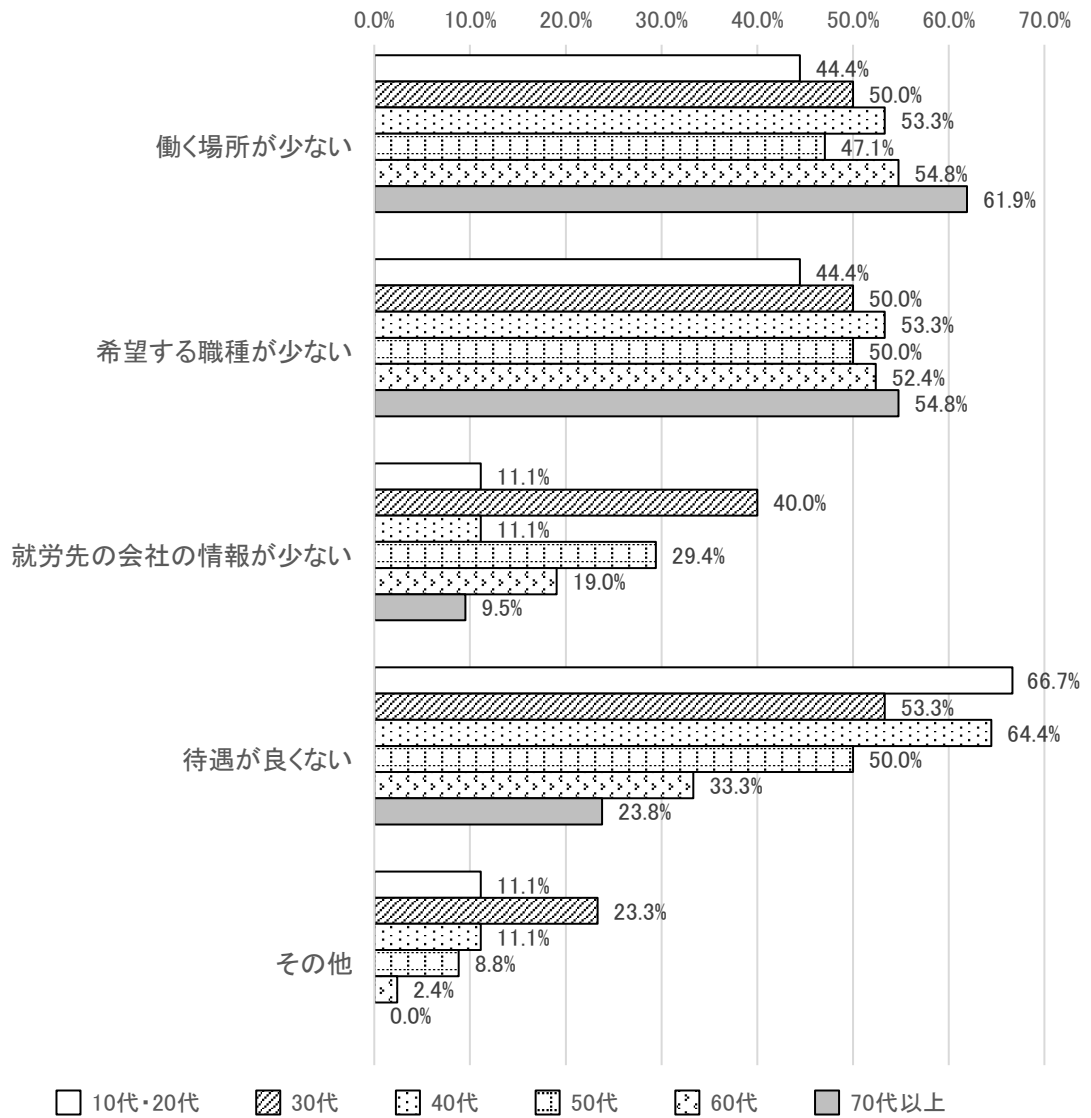
【荒尾市の労働環境に不満な理由】



荒尾市の労働環境に不満な理由は、「働く場所が少ない」(53.5%)が最も高く、次いで「希望する職種が少ない」(52.0%)、「待遇が良くない」(45.5%)となっている。

若年層の人口流出に歯止めをかけるために、引き続き働く場所を確保していくとともに、待遇改善に向けた取組が必要がある。

【年代別】



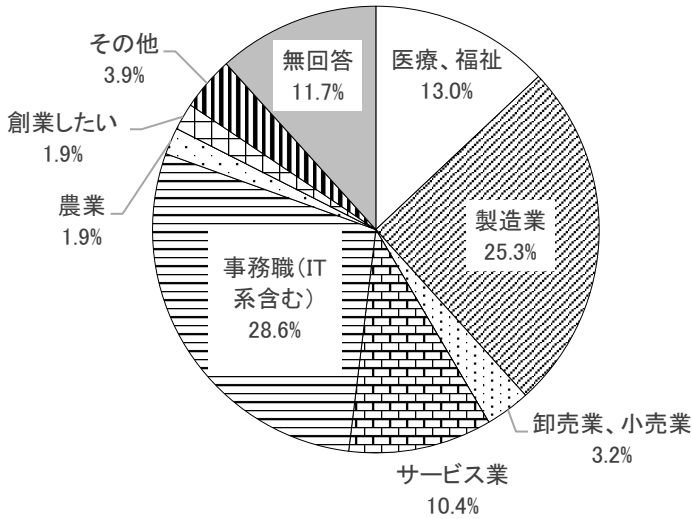
年代別にみると、60代以降では「働く場所が少ない」が最も高く、特に70代以上では6割を超えて高くなっている。

また、働く・子育て世代である10代・20代から40代では「待遇が良くない」の割合が最も高くなっていることから、雇用の創出及び雇用形態、給与の改善や福利厚生等の充実が求められている。

問11-3

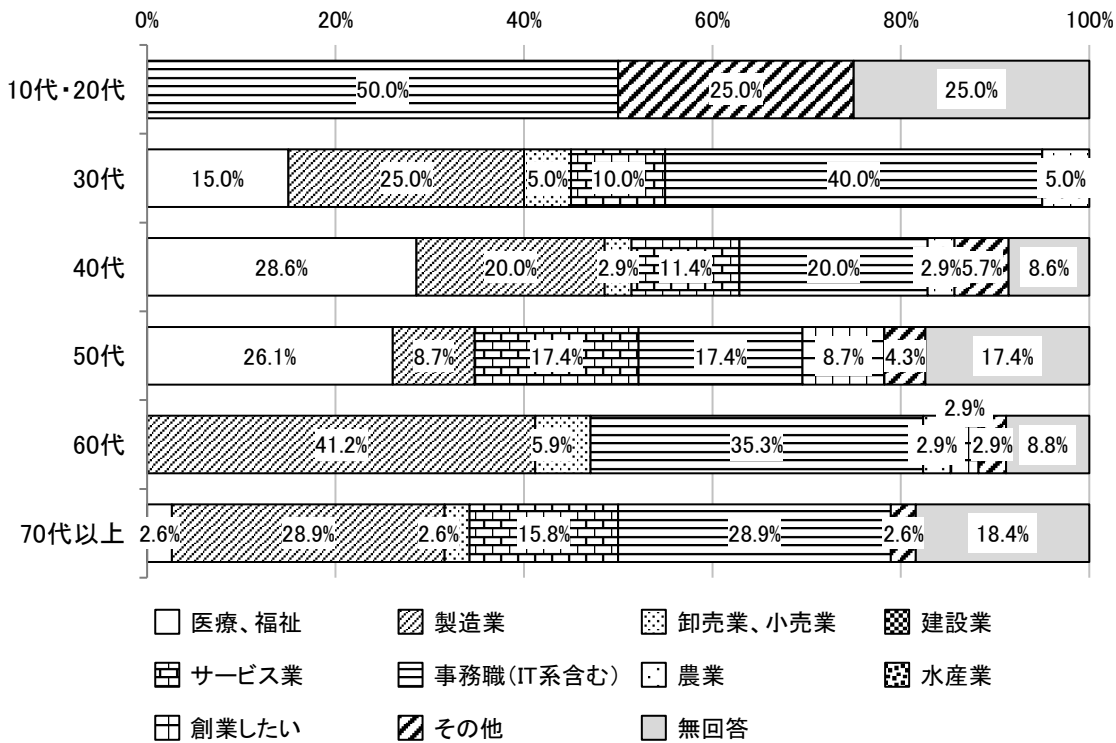
(問11-2で「1. 働く場所が少ない」「2. 希望する職種が少ない」と回答した方)
 どのような職種があれば荒尾市内で就労したいと思いますか【主なもの1つ】

【就労希望職種】



どのような職種があれば荒尾市内で就労したいと思うかみると、「事務職 (IT系含む)」(28.6%) が最も高く、次いで「製造業」(25.3%)、「医療・福祉」(13.0%) となっている。

【年代別】

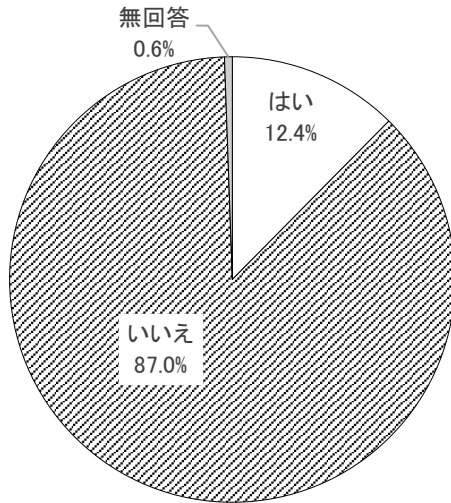


10代・20代では事務職 (IT系含む) の希望が特に高く、30代以上は製造業へのニーズが見られる。

(2) 公共交通の利用状況・満足度

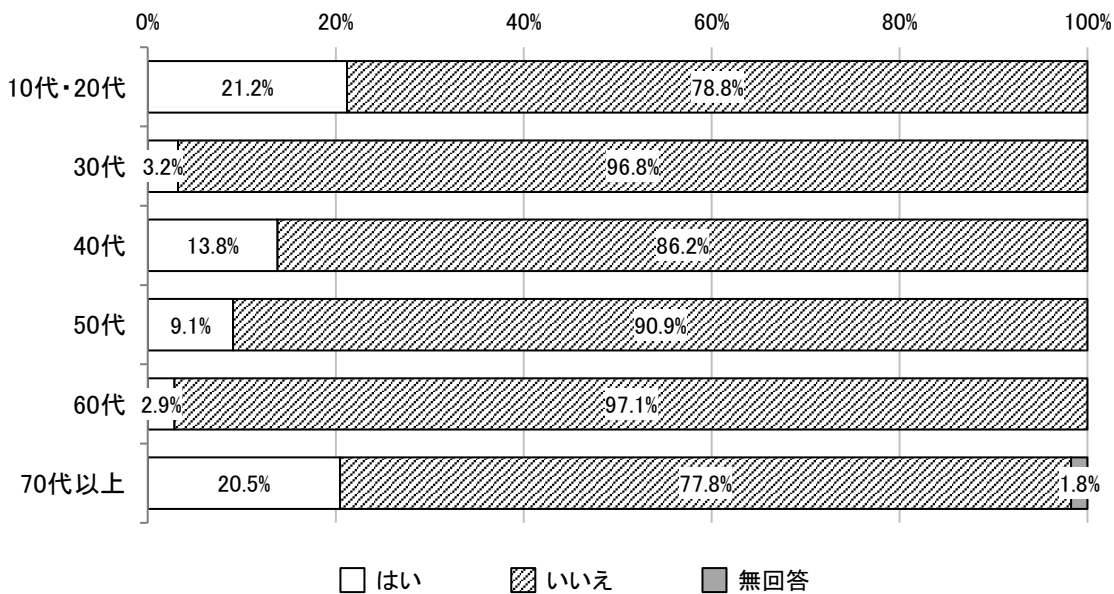
問12 あなたは、この1年間で路線バス、乗合タクシー、おもやいタクシーのいずれかを利用しましたか。

【公共交通利用の有無】



直近1年間で公共交通を利用した方は12.4%となっており、前回(12.4%)から変わらない。

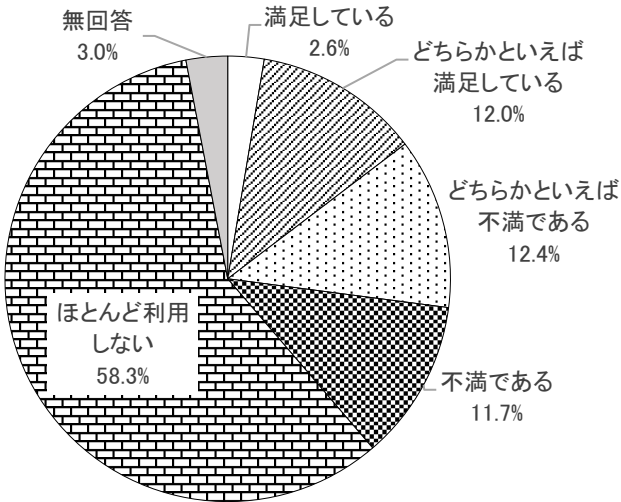
【年代別】



利用した方の割合を年代別にみると、10代・20代及び70代以上では利用者が他の年代より高くなっており、学生や高齢者の利用が多いことが分かる。30代及び50代、60代は10%以下となっており、30代の子育て年代の利用頻度が4%以下と突出して低くなっている。

問13 荒尾市の公共交通（電車、路線バス、乗合タクシー、おもやいタクシーなど）の利便性について、どのように思いますか。

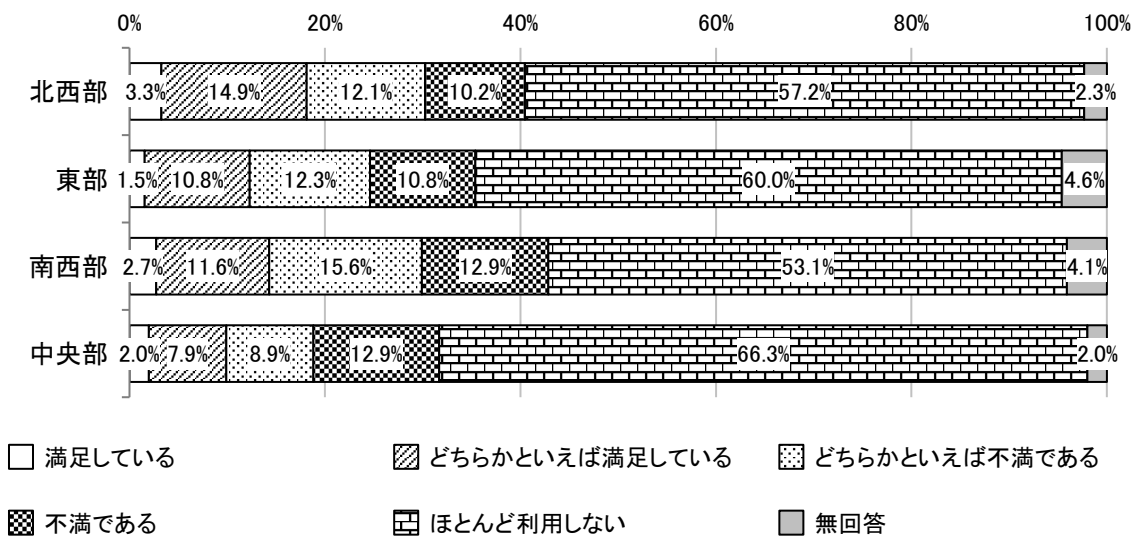
【公共交通に関する満足度】



荒尾市の公共交通の満足度は、「ほとんど利用しない」が58.3%（前回60.3%）と前回より2.0%低いですが、依然6割弱を占め最も高くなっている。

また、「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層は14.6%、「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた『不満足』層は24.1%となっており、前回（『満足』層：18.7%、『不満足』層：18.7%）より不満層が高い。

【居住地区別】



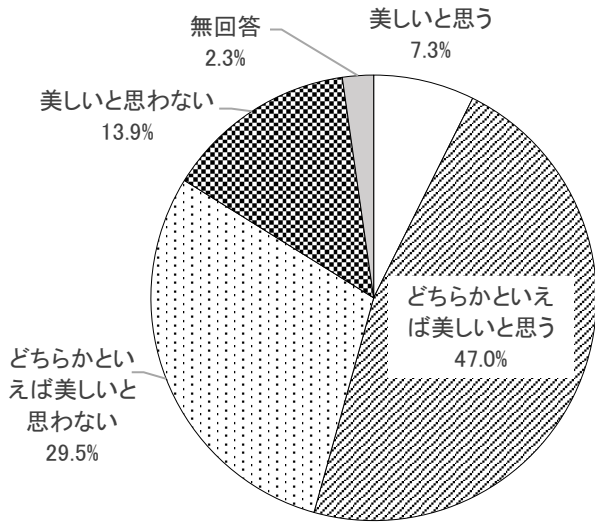
【居住地区】
 北西部 荒尾・万田・万田中央・井手川
 東部 平井・府本
 南西部 八幡・有明・清里・桜山
 中央部 緑ヶ丘・中央

居住地区別でみると、どの地区も「ほとんど利用しない」が5割以上を占めており、東部においては乗合タクシーを導入しているものの、ほとんど利用していない方が60.0%と他の地区よりも高い。

(3) 街並みの評価

問14 荒尾市の街並み（道路の植栽などの景観）について、どのように思いますか。

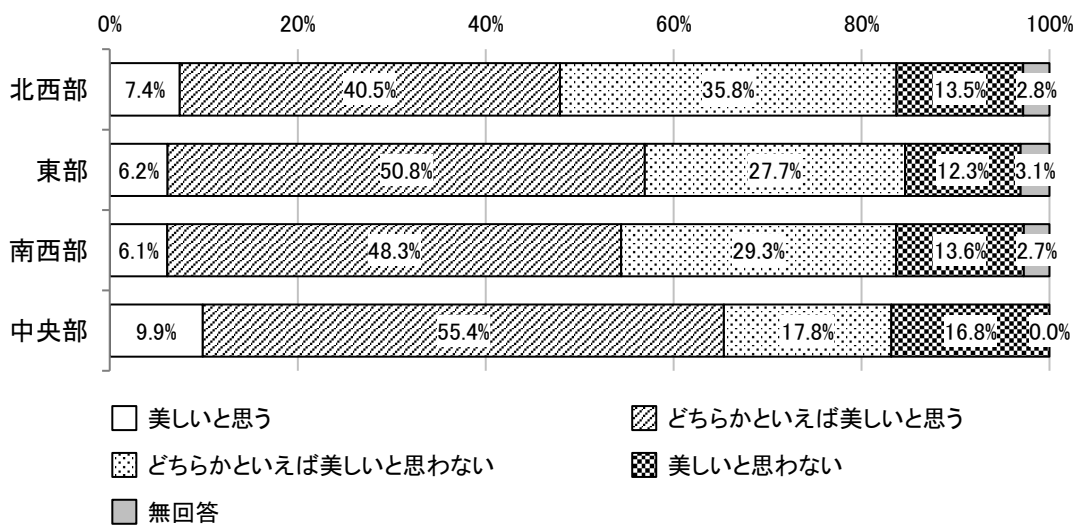
【街並みの評価】



荒尾市の街並みの評価は、「どちらかといえば美しいと思う」(47.0%)が最も高く、次いで「どちらかといえば美しいと思わない」(29.5%)となっている。

また、「美しいと思う」、「どちらかといえば美しいと思う」を合わせた割合は、前回同様過半数を占めている。

【居住地区別】



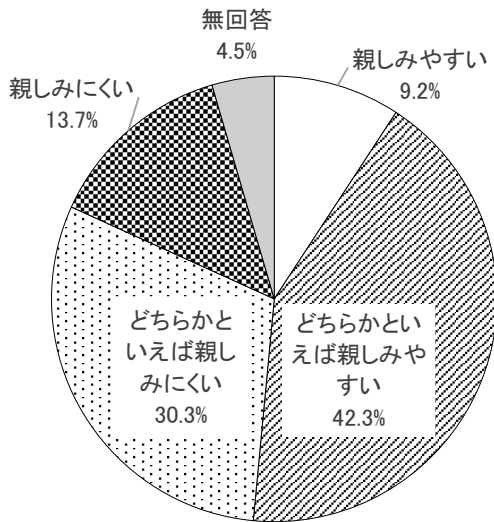
【居住地区】 **北西部** 荒尾・万田・万田中央・井手川 **東部** 平井・府本
南西部 八幡・有明・清里・桜山 **中央部** 緑ヶ丘・中央

居住地区別に比較すると、中央部では「美しいと思う」、「どちらかといえば美しいと思う」を合わせた割合が6割を超えている一方で北西部では5割以下となっている。

(4) 「荒尾干潟」の親しみやすさ

問15 荒尾市の地域資源である、ラムサール条約湿地の「荒尾干潟」について、親しみやすいと感じますか。

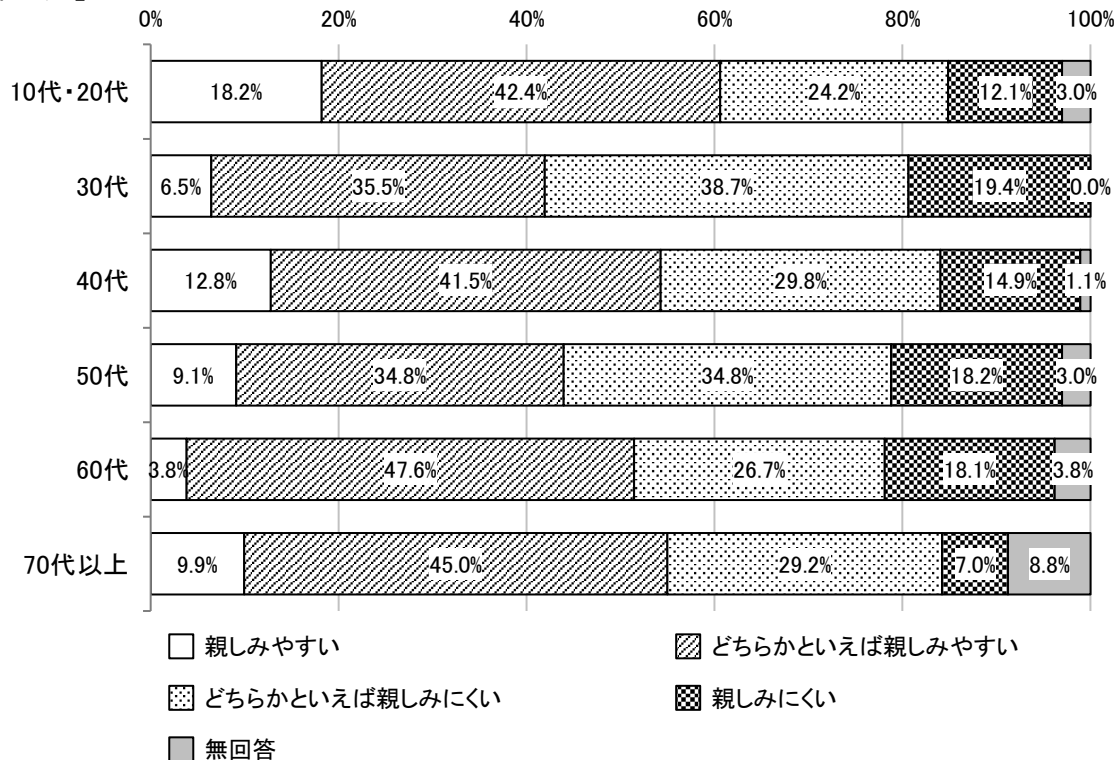
【荒尾干潟の親しみやすさ】



荒尾市の地域資源である「荒尾干潟」の親しみやすさは、「どちらかといえば親しみやすい」(42.3%)が最も高く、次いで「どちらかといえば親しみにくい」(30.3%)となっている。

「どちらかといえば親しみにくい」、「親しみにくい」を合わせた『親しみにくい』層は44.0%と前回(39.0%)より高くなっており、引き続き地域資源としての誇りの醸成に繋げる施策を行う必要がある。

【年代別】

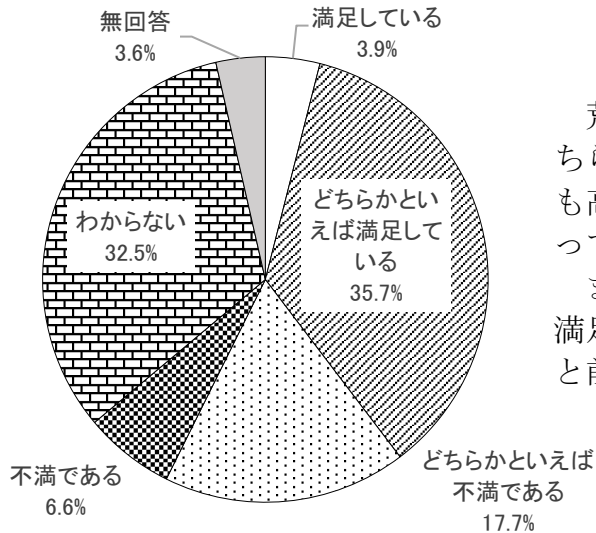


年代別にみると、30代と50代以外は、『親しみやすい』層の割合が過半数を超えているが、30代と50代は『親しみにくい』層が過半数を超えており、世代間に差が生じている。

(5) 文化・教養に関する満足度

問16-1 荒尾市の文化・教養に関する環境について、どのように思いますか。

【文化・教養に関する環境の満足度】

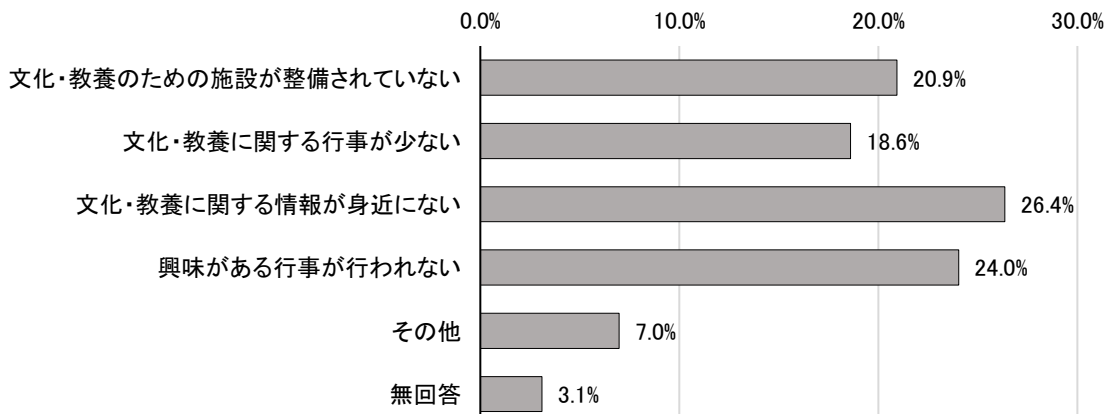


荒尾市の文化・教養に関する満足度は、「どちらかといえば満足している」(35.7%)が最も高く、次いで「わからない」(32.5%)となっている。

また、「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層は39.6%と前回(42.8%)より低くなっている。

問16-2 (問16-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方)その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

【文化・教養に関する環境に不満な理由】



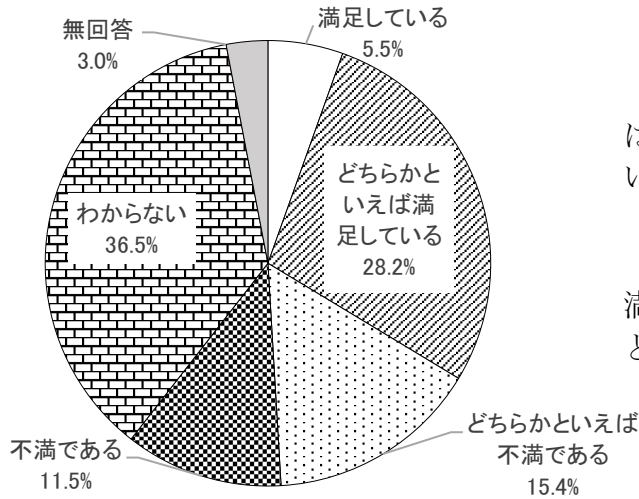
荒尾市の文化・教養に関する環境に不満な理由は、「文化・教養に関する情報が身近にない」(26.4%)が最も高く、次いで「興味がある行事が行われたい」(24.0%)、「文化・教養のための施設が整備されていない」(20.9%)となっている。

「文化・教養に関する行事が少ない」と答えた人が前回より6.8%低くなったため、今後もニーズを捉えた魅力ある行事を行うとともに、情報発信についても強化する必要がある。

(6) スポーツに関する環境の満足度

問17-1 荒尾市のスポーツに関する環境について、どのように思いますか。

【スポーツに関する環境の満足度】

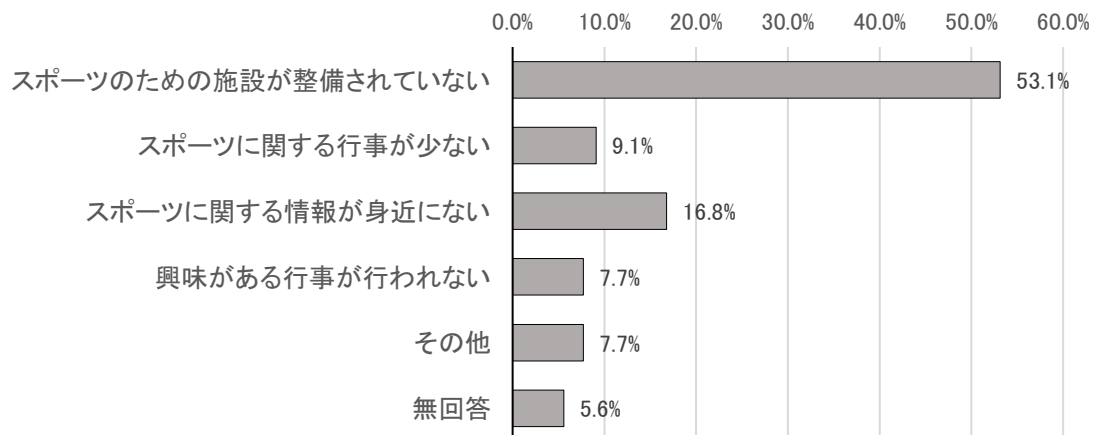


荒尾市のスポーツに関する環境の満足度は、「わからない」(36.5%)が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」(28.2%)となっている。

また、「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層は33.7%となっている。

問17-2 (問17-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方) その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

【スポーツに関する環境に不満な理由】



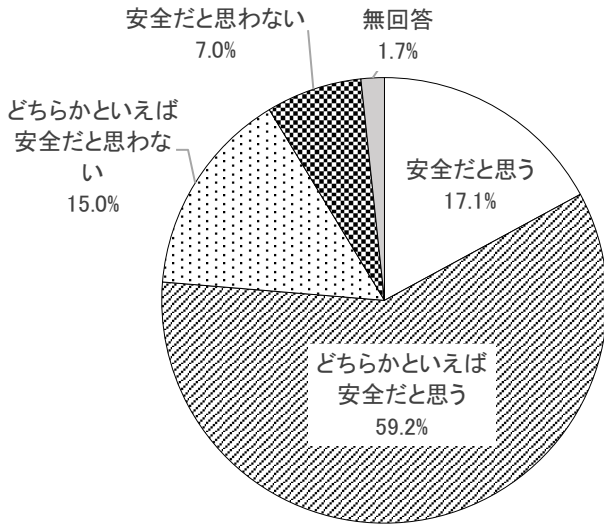
荒尾市のスポーツに関する環境に不満な理由は、「スポーツのための施設が整備されていない」(53.1%)が最も高く、次いで「スポーツに関する情報が身近にない」(16.8%)と前回同様の結果となっている。

文化・教養に関する環境と同様、魅力ある行事の実施と情報発信を併せて行いながら、施設整備についても検討する必要がある。

(7) 防犯や防災に関する地域の安全性

問18 防犯や防災の観点から、あなたのお住まいの地域は安全だと思いますか。

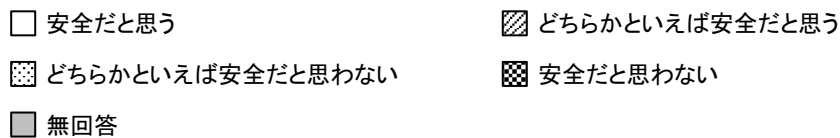
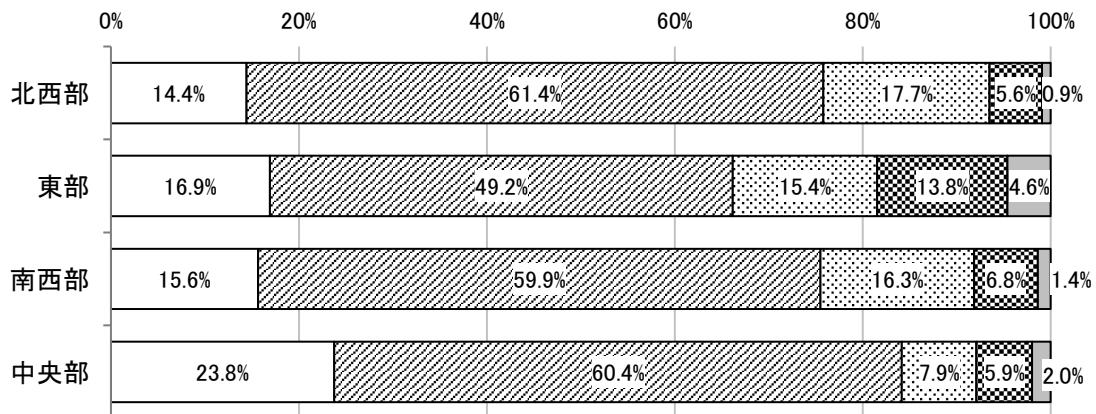
【防犯や防災に関する地域の安全性】



自身が住んでいる地域の安全性は、「どちらかといえば安全だと思う」(59.2%)が最も高く、次いで「安全だと思う」(17.1%)となっている。

「安全だと思う」、「どちらかといえば安全だと思う」を合わせた『安全だと思う』層は76.3%となっており、令和2年7月豪雨以降においても、高い数値を維持している。

【居住地区別】



【居住地区】 **北西部** 荒尾・万田・万田中央・井手川 **東部** 平井・府本
南西部 八幡・有明・清里・桜山 **中央部** 緑ヶ丘・中央

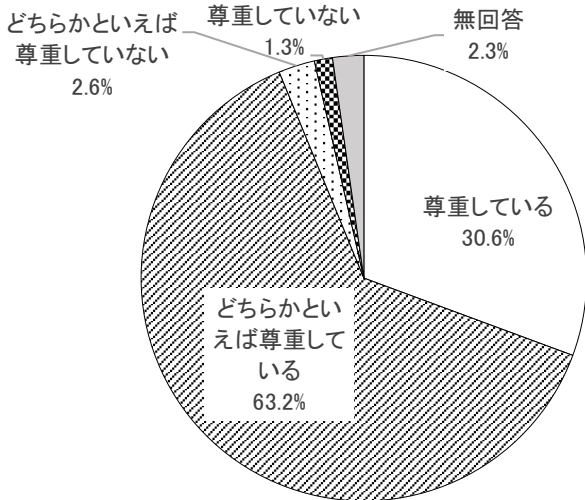
居住地区別にみると、『安全だと思う』層は、中央部で84.2%と最も高くなっており、前回同様の結果となっている。

一方、『安全だと思わない』層は、前回同様に山間部である東部(29.2%)が最も高くなっている。

(8) 多様性の尊重

問19 あなたは、普段から性別や障がいの有無などに関わらず相手を尊重して接していますか。

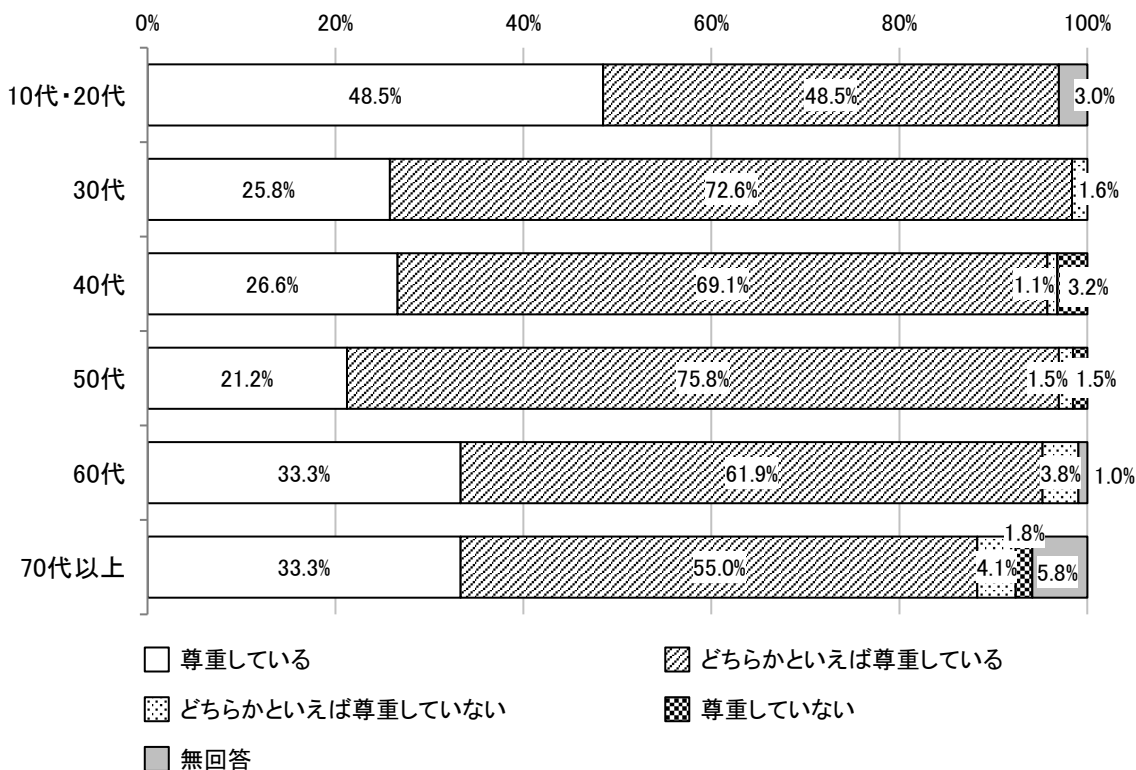
【多様性の尊重】



普段から性別や障がいの有無などに関わらず相手を尊重している市民の割合は、「どちらかといえば尊重している」(63.2%)が最も高く、次いで「尊重している」(30.6%)となっている。

「尊重している」、「どちらかといえば尊重している」を合わせた『尊重している』層は93.8%となっており、前回同様9割強の市民が多様性を尊重していることが分かる。

【年代別】

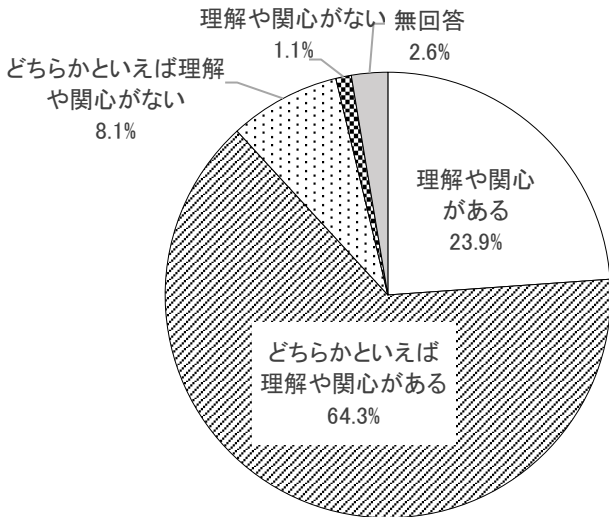


年代別にみると、10代・20代から60代までは『尊重している』層が9割を超えて高くなっている。

(9) 障がい者への理解や関心

問20 あなたは、障がい者への理解や関心がありますか。

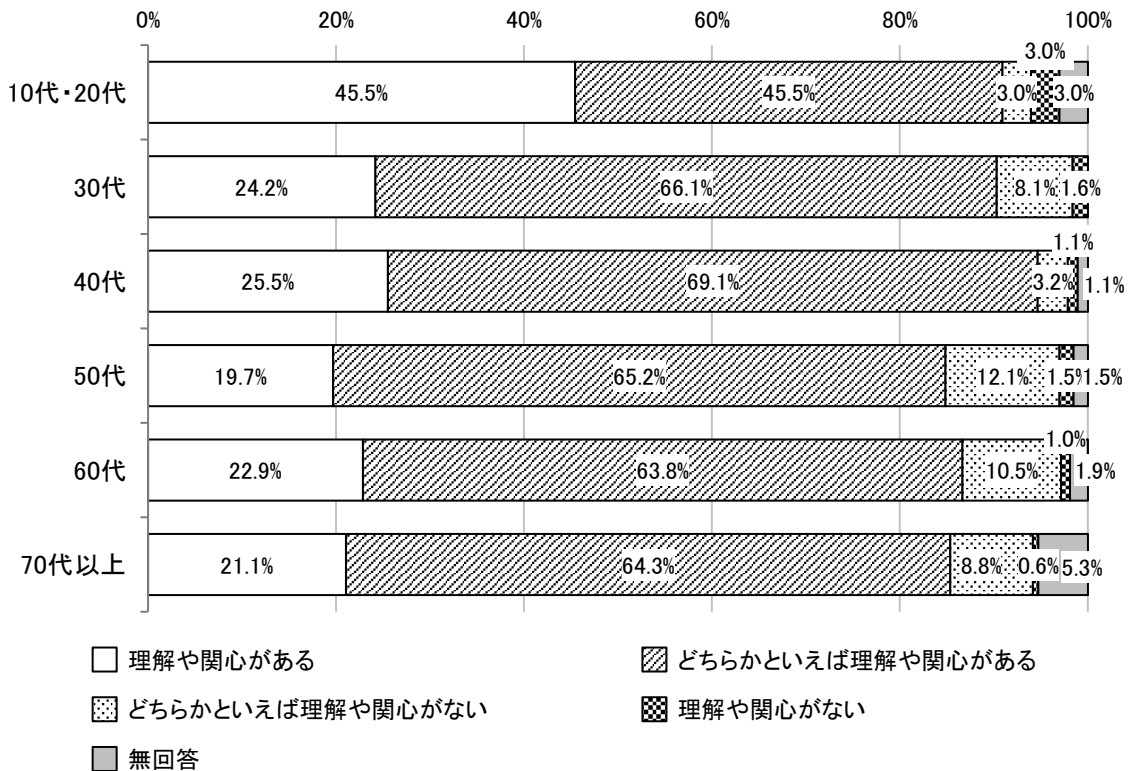
【障がい者への理解や関心】



障がい者への理解や関心がある市民の割合は、「どちらかといえば理解や関心がある」(64.3%)が最も高く、次いで「理解や関心がある」(23.9%)となっている。

「理解や関心がある」、「どちらかといえば理解や関心がある」を合わせた『関心がある』層は88.2%となっており、8割強の市民が障がい者への配慮があることが分かる。

【年代別】

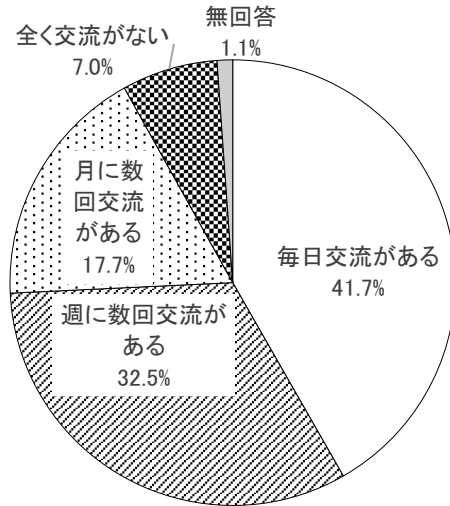


年代別にみても、すべての年代において『関心がある』層の割合が高いが、50代、60代では『関心がない』層が他の年代より高くなっている。

(10) 地域社会との交流

問21 あなたは、日常生活において、家族以外の人と交流がありますか。

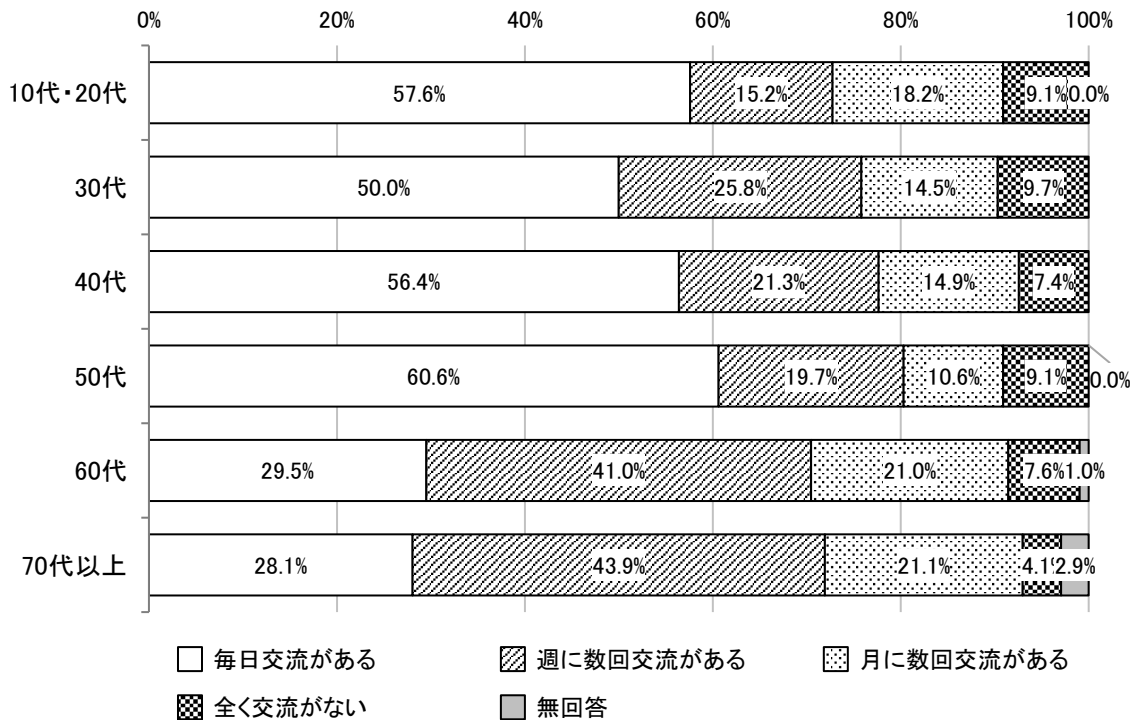
【地域社会との交流】



地域社会との交流については、「毎日交流がある」(41.7%)が最も高く、次いで「週に数回交流がある」(32.5%)となっている。

「毎日交流がある」、「週に数回交流がある」を合わせた『交流がある』層は74.2%となっており、7割の市民が日常的な交流があることが分かる。

【年代別】



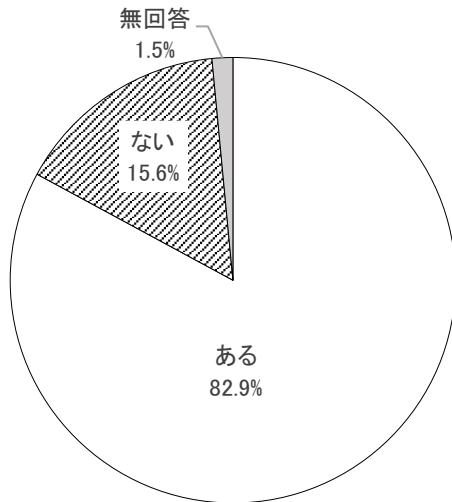
年代別にみると、年代が上がるにつれ、日常的な交流がある方の割合が下がっていく傾向にある。

一方、どの世代でも、「月に数回交流がある」「全く交流がない」と回答した人が一定数いるため、中高年層だけでなく、すべての世代において社会的な孤立を防止するための対策が必要である。

(11) 情報化について

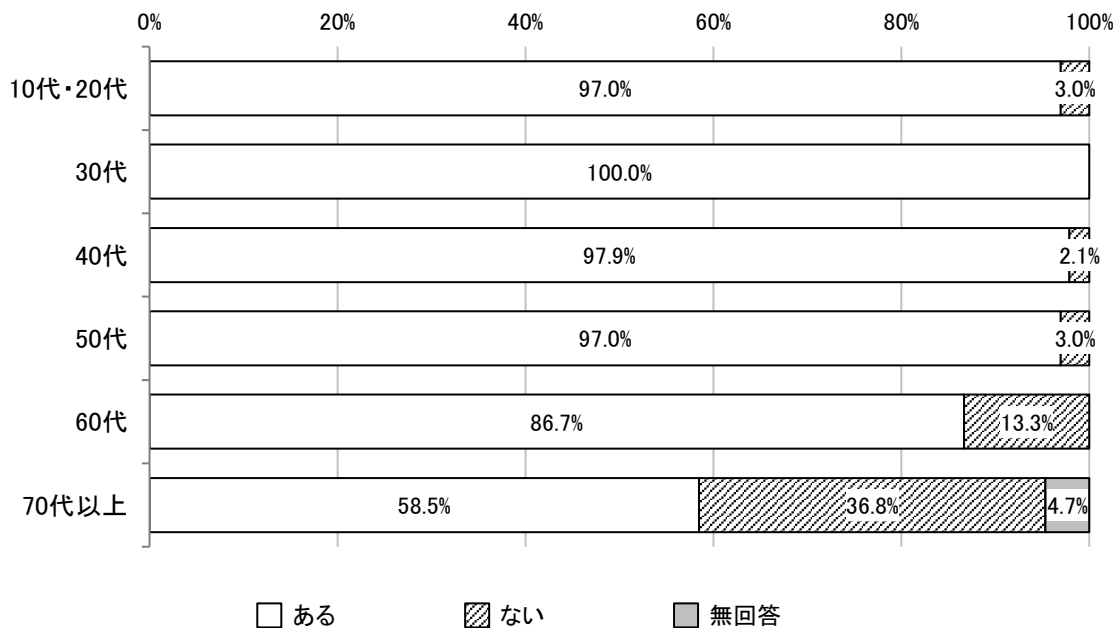
問22-1 あなたは、普段インターネットを使える環境（パソコンやスマートフォンなど）がありますか。

【インターネットを使える環境】



インターネットを使用できる環境については、「ある」(82.9%)、「ない」(15.6%)と「ある」と回答した方が「ない」を大きく上回っており、8割近い市民がインターネットを使用できる環境にあることが分かる。

【年代別】

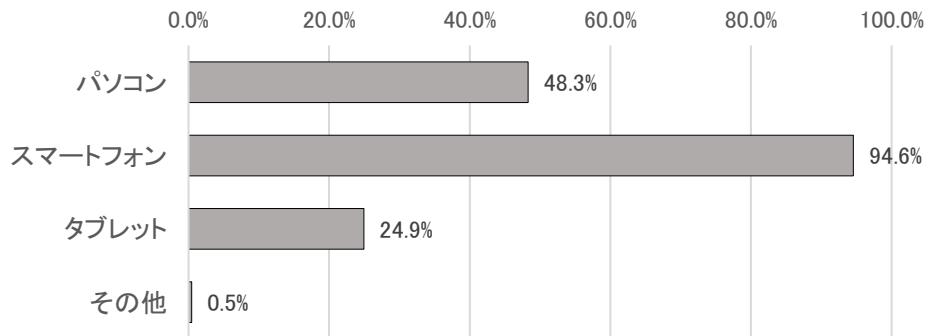


年代別にみると、60代までは「ある」と回答した方が8割を超えており、幅広い世代でインターネットを使用できる環境が整っていることが分かる。

一方、年代が上がるにつれて、インターネットを使用できる環境がない人の割合が高くなる傾向となっており、70代以上では「ない」(36.8%)が他の世代より突出して高いため、デジタル化を推進していく中でも高齢者への配慮が必要である。

問22-2 (問22-1で「1. ある」と回答した方)
主にどのような機器を使用していますか。

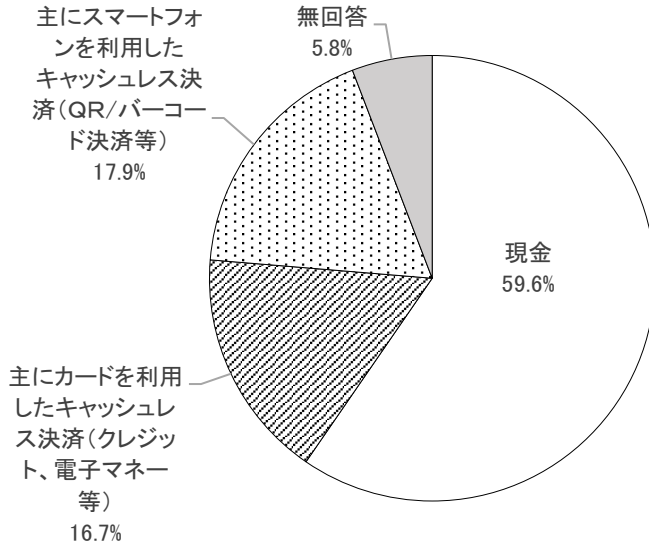
【使用している機器】



使用している機器については、「スマートフォン」(94.6%)が最も高く、次いで「パソコン」(48.3%)、「タブレット」(24.9%)となっており、インターネットを使える環境にある人の9割が「スマートフォン」を使用していることが分かる。

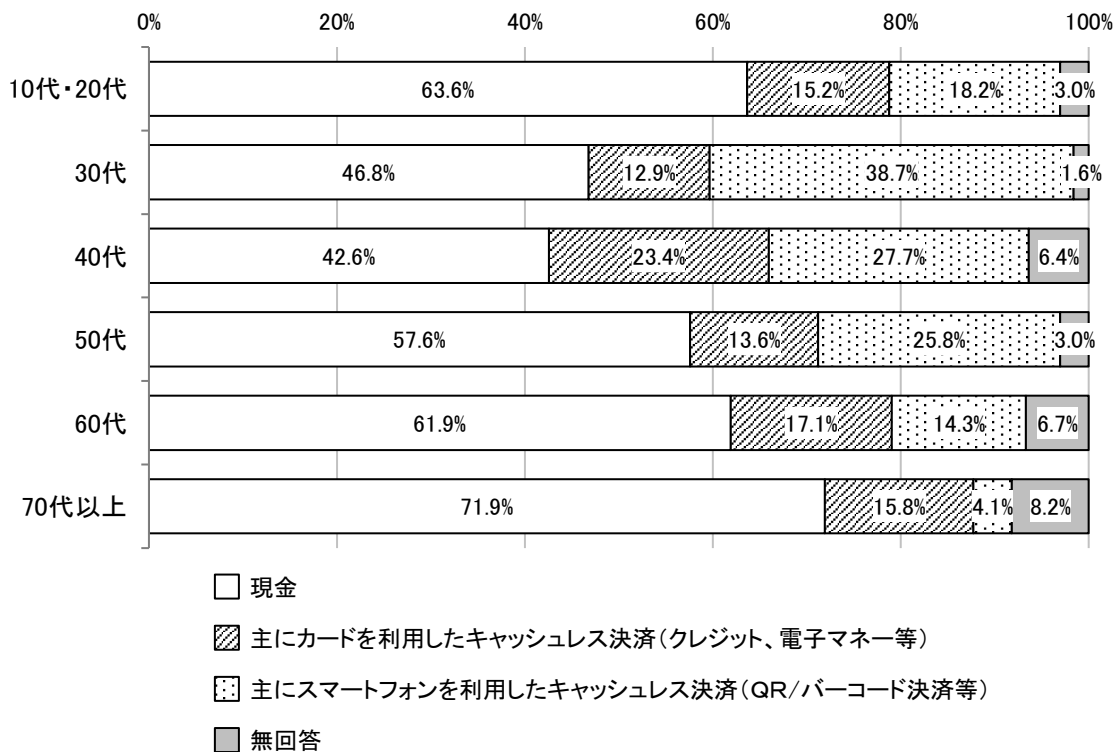
問23 あなたが、店舗等で買い物をする際の、主な支払方法は何ですか。

【買い物をする際の支払い方法】



買い物をする際の主な支払方法については、「現金」(59.6%)が最も高く、次いで「主にカードを利用したキャッシュレス決済(クレジット、電子マネー等)」(16.7%)となっており、6割弱の市民が「現金」を使用していることが分かる。

【年代別】

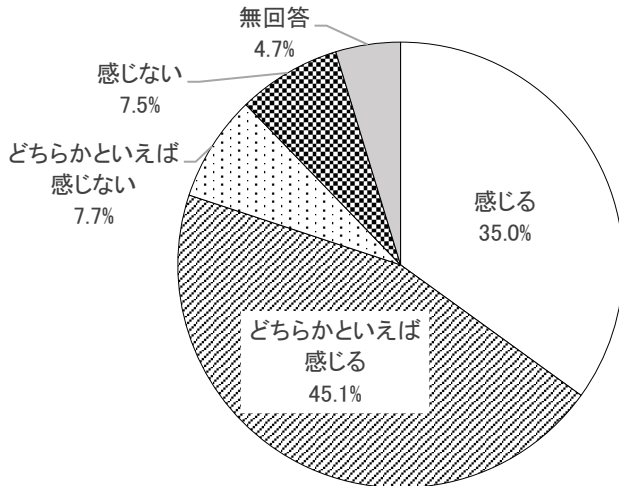


年代別にみると、50代からは年代が上がるにつれ、「現金」を使用している割合が高く、70代以上(71.9%)では7割を超えて高くなっている。

また、「現金」以外の支払方法を利用している方の割合をみると、40代が突出しており、5割を超えている。

問24-1 あなたは、デジタルサービス（インターネットやスマートフォン、タブレットなどのデジタル技術で提供されるサービス）が進んでいく中で、デジタルによる便利さを感じますか。

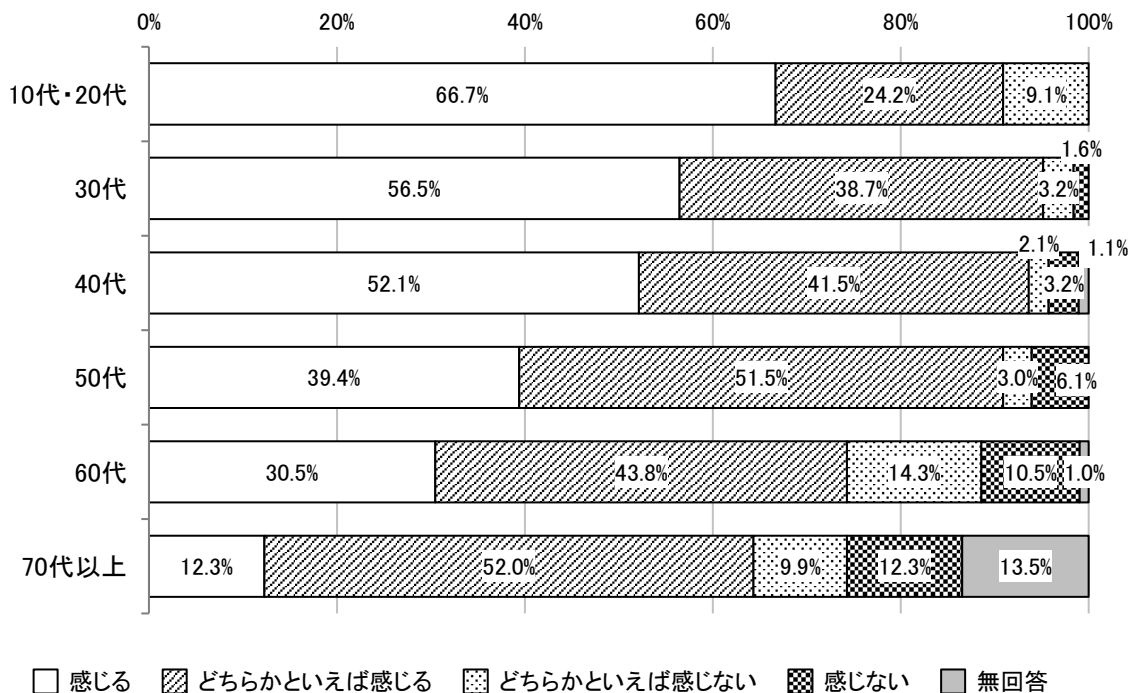
【デジタルの便利さの実感】



デジタルの便利さを感じるかについては、「どちらかといえば感じる」(45.1%)が最も高く、次いで「感じる」(35.0%)となっている。

「感じる」、「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』層は80.1%となっており、8割近い人がデジタルの便利さを感じていることが分かる。

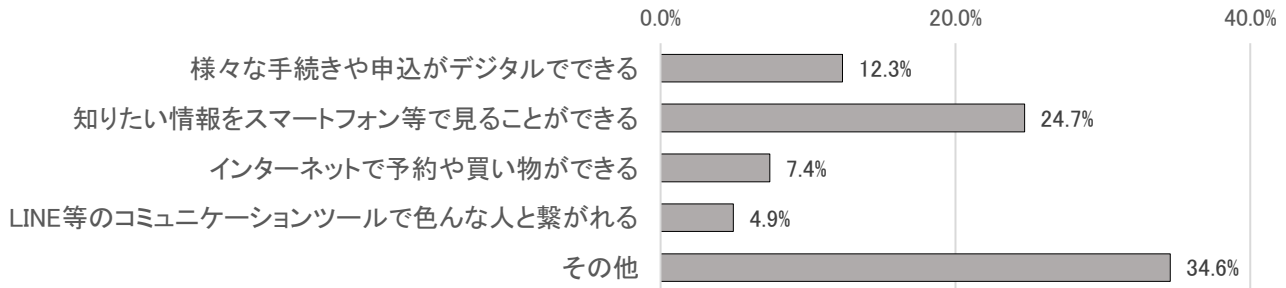
【年代別】



年代別にみても、全ての年代でデジタルによる便利さを「感じる」割合が高くなっている。60代・70代以上の『感じない』層については、感じる機会そのものがない可能性があるため、高齢者へのデジタル活用支援などの施策に取り組む必要がある。

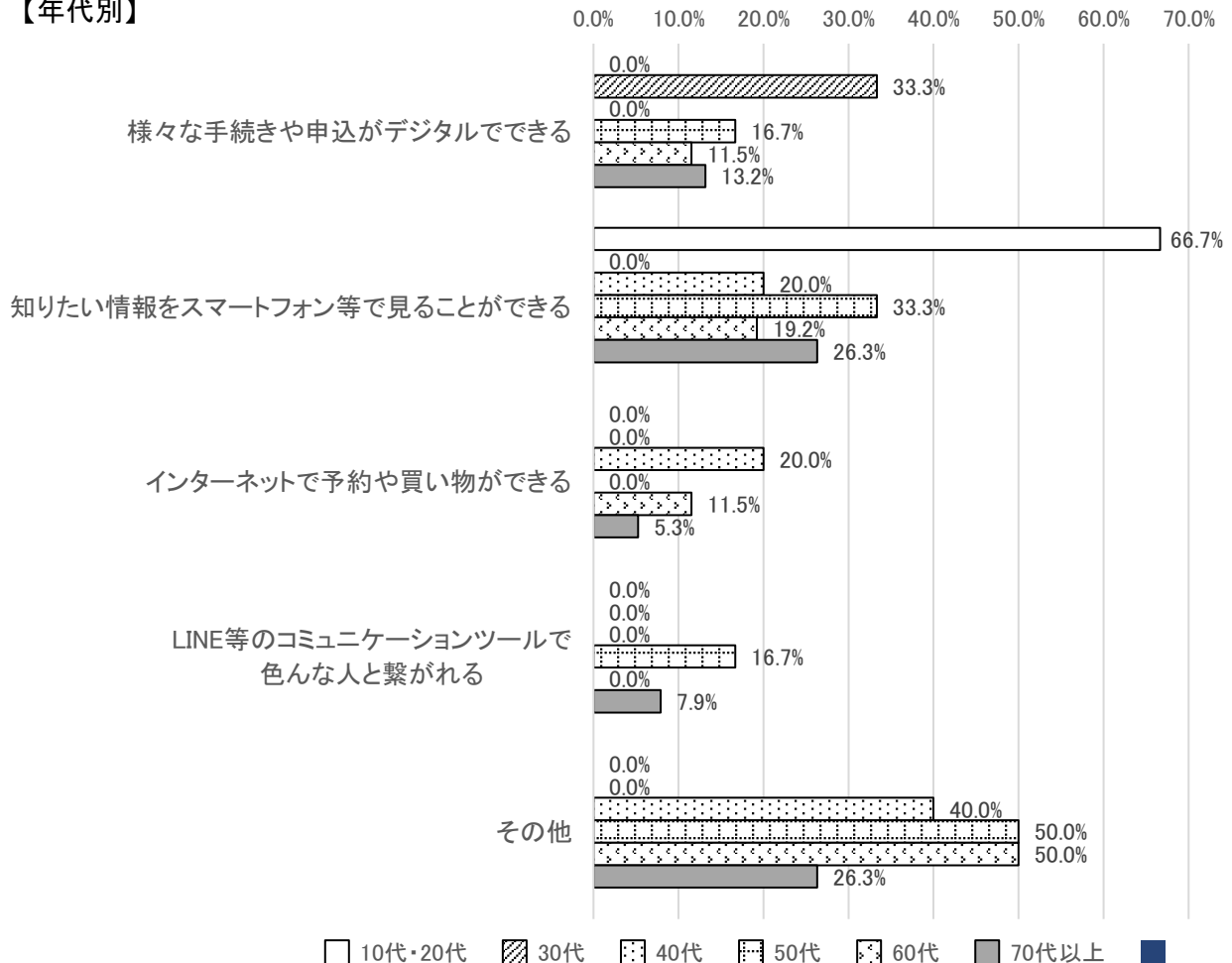
問24-2 (問24-1で「3. どちらかといえば感じない」「4. 感じない」と回答した方) どのようなサービスが利用できれば便利だと感じますか。

【あれば便利だと感じるサービス】



あれば便利だと感じるサービスについては、「その他」(34.6%)が最も高く、次いで、「知りたい情報をスマートフォン等で見ることができる」(24.7%)となっている。

【年代別】



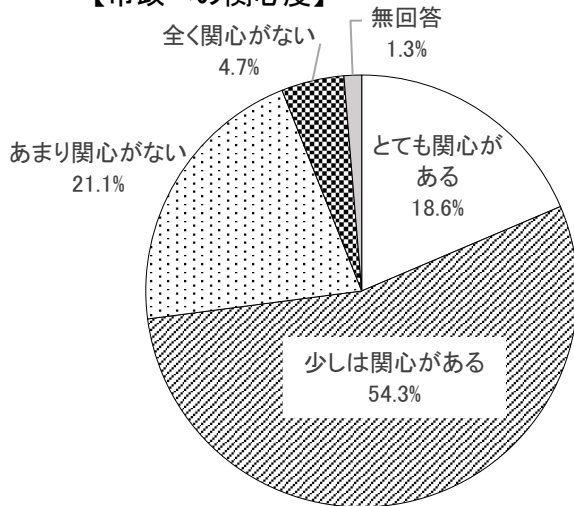
年代別にみると、10代・20代で「知りたい情報をスマートフォン等で見ることができる」(66.7%)と突出して高くなっており、高齢者だけでなく、全世代に向けたデジタル機器関連の講座や分かりやすい説明など、誰もが諦めることなく平等にサービスを受けられるような取組が必要である。

5. 市民と行政との協働のまちづくりについて

(1) まちづくりに関する市民と行政の役割分担について

問25 あなたは、市政（荒尾市が行っているまちづくり）全般について関心をお持ちですか。
【主なもの1つ】

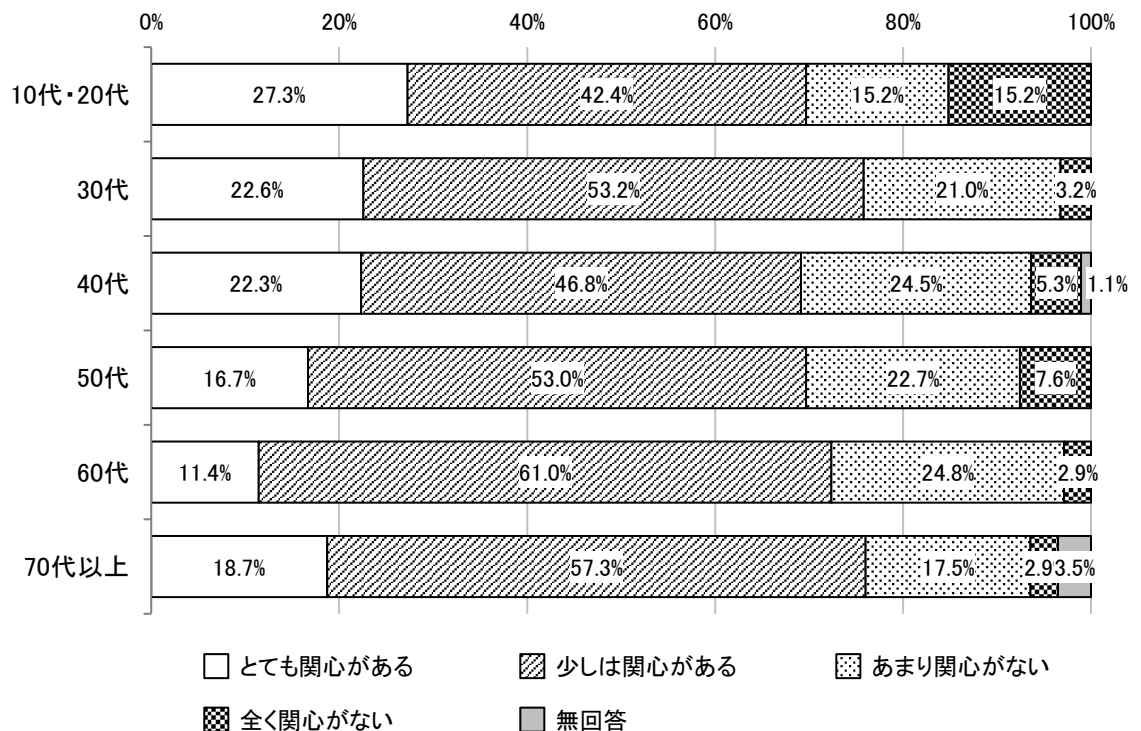
【市政への関心度】



市政への関心度をみると、「少しは関心がある」(54.3%)が最も高く、次いで「あまり関心がない」(21.1%)、「とても関心がある」(18.6%)となっている。

「とても関心がある」、「少しは関心がある」を合わせた『関心』層(72.9%)は、「あまり関心がない」、「全く関心がない」を合わせた『無関心』層(25.8%)を大きく上回っている。

【年代別】

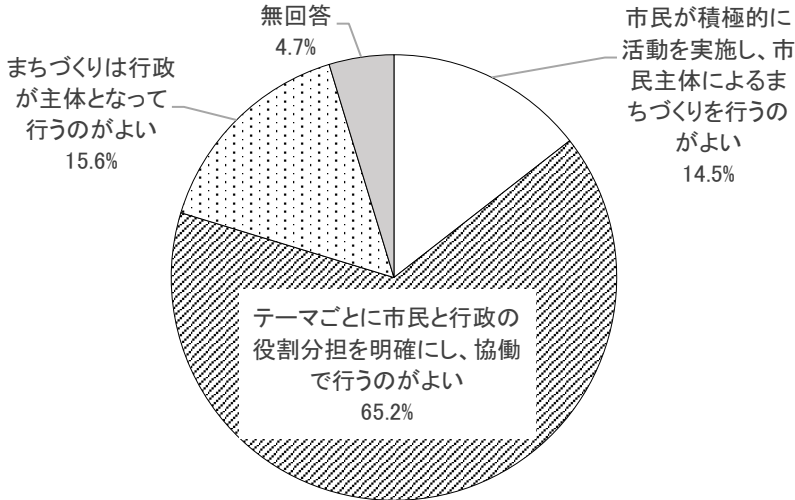


年代別にみると、子育て世代の30代は市政への関心度が最も高く、『関心』層が7割を占めている。

一方40代から50代は『無関心』層が3割弱となっており、他の年代に比べて市政への関心が低いことが分かる。

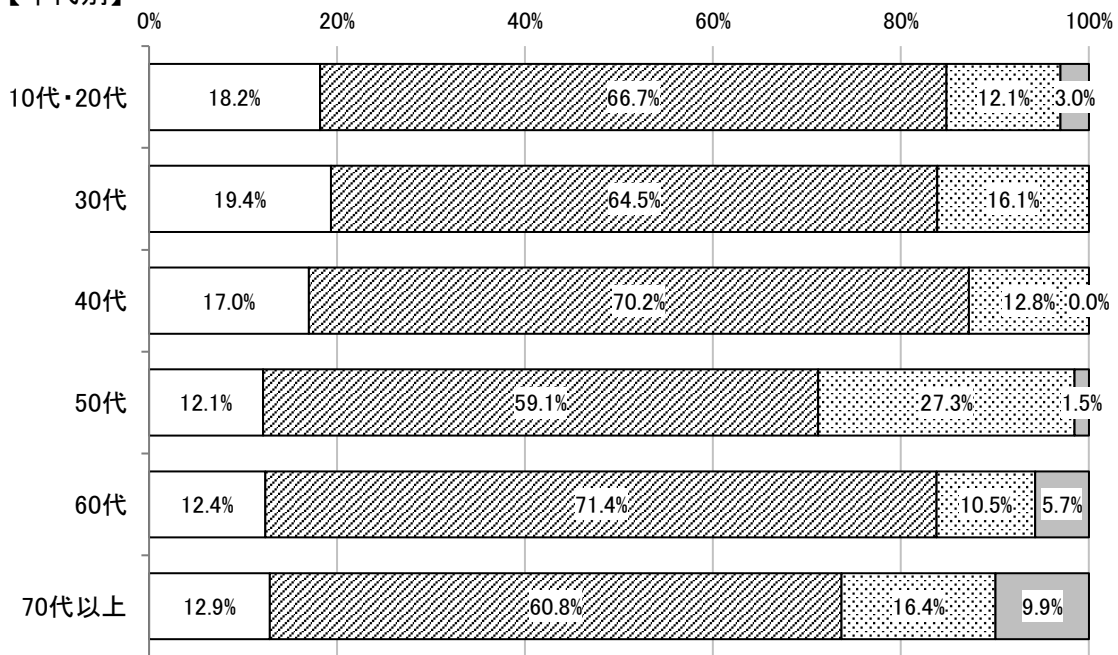
問26 あなたは、これからのまちづくりを進める上で、市民と行政がどのように役割分担すれば良いと思いますか。【主なもの1つ】

【市民と行政の役割分担】



市民と行政の役割分担をみると、「テーマごとに市民と行政の役割分担を明確にし、協働で行うのがよい」(65.2%)が最も高く、次いで「行政主体」(15.6%)、「市民主体」(14.5%)となっている。

【年代別】



- 市民が積極的に活動を実施し、市民主体によるまちづくりを行うのがよい
- テーマごとに市民と行政の役割分担を明確にし、協働で行うのがよい
- まちづくりは行政が主体となって行うのがよい
- 無回答

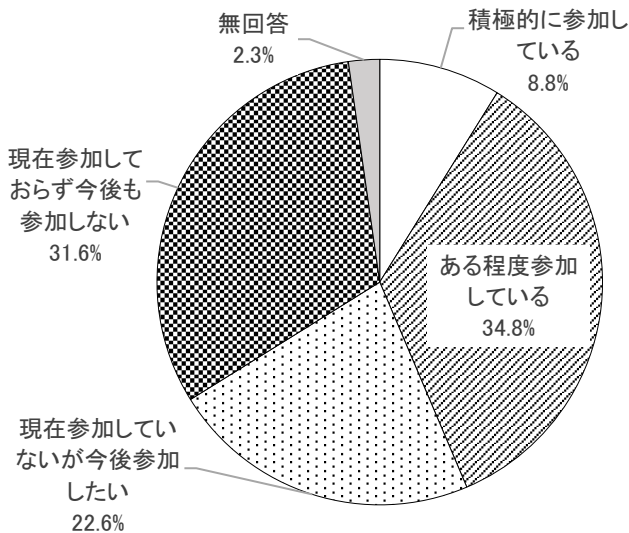
年代別にみると、すべての世代において「テーマごとに市民と行政の役割分担を明確にし、協働で行うのがよい」と回答している割合が高く、協働のまちづくりを望んでいることが分かる。

一方、10代・20代と30代では市民主体のまちづくりを望んでいる人が2割弱おり、若い人たちのまちづくりへの積極性が伺える。

(2) 地域活動への参加

問27-1 あなたは、地域活動（地域の行事や清掃活動、見守り活動など）に参加していますか。
【主なもの1つ】

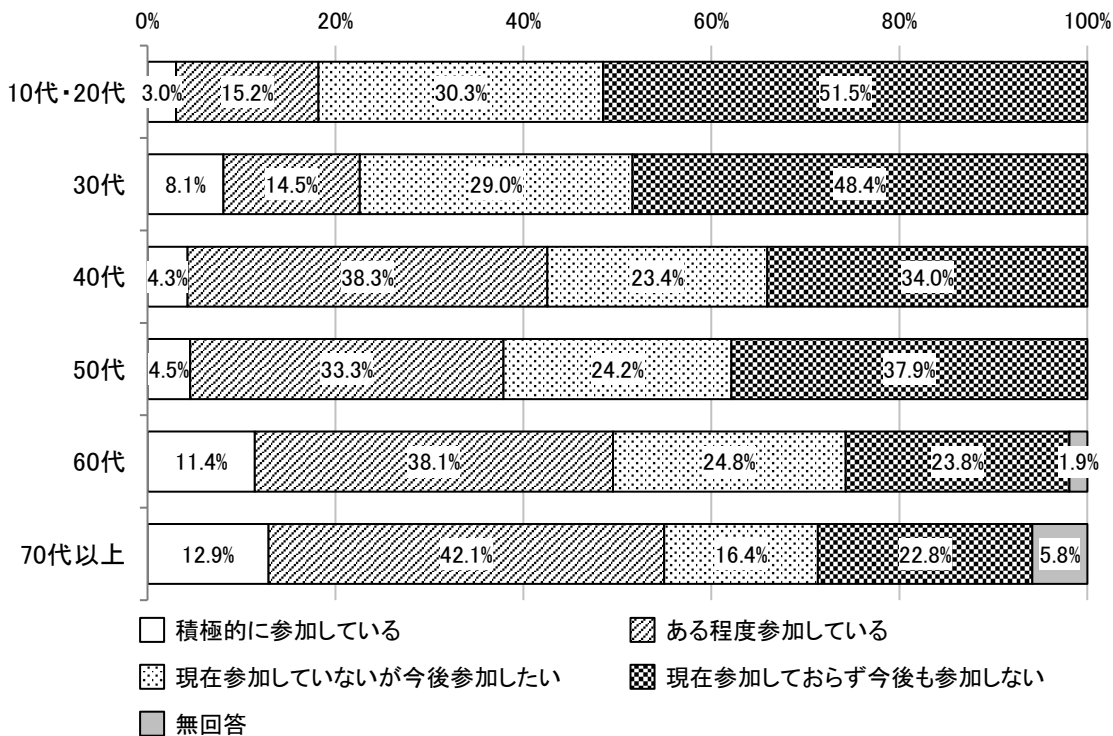
【地域活動への参加状況】



地域活動への参加状況は、「ある程度参加している」(34.8%)が最も高く、次いで「現在参加しておらず今後もしない」(31.6%)、「現在参加していないが今後参加したい」(22.6%)となっている。

また、「積極的に参加している」、「ある程度参加している」を合わせた『参加』層は約4割(43.6%)となっており、前回(47.7%)より低くなっている。

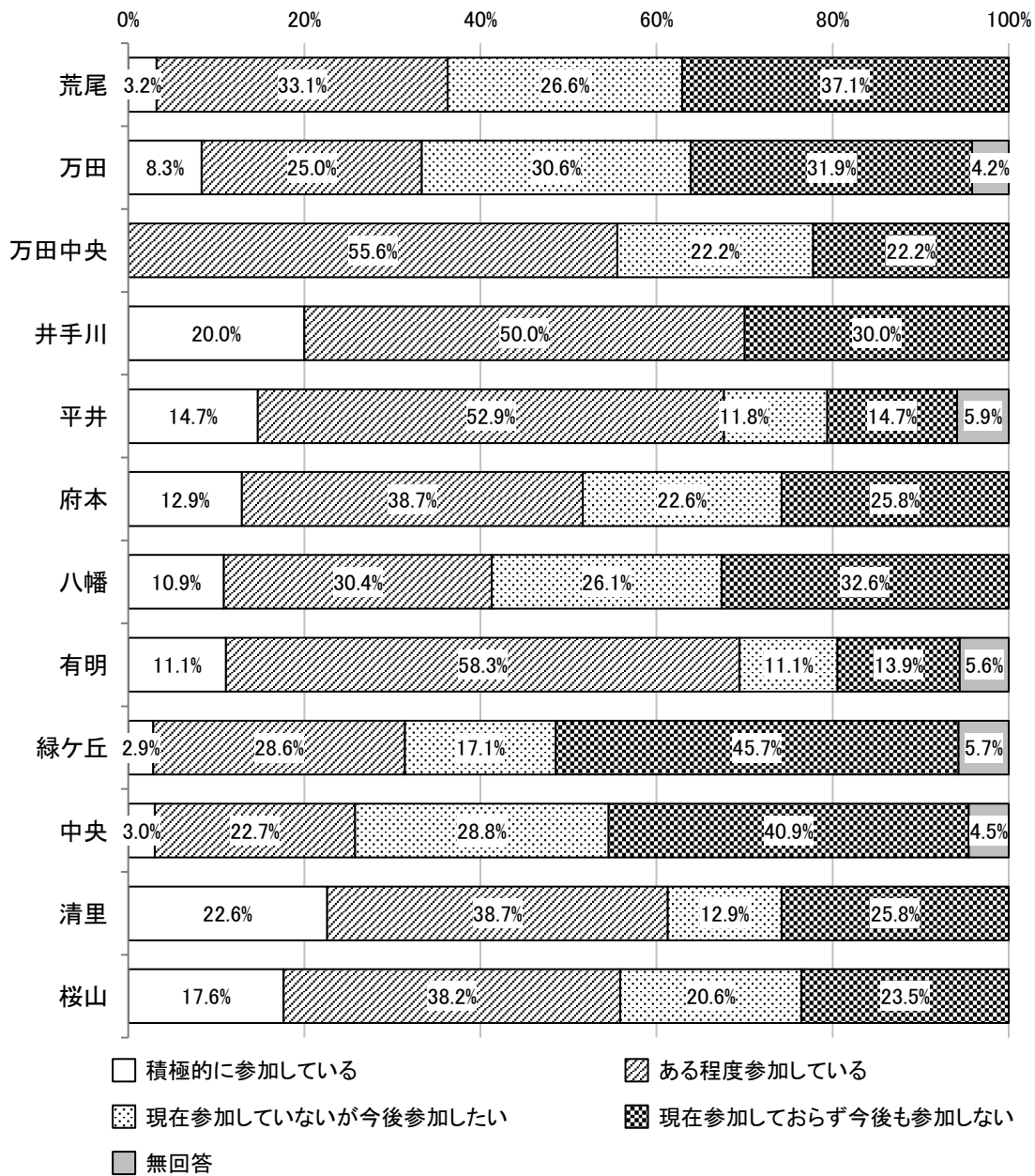
【年代別】



地域活動への参加状況を年代別にみると、年齢が高くなるにつれ『参加』層の割合が増える傾向にあり、70代以上(55.0%)では5割を超えている。

一方、30代以下の若年層においては「現在参加しておらず今後もしない」の割合が約5割と選択肢の中で最も高くなっている。地域でも高齢化や担い手不足は、課題として挙がっているが、地域活動を継続していくための新しい仕組みづくりや人材の発掘・育成が必要だと考える。

【12地区別】

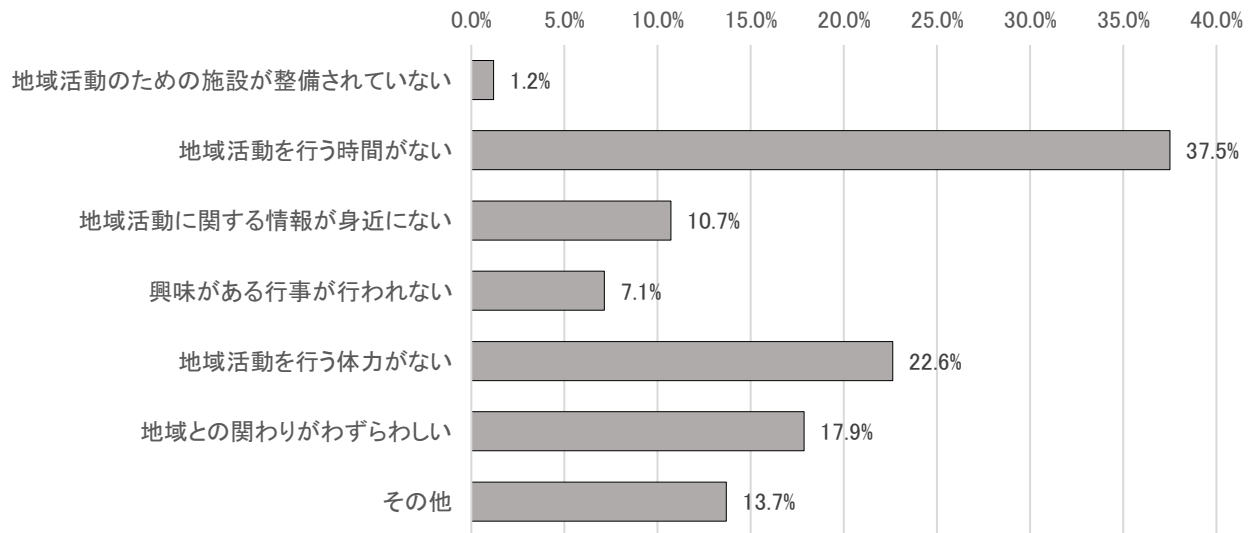


地区別にみると、『参加』層では「井手川地区」「有明地区」で7割と高くなっている一方、「中央地区」では3割を切っており、他の地区と比べて低くなっている。

また、「緑ヶ丘地区」「中央地区」では「現在参加しておらず今後も参加しない」の割合が4割と他の地区に比べて高くなっており、地域によって参加不参加の差が大きいことも課題である。

問27-2 (問27-1で「4. 現在参加しておらず今後も参加しない」と回答した方)
その理由はなぜですか。【いくつでも】

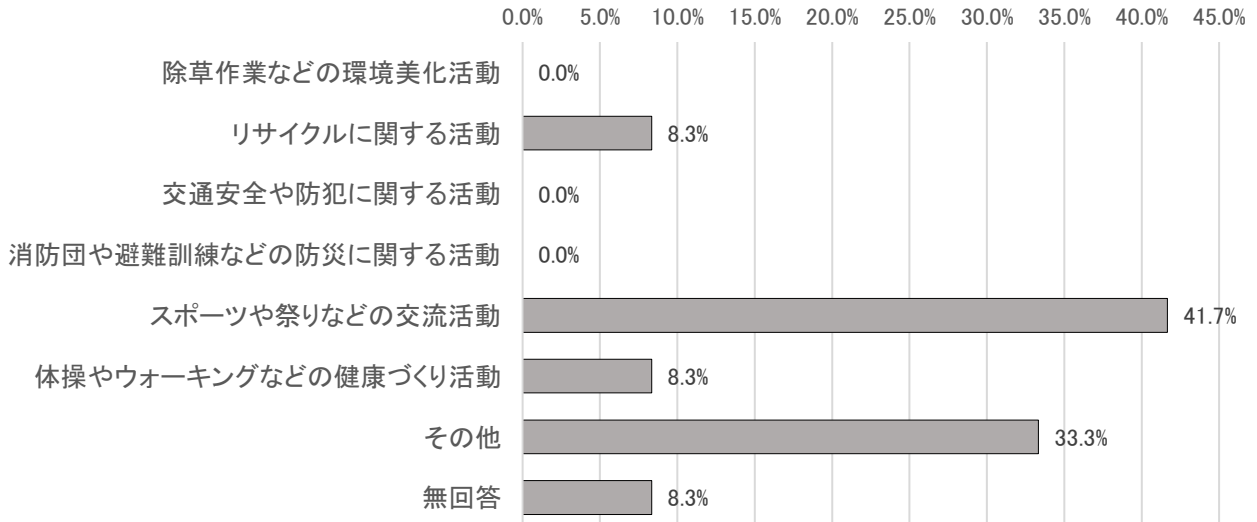
【地域活動に参加しない理由】



地域活動に参加しない理由は、「地域活動を行う時間がない」(37.5%)が最も高く、次いで「地域活動を行う体力がない」(22.6%)、「地域との関わりがわずらわしい」(17.9%)となっていることから、共働き世帯の増加により、日常生活に時間的余裕がなくなっていることや高齢化に伴い活動する体力がなくなっていることが背景にあると考えられる。

問27-3 (問24-2で「4. 興味がある行事が行われたい」と回答した方)
どのような行事であれば参加できそうですか。【主なもの1つ】

【興味がある行事】



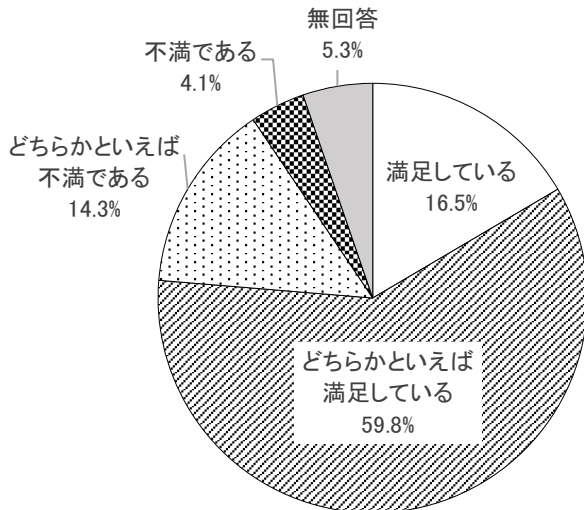
興味がある行事が行われたいと回答した方が参加できそうな行事として、「スポーツや祭りなどの交流活動」(41.7%)が最も高く、次いで「その他」(33.3%)、「リサイクルに関する活動」「体操やウォーキングなどの健康づくり活動」「無回答」(ともに8.3%)となっている。地域コミュニティの維持に必要な行事に参加したいと思う人は少ないことが分かる。一方で、ニーズのある交流活動や健康づくり活動については求められていると言えるため、幅広い年代を対象とした気軽に参加できる行事を行う等が必要と考えられる。

6. 荒尾市の住みやすさについて

(1) 荒尾市の住みやすさ

問28 あなたは、荒尾市での暮らしについてどのように思いますか。

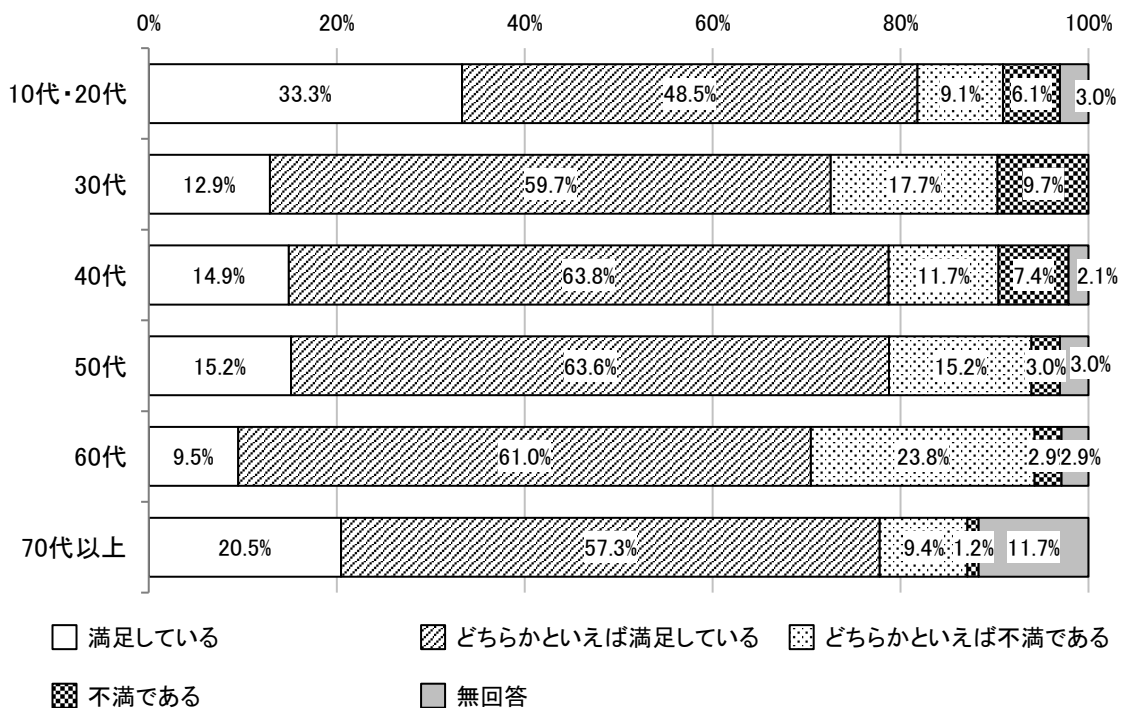
【暮らしに関する満足度】



荒尾市での暮らしの満足度は、「どちらかといえば満足している」(59.8%)が最も高く、次いで「満足している」(16.5%)、「どちらかといえば不満である」(14.3%)となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層は76.3%であり、前回(77.0%)と同様の結果であった。

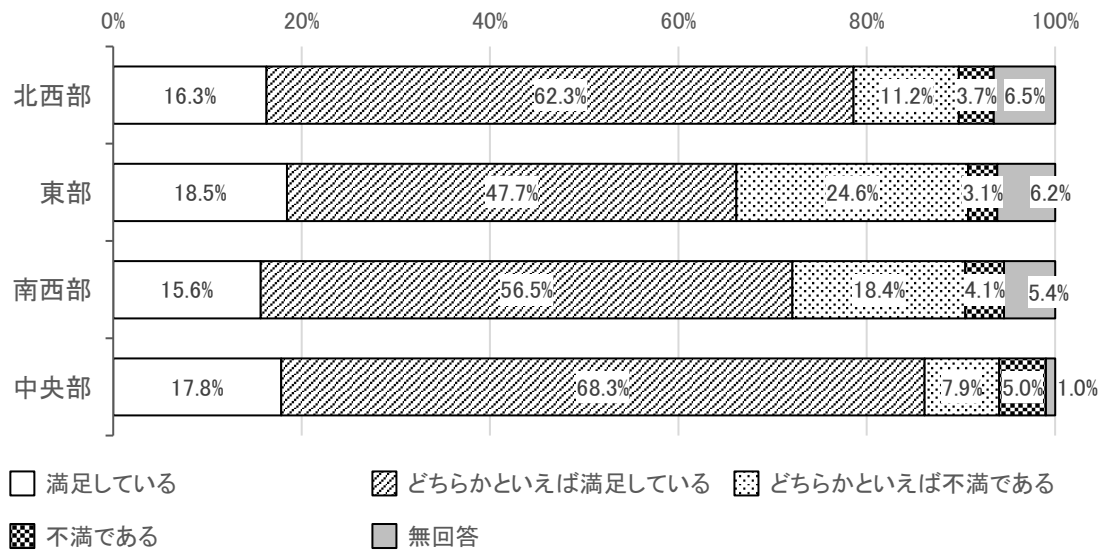
【年代別】



荒尾市での暮らしの満足度を年代別にみると、どの年代も「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』層が7割を超えており、市民の満足度が高いことが分かる。

一方、30代、50代～60代では「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた『不満足』層が2割前後となっており、他の年代よりやや高くなっている。

【居住地区別】

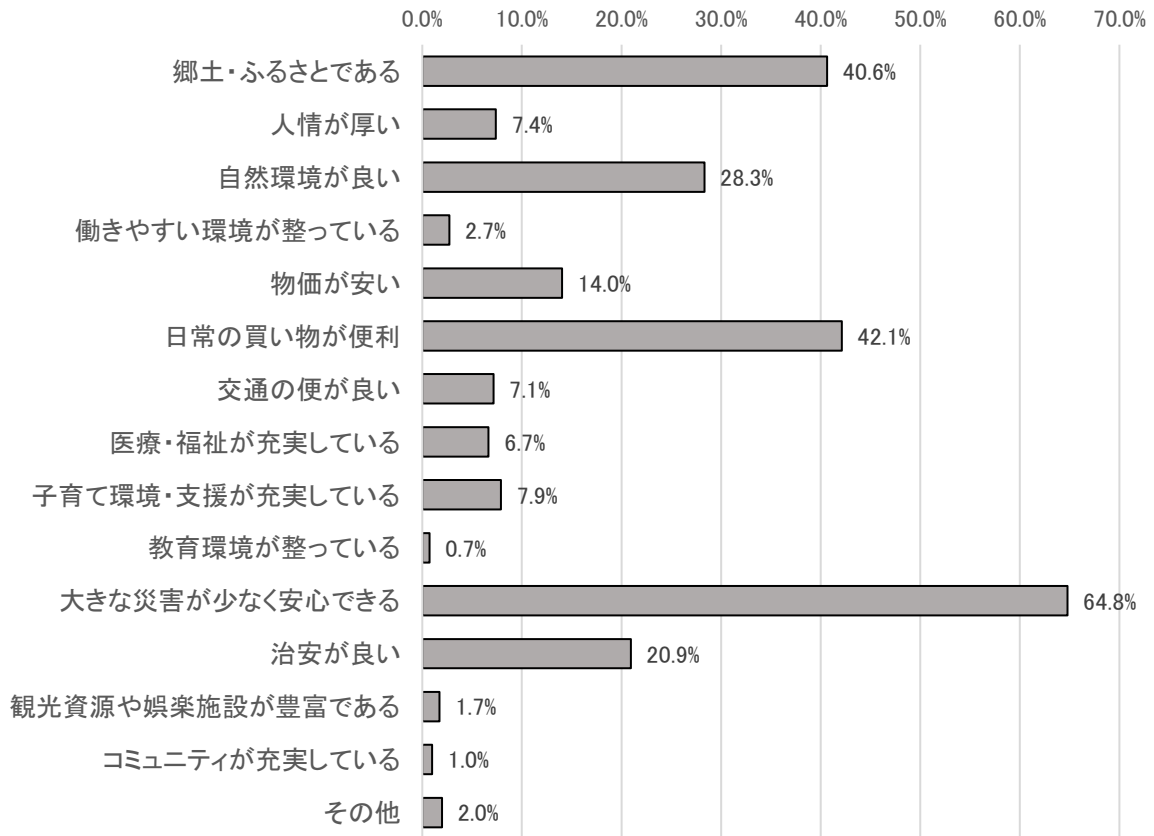


【居住地区】 **北西部** 荒尾・万田・万田中央・井手川 **東部** 平井・府本
南西部 八幡・有明・清里・桜山 **中央部** 緑ヶ丘・中央

荒尾市での暮らしの満足度を居住地区別にみると、『満足』層は中央部が86.1%で最も高く、『不満』層は東部が27.7%となっており、他の地区より高くなっている。

(問28で「1. 満足している」「2. どちらかといえば満足している」と回答した方)
その理由はなぜですか。【あてはまるもの3つまで】

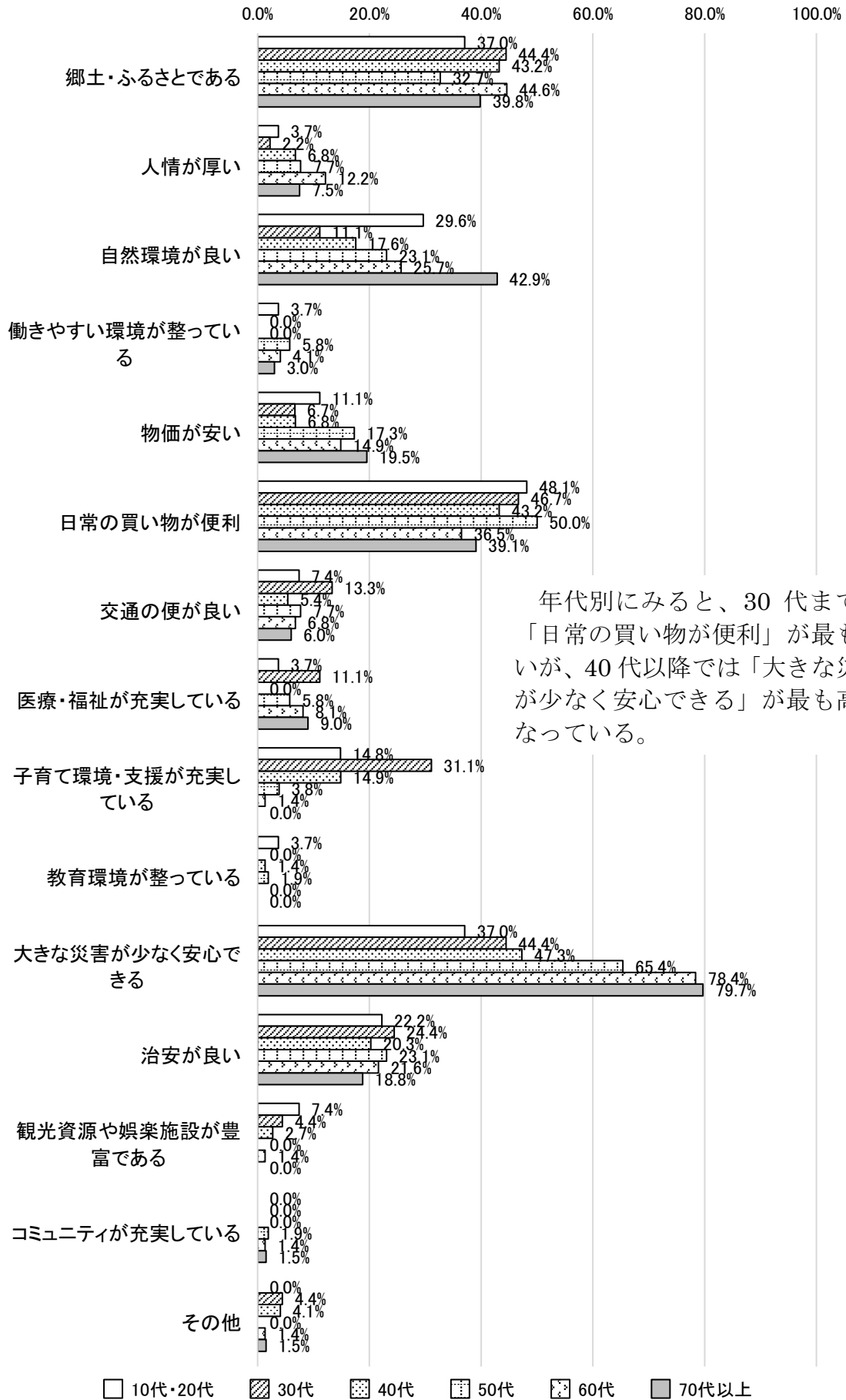
【暮らしに満足している理由】



荒尾市での暮らしに満足している理由は、「大きな災害が少なく安心できる」(64.8%)が最も高く、次いで「日常の買い物が便利」(42.1%)、「郷土・ふるさとである」(40.6%)となっている。

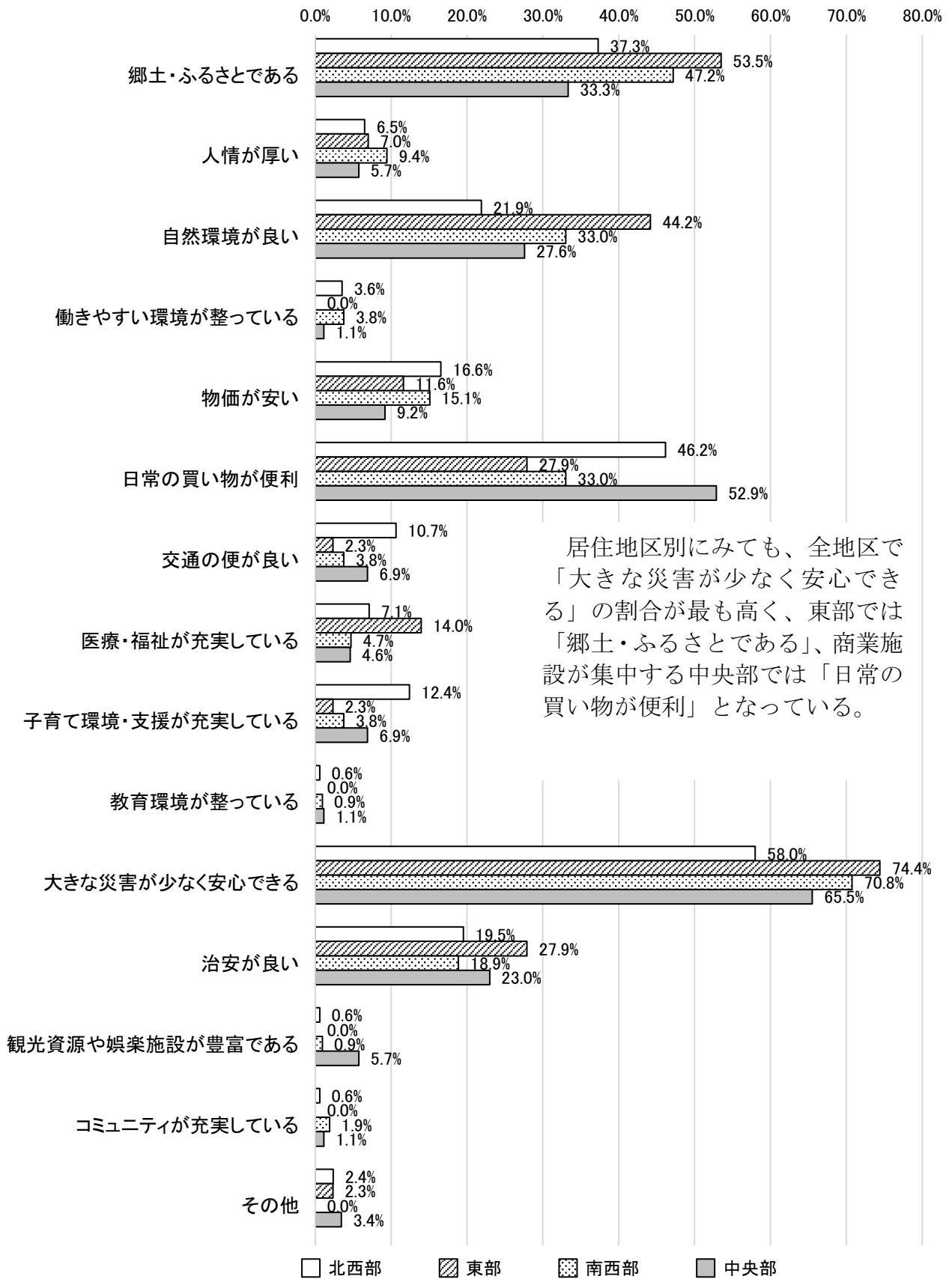
これらの項目は例年上位となっており、本市の強みとして、移住・定住の取組みへとつなげていく必要がある。

【年代別】



年代別にみると、30代までは「日常の買い物が便利」が最も高いが、40代以降では「大きな災害が少なく安心できる」が最も高くなっている。

【居住地区別】



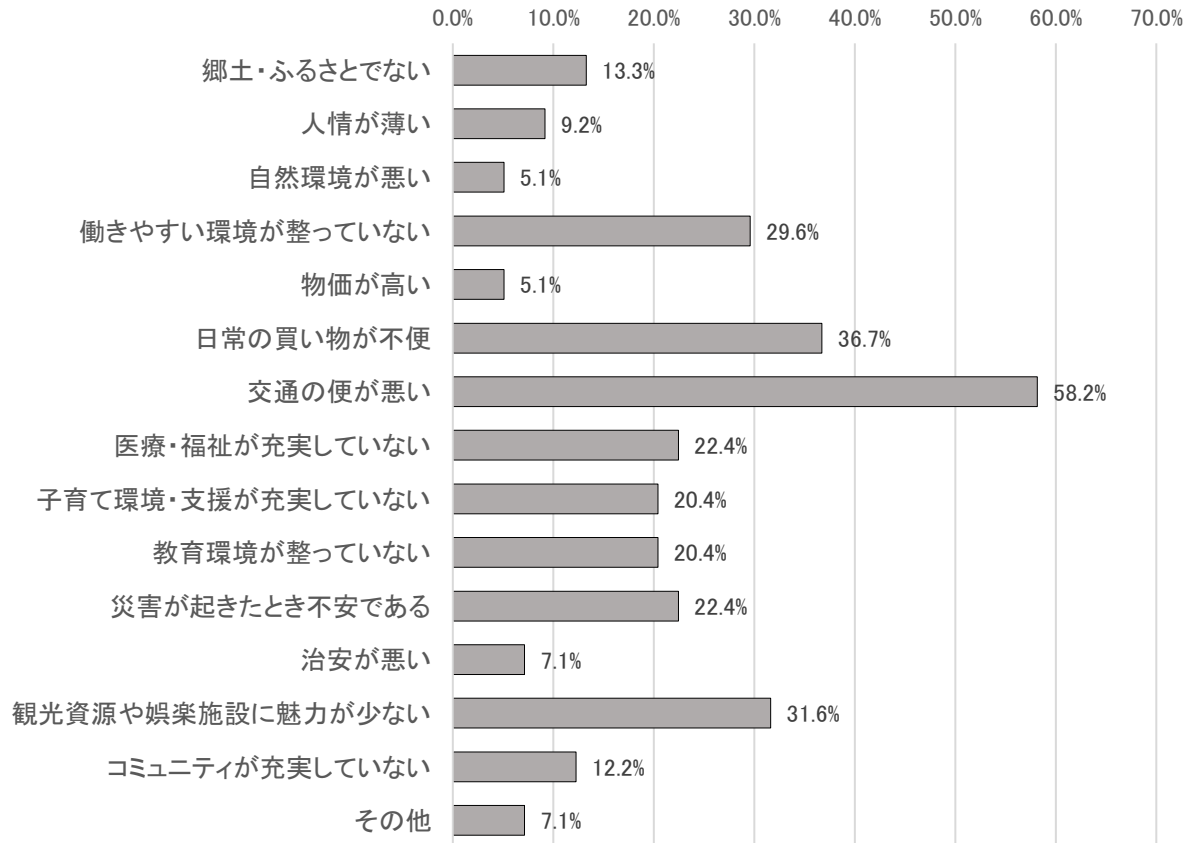
居住地区別にみても、全地区で「大きな災害が少なく安心できる」の割合が最も高く、東部では「郷土・ふるさとである」、商業施設が集中する中央部では「日常の買い物が便利」となっている。

【居住地区】

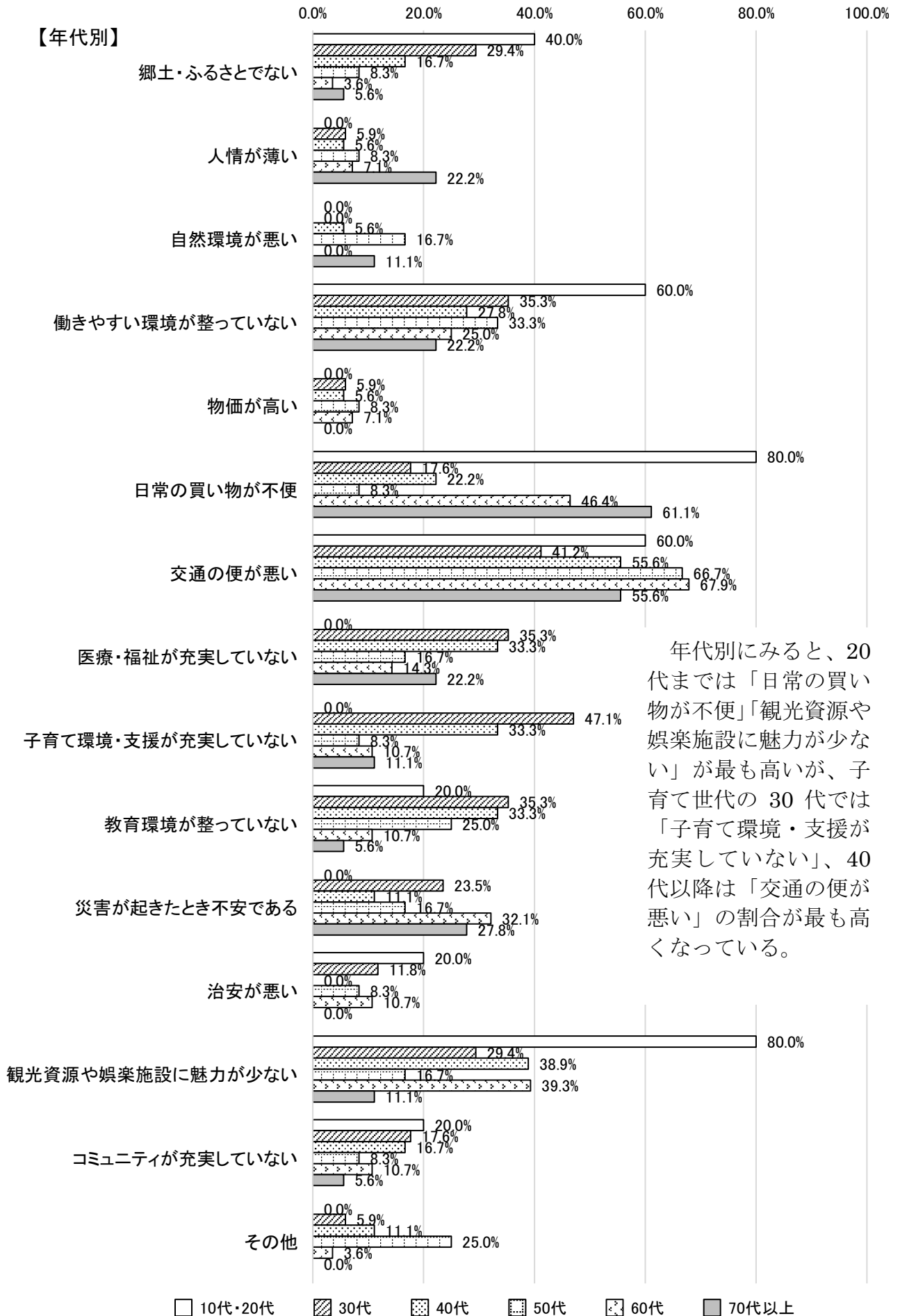
北西部	荒尾・万田・万田中央・井手川	東部	平井・府本
南西部	八幡・有明・清里・桜山	中央部	緑ヶ丘・中央

(問28で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方)
その理由はなぜですか。【あてはまるもの3つまで】

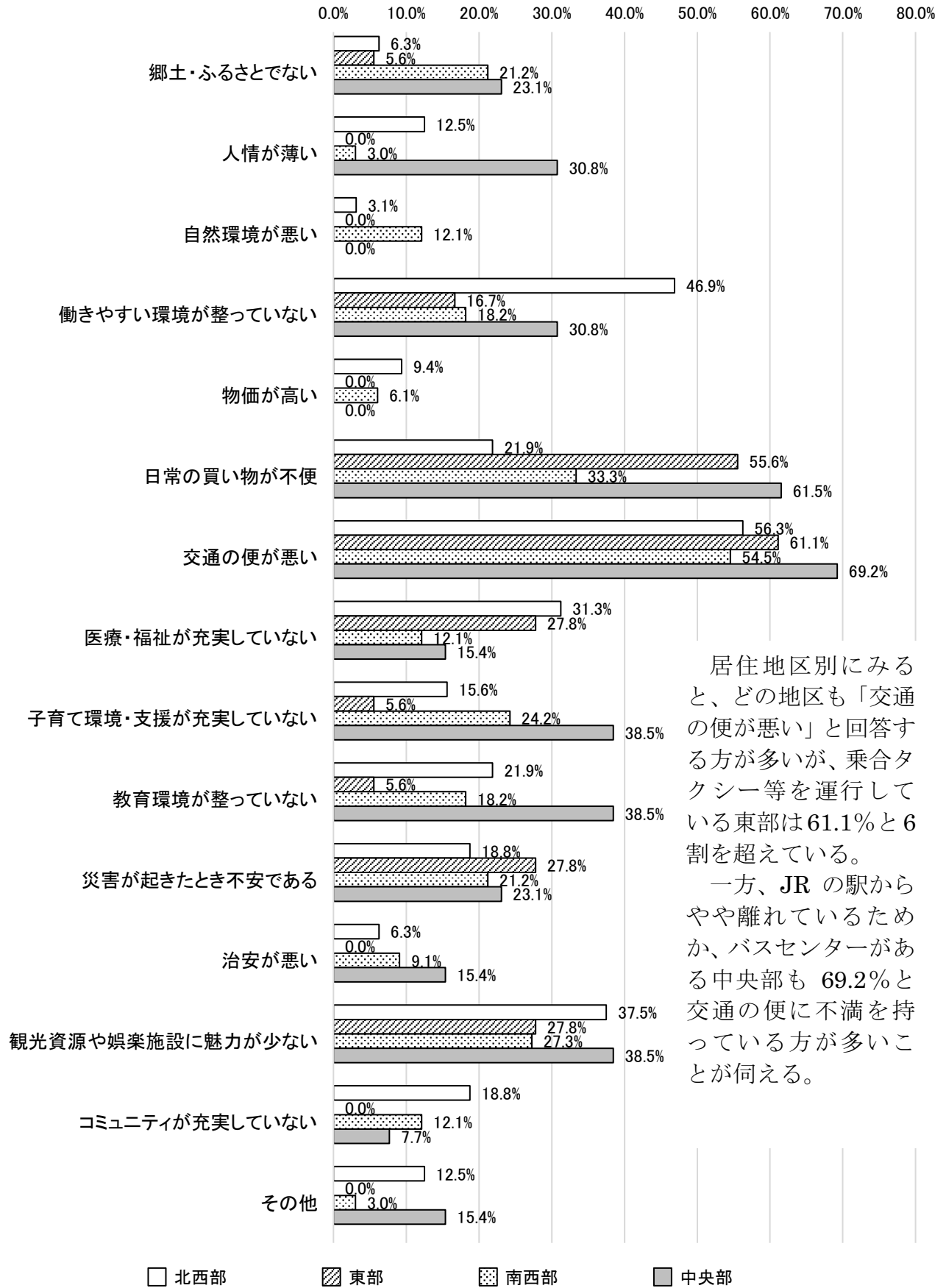
【暮らしに不満である理由】



荒尾市での暮らしに満足していない理由は、「交通の便が悪い」(58.2%)が最も高く、次いで「日常の買い物が不便」(36.7%)、「観光資源や娯楽施設に魅力が少ない」(31.6%)となっている。



年代別にみると、20代までは「日常の買い物が不便」「観光資源や娯楽施設に魅力が少ない」が最も高いが、子育て世代の30代では「子育て環境・支援が充実していない」、40代以降は「交通の便が悪い」の割合が最も高くなっている。



居住地区別にみると、どの地区も「交通の便が悪い」と回答する方が多いが、乗合タクシー等を運行している東部は61.1%と6割を超えている。

一方、JRの駅からやや離れているためか、バスセンターがある中央部も69.2%と交通の便に不満を持っていることが多いことが伺える。

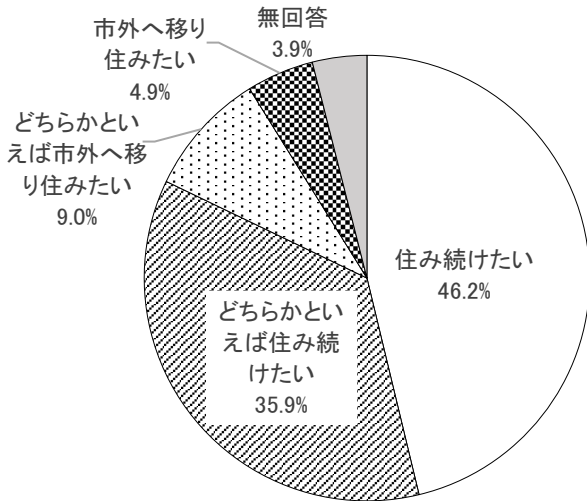
【居住地区】

北西部	荒尾・万田・万田中央・井手川	東部	平井・府本
南西部	八幡・有明・清里・桜山	中央部	緑ヶ丘・中央

(2) 荒尾市への定住意向

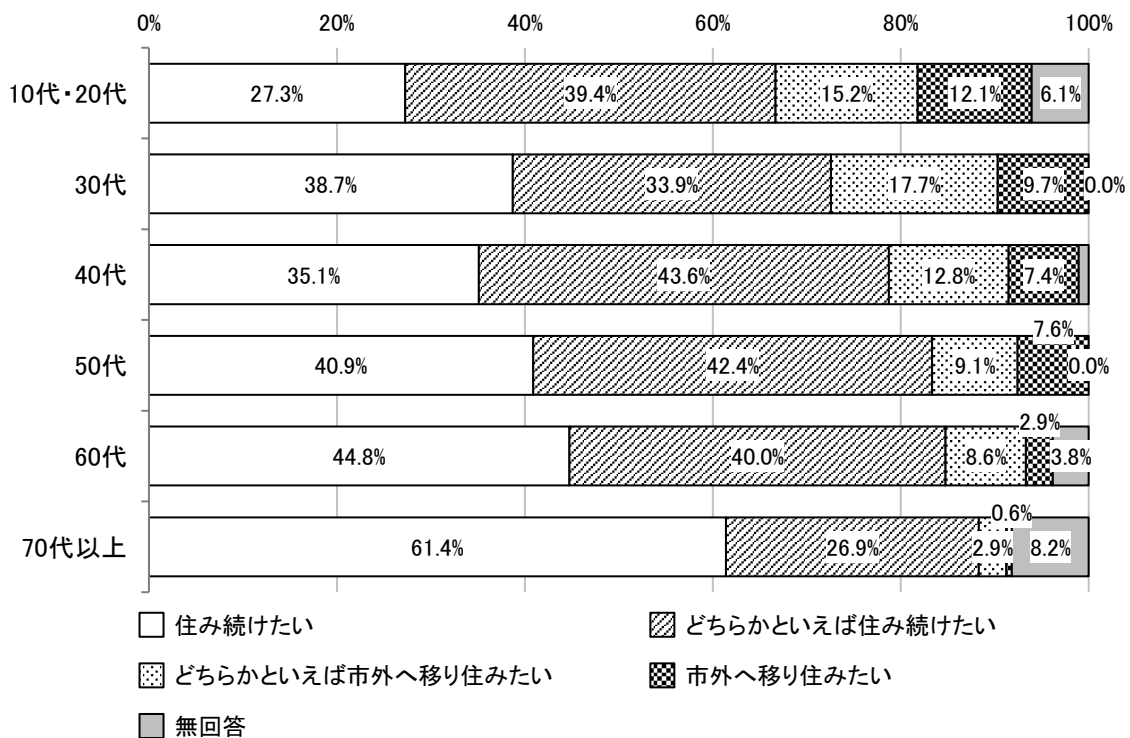
問29-1 あなたは、これからも荒尾市に住み続けたいと思いますか。

【定住意向】



荒尾市への定住意向は、「住み続けたい」(46.2%)が最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(35.9%)となっており、これらを合わせた『定住意向がある』層は82.1%と、前回(83.1%)と同様8割を超えている。

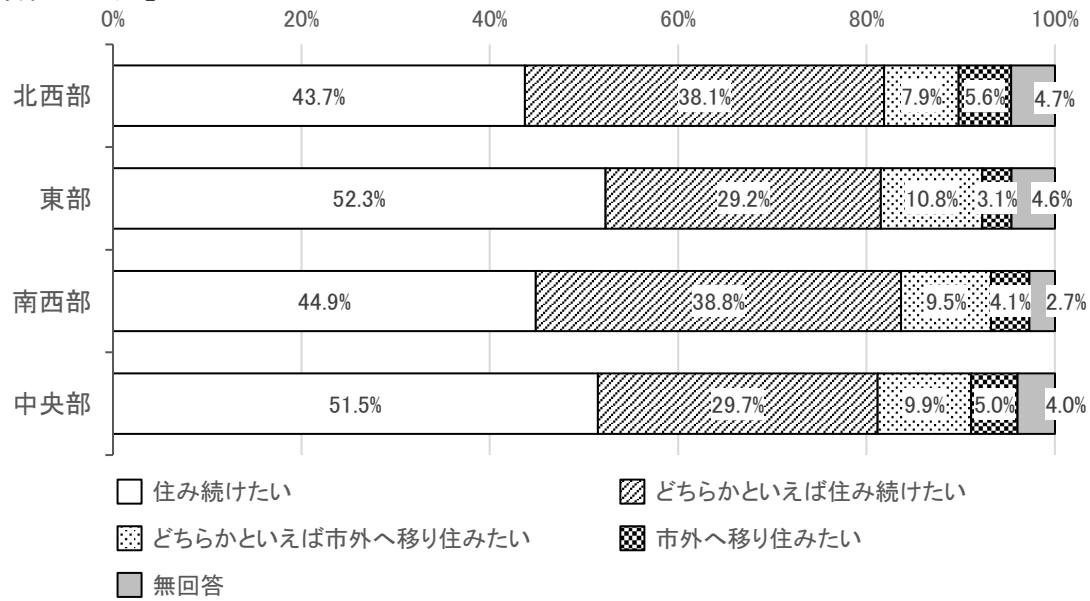
【年代別】



年代別にみると、高齢になるほど定住意向が高くなる傾向にあり、50代以上では8割を超えている。

30代までは定住意向が低く、「どちらかといえば市外へ移り住みたい」と「市外へ移り住みたい」を合わせた『定住意向がない』層の割合が3割弱と他の年代より高い。

【居住地区別】

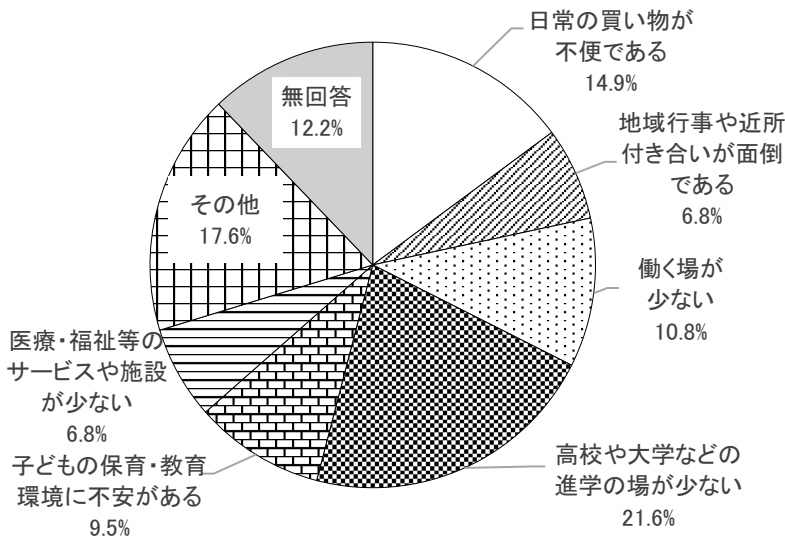


【居住地区】 **北西部** 荒尾・万田・万田中央・井手川 **東部** 平井・府本
南西部 八幡・有明・清里・桜山 **中央部** 緑ヶ丘・中央

居住地区別にみると、前回までは南西部は「住み続けたい」の割合が他地区よりやや高くなっていたが、今回は全地区で『定住意向がある』層が8割を超えている。ただし、全地区で「住み続けたい」の回答率が前回より若干低くなっている。

問29-2 (問26-1で「3. どちらかといえば市外へ移り住みたい」「4. 市外へ移り住みたい」と回答した方) その理由は何ですか。【主なもの1つ】

【市外に移り住みたい理由】

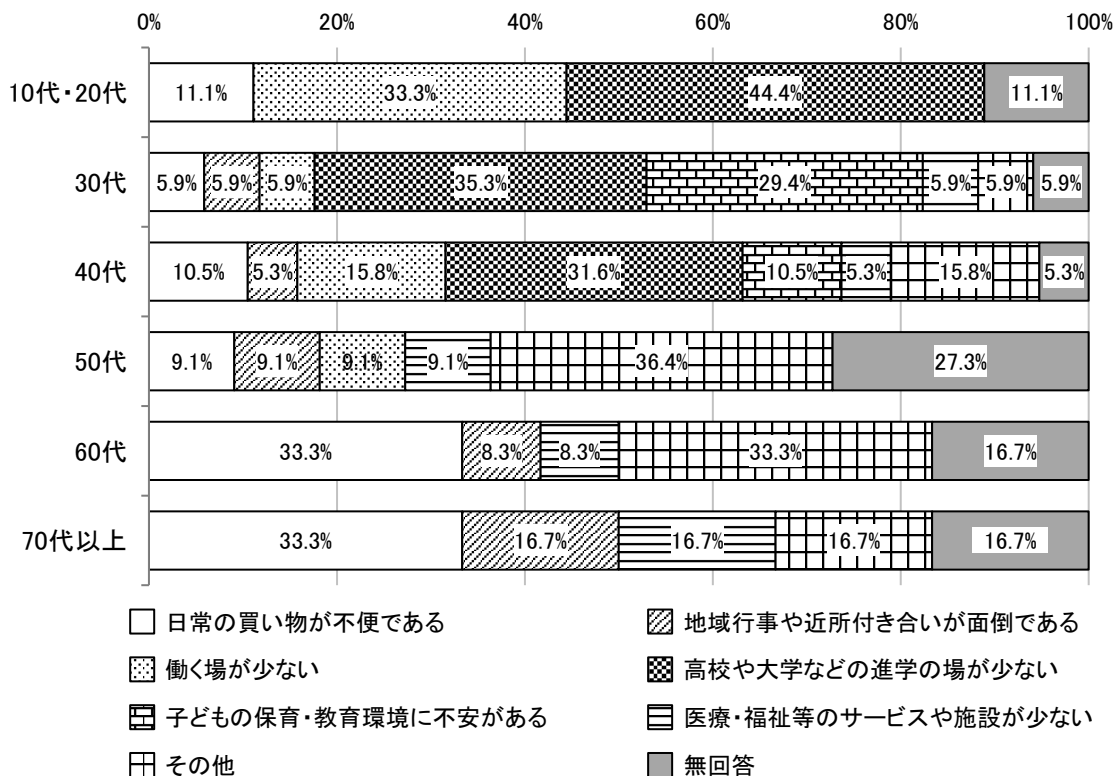


市外へ移り住みたい理由は「高校や大学などの進学場が少ない」(21.6%)が最も高い。

次いで「その他」(17.6%)、「日常の買い物が不便である」(14.9%)「働く場が少ない」(10.8%)となっている。

「雇用環境」や「生活環境」の不便さについては、暮らしにくい理由でも上位にあげられている。

【年代別】



年代別にみると、10代・20代から40代は「高校や大学などの進学場が少ない」の割合が比較的高くなっている。このことから、若年層については、雇用や教育の受け皿に不満があることが伺えるため、就職・進学を理由とした転出が懸念される。

7. 自由意見

問30 最後に、荒尾市の今後のまちづくりなどについて、ご意見・ご要望がありましたら、テーマと内容をお書きください。

合計 228 件のご意見をいただいた。以下に、主な意見を分野ごとに整理する。

【保健・医療・福祉分野】

- 荒尾市で今後一人暮らしの高齢者が増えていくと思われ、地域で一人暮らしの高齢者を再度調査し隣組や班長及び地域行政員等で一人暮らしの家庭に TEL や家庭訪問を実施し、地域のコミュニケーションを図る。この活動が荒尾市のどこまで浸透していて、浸透していない地域をなくしたいと意見しました。
- 田舎の方に住んでいるので免許返納したら買い物、病院などとても不便になるので返納をためらっています。
- 今もいろいろサービスはあるとは思いますが、車の運転ができなくなった時、身体が不自由になった時の福祉サービスを充実してほしい。
- 医療職の給与アップ：後期高齢社会となり、業務内、業務外で仕事内容が増える中、仕事の質量、給料給付金額がアンバランスで生活が苦しい状況が続いています。給付金額が増加することによって心にも余裕ができ、ワークライフバランスが保て、仕事もプライベートも充実し、心身ストレスの軽減につながると考えています。仕事の生産性も上がり、より質の高い医療提供を8時間の勤務の中で提供でき、地域の人々に貢献できるため、ぜひ給与金額アップをよろしくお願い致します。
- 子どもが休日に病気や怪我をした際に有明医療センターでは必ず 7000 円程実費で出すことが出来ずに困っている。お隣の福岡県(大牟田) まで足を運んだりすることが大変である。障がいがある人となない人の区別をつけずにもっともっと理解のある町づくりを目指してほしい。障がい者でも生き活きと生活できる環境づくりを進めてもらいたいです。
- 市民病院の駐車場がわかりにくいし、狭い。
- 集団検診や定期的に献血車両があることはいいと思う。
- 難病には「わかりにくい」難病もある。多数の難病がありほとんど知られていない。立てるから病気ではないは間違い。
- 年金等が少ない低所得者、特に一人暮らしの高齢者に対して行政（国）だけに任せるのは無理だと思いますので、思いやりを持った市の対策で高齢者にも安心できる生活を考えてほしいと思います。
- 医療機関を増やしてほしい。
- 一人暮らしの方や障がいのある方等台風や災害の時等安心して暮らせる幸せな荒尾市でありますように願います。コミュニティバスを走らせてもらおうとありがたいです。お世話様になります。よろしくお願い申し上げます。
- まちづくりとは関係ないと思いますが、がん患者様向けのアピアランスケアの補助を行っていただきたいです。わたしは大牟田市の医療機関に勤めています。大牟田市はアピアランスケアの補助金があるため、大牟田在住の患者さんには案内できるのですが、荒尾市の患者さんには手助けできない状態です。副作用の脱毛を懸念して治療を拒まれる方もいらっしゃいます。ご検討をお願いします。
- 障がいをもたれている方が意思表示やスケジュール管理をしやすくするグッズを日常

的に使えるように支援してほしい！

- 生きやすい環境、ボランティア精神の街：孤独老人、育児放棄、虐待。これからも増え続ける可能性があります。その方達を救えるような子ども食堂や駆け込み寺のような施設があれば救える人達がいるんじゃないでしょうか？

【産業・観光分野】

- 荒尾市にはグリーンランドという大型テーマパークがあるのにその周りには何も目を引く施設がない。せっかく地方から来てくださるのにもったいない。コストコなど集客をもっとよぶ施設の誘致に力を入れてもらいたい。土地はたくさんあるのに。。。道の駅??必要??雇用なども増えるのに、、、
- 荒尾市はほとんどが丘陵地をなしており、住宅地となって静かな住環境、グリーンランドや万田坑跡などは人が多く訪れ、親しみやすい所ですが、小岱山、岩本橋、荒尾干潟などはさらに素晴らしい名所ですね。その観光資源が今一つ活かされていないようです。特に蔵光海岸などは「夕陽が望める」カフェレストラン等の人が集まりやすい複数のオシャレな飲食店が出来てほしいものです。
- 荒尾周辺の玉名、岱明、和水にも公共の温泉施設がありますが、その中でも荒尾は60才以上の市民のみ、またその設備の古さ、場所もわかりにくく、足を持たない高齢者には行く手立ても不便。旧競馬場跡地に新しい温泉施設ができればいいと思います。荒尾市民は少し安い料金にしてサウナもあれば海に沈む夕陽を眺めながら外気浴もできる場所だし、玉東町のように循環バスが市内、潮湯と走ってくれたら、かなりの方々が利用すると思います。
- いのしシアナグマなどが田畑、ミカン畑を荒らして困っています。退治してください。荒れ果てた旧田んぼを見ると胸が痛みます。府本には4つのため池もあり、米作りにいる水もあります。漁業の活性化もお願いします。食の自給自足が一番大切だと思っています。(一万円札を食べてもお腹は満足しません。でしょう?)
- 飲食店が少ない、大衆居酒屋など。
- 会社を多く誘致すること：自分の周りは空き家が増えてきた。仕事がないから子ども達が出て行く。働く場所があれば、移住者も増える。
- 高齢化する米農家について、荒尾市でも継承する担い手の確保は大切だと思っています。担い手候補が負担なく、継承しやすい補助などを充実させる必要があると思います。
- 娯楽が少ない、商業施設や整った公園がほしい。
- スーパーが多い。
- 世界遺産と言って万田坑宣伝しているが、なぜ盆踊りとして市民炭坑節をしないのか？有形無形それぞれの文化財を保存したら？
- 動物カフェ（ドッグ）いつでもいろいろな動物とふれあえる場所の設置。
- バラ園は関わっていらっしゃる方々のおかげで年々立派な公園になってきたと思う。道の駅も近くにできるので多くの人に知ってもらって市内外からも見物客がたくさん来てもらうといいと思う。カントリーパークや水俣のバラ祭りのようにマルシェやキッチンカーなどを入れてイベントを開くのも良いのでは。
- 道の駅：アジアパークの二の舞にならないか？一体なにを売るんだろう荒尾市の特産はみな時期物。
- 道の駅：年間を通して売れるものや休憩施設があるのか？
- 子育て応援求人を増やしてほしい。
- 平井小校区内にローソンがあるだけでお店がないことがとても不便です。車社会とはいえやはりもう少し近くにスーパーや小規模(大規模でもいいです)店舗があれば大変

日々の生活の助けになります。近くに工場も建設中ですし、ぜひ作っていただきたいです。あとローソンの通りに押しボタン式の信号が少ないと思います。朝夕ともスピードを出す車が多いので子どもたちの安全のためにお願いします。

- 働く場：子どもや孫の時代に荒尾市民で良かったと思える町であってほしい。大学を出ても企業が少ない。
- ミスタードーナツやコメダ珈琲店などちょっとしたチェーン店が増えたらいいなあと思います。
- 道の駅などができても一時的な利益しかない。長い目で見るのであれば半導体の会社など大企業が少ないので意味がないと思う。例えば企業を誘致するにあたり、海外でなく、国内の会社を誘致し、雇用を増やし、人口を増やさないと未来はないと思う。熊本県の人間性なのかもしれないが外国人や遠方から来た人に冷たい！！都会（東京、大阪、福岡など）の人はみんな遠方の人達に対し優しいので、その街に移住する。地元の高齢者の意識を変えないと荒尾の未来はないと思う。
- 道の駅などよく行きますが、荒尾にもできると聞いてますがうれしく思いますが参加する農家さんや荒尾の特産品などが揃うのか心配しています。
- もっと企業誘致に力を入れてください。
- 働く場所をもっと多くする：若い人が少なく活気がない。工場等を誘致して活気ある市にしてほしい。
- 若者が荒尾から他県に行かないように従業員の多い会社が荒尾にできるといいなと思います。
- 以前は荒尾駅近くや市役所近くにも自転車屋があり、自転車のパンク等の修理もすぐにやってくれる所が多かったのですが、最近は自転車屋さんも少なくなり、自転車の修理をしてくれる所が少なくなってます。特に荒尾駅や市役所周辺には自転車屋さんがありません。自転車屋というか自転車の修理をしてくれる所を作ってくれないでしょうか。自転車が必要としている者からです。
- 給与水準が都会に比べて低すぎるために若者が結婚に躊躇することがあると思います。将来性のありそうな企業誘致に頑張ってください。
- 思い切ってカジノ街にして周辺にホテル、飲食店等の歓楽街にする。空港からの直通バス有。治安が悪くなりそうなので却下でしょうがね。
- 色々な様々な事情があるのは承知ですが、元荒尾競馬場跡地の商業施設のテナントなどに魅力を全く感じません。リサーチ力が不足していると思います。もっと若い世代や未来を見据えた社会を想像して創っていくことを考えた方が良いと思います。未来を創るのは年寄りではありません。荒尾を離れてほしくない、荒尾市に人を呼び込みたいのなら、もっと来てみたい！遊びに行きたい！住みたい！魅力を発信すべきです。お店のテナントなど、もうちょっと考えた方がいいです。このままだと若者はどんどん都会にでていくと思います。もっと若い世代の意見を取り入れていく方がよいと思います。
- 素人意見で恐縮ですが、世界遺産の炭鉱施設について、近年賑わいが薄まっているように感じます。展示の充実やイベント等行っていることは承知しておりますが、民間だけでなく行政としても、大牟田市と一体となったPR・企画が出来れば、観光・見学の魅力も深まり、相乗効果が生まれるのではないかと考えます。最近流行りのインフルエンサーマーケティングも検討してみても如何でしょうか？万田坑のバリアフリー化も必要と考えます。既に検討されておりましたら失礼しました。
- 大牟田のイオンモールも、似たような立地条件で、お客さんが離れているようですが、荒尾の道の駅は運営大丈夫なんでしょうか。野球やサッカーの試合ができるような設備を作って、『大会は道の駅の所でやろう』って言われるような環境をつくと定期的

に集客が見込めると思います。

- 地域振興券：商工会所属のみでしかし使えないのでは魅力がない。ここまで売れ残り何度も募集する地域は私が知る限りではない。実家のある糸島では、商工会関係なく使える。身内びいきにせず、街の活性化のため加盟店以外も使えるようにするべきだ。
- 道の駅に期待しています。

【子育て・教育分野】

- 荒尾に県立高校がありながらほとんどの人が玉名高校に行っている。近くに高校があるのにわざわざ通り高校に電車で皆通学しています。何とか玉名高校レベルまでもっていけないものでしょうか？高校が活気づけば荒尾ももっと活気づくと思います。まずは教育環境に力を入れないと若い人は集まらないと思います。高校名も荒尾にあるのだから荒尾高校でいいと思います。岱志高校じゃなじみません。
- 教育環境：ICT教育の充実
- 競馬場跡地いろいろプランが出ていますが、取り入れてほしいプランとして子どもたちが楽しく遊べる公園を作ってほしいです。佐賀県の東よか干潟公園に行ったことがあります。海岸の近くでアスレチックや低学年の子まで遊べる噴水付きの浅めのプールなどがあり、親子連れが楽しく遊んでいました。また渡り鳥や夕陽がよく見えるタワーもあり、荒尾市にもこんなのが欲しいなと思いました。道の駅にもつながりよく作ってもらえば、荒尾市にもっと人が集まるのではと思います。
- 子どもが楽しく遊べる公園などが少ないと思います。孫が遊びに来て長洲や大牟田に遊びに行くことが多く、荒尾に楽しく過ごせる公園があるといいと思いますが、これは昔から思っていることでした。
- 子ども食堂：子どもはもちろん老人など皆で集まって食事をしていろいろな話をして勉強になると思う。
- 子どもの遊ぶ大きな公園を作ってほしいです。小さい公園はありますが、長洲、大牟田のような公園がないため、その所にもう少し遊ぶ場所があったらなーと思うようになりました。小さい子から大きい子・・・また水遊びできる箇所も作ってほしいです。
- 市や学校の体育施設、暑い、古い、汚い。トイレは特に臭い。スポーツ用品も古い。コート線も消えて見えない。競馬場跡地の開発より、こちらを先に改善してほしい。競馬場跡地も図書館同様小学生は校区外だと一人で行けない。小学生が一人で活用できる場を各校区内にまず作ってほしい。イベントの時キッチンカーを呼んであることが多くなったがはっきり言って高く買えません。キッチンカー抜きでイベント計画してほしい。防災フェスタはいろんな団体がみえていて子どもが楽しみにしています。中央小はコロナ期に体育関係以外の行事をなくしてしまいました。中央感謝祭を始められましたが6年生以外はカヤの外。他学年の行事、全くしない。校区や地域の行事もなく中央小校区は本当に地域活動がないです。これは横のつながりができません。防犯防災を考えると横のつながり、地域のつながりが大切ですがないです。ふれあいスポーツは同じ時間のものがあり、これもあれもやってみたいと子供が言っても1つしかできません。指導者の都合でしようが、かぶらないようにしていただくと参加者も増えるのではないのでしょうか？医療費控除を大学生まで予防接種助成や無償を拡大。塾や習い事の提供、支援などとにかく子供を成長させるうえで必要な経済面を負担、支援して市で子どもを育ててほしいです。地域の見守りもありません。登校時より下校時の方が危険です。保護者は仕事へ行っているため地域住民で防犯対策してほしいです。公園の整備を行っていただきましたが幼児向きのため大牟田の諏訪公園や長洲の金魚の郷など大型遊具の所へ行っています。荒尾市にもほしいです。道路沿いに花を植えるよりそ

ういうことに目を向けてほしいです。市外の高校の方がレベルが高いので市外の高校へ通学するための交通費や授業料などの支援もほしいです。

- すでに、我が家の子供たちは、年齢が過ぎたけど、子育て中の時、近くに、公園やイベントができる広場があれば、また触れ合う場が増えただろうな、と感じてる。また、荒尾市の企業、農家を体験できる職場体験や工場見学など、子供の未来にむけて、取り組んでいくと若い方々も荒尾の素晴らしさや人情が、伝わるのでは。医療費の補助も拡大された事は、ありがたく思います。
- 他の県はもちろん、隣の玉名市と比べてみても教育環境の格差を感じます。小中学校を通しての子ども達の向上意識の低さ、こんなことでいいのかといつも危惧しております。場所や予算、人手等々難しいとは思いますが、どうかかすべての子ども達が希望をもち、意識を高くもち、これからの生活が向上して行ってほしいと願っています。
- 都会と比べ就職口が少ないこと、賃金が低いこと、交通の利便性が低いこと。これらは仕方ないことだと思います。ですが、子どもたちが”荒尾市で暮らしたい””荒尾市に戻ろう”と思えるまちづくりが重要だと思います。子どもが中心となって活躍できるような取り組みが出来たらと考えます。あと、市内の様々な業種に触れる体験（職場体験とは別に）イベントやeスポーツなどを取り入れた人と繋がるイベントを通し、市の活性化に繋がれたらと思います。安心して年を重ねられる街になることを願います。
- 高校に入学する生徒が欲しい（増加する）。1. スポーツが盛んになる 2. 大学への入学者が増える 3. 人口を増やす工夫をする
- 子どもの遊び場を増やしてほしい。
- 公園を整備して孫たちを遊ばせたい。
- 土日祝日の子育て支援、問20理解はとにかく子どもに障害があるので関心がある。
- 平山、本井手、今の岱洋区を平井小校区に編入して生徒数を増し、活気のある校区にして頂きたいと願っています（学年2クラスになるように）。
- レベルの高い中学校を一つ作ってはどうですか？このままでは優秀な生徒はみんな市外の中学に行き、荒尾市の学校はどんどんレベルが低くなります。
- 各地で動き始めているインクルーシブな学びの場では障害のある無しに関わらず共に学ぶ場が作られ始めている為、荒尾市でも障害のある無しに関わらず共に学べる場がふえていけばいいなと感じます。先進的に進んでいる地域はやはり行政が前のめりで動いていると聞きます。興味を持って考えていただけるといいなと思います。
- 確かにiPad配布は良いと思いますが、iPadでは無くても難なく使えたはずです。お金の使い方を考えて体を動かす方の支援もお願いします。未来ある子どもたちへお金を使ってください。
- 教育環境の充実、障害のある子ども達の教育環境の充実、公園の充実。
- 現在、荒尾市には大きな広場などのある公園が少なく、駐車場がある公園があると、親も連れていきやすいです。グラウンド等はあるが、数人で行う練習する場所などがないように感じます。例えばボールを投げたり、蹴ったりするにしても、壁がある場所などがない。テニスコートも壁打ちで練習する場所がない等。コロナ禍以降、集まる機会が子ども達も減っているので数人でもボールなどの遊びができる、そういう場所があると自主的に運動等もやりやすくなるのではないのでしょうか？
- 荒尾で子育てをしているのですが、我が家は共働きで子どもを保育園に預けているのですが、荒尾市には病児保育が現在1箇所しかなく風邪の時期や胃腸炎が流行っている時期は病児保育がすぐ埋まってしまい子どもを預けられず、急に仕事を休んだり、親や祖父母に無理を言って預けたりしなくてははいけないので、そこがネックになり次の子どもを諦めています。こういった子育て世帯へのサービスをもっと充実させれば荒尾

市の人口も増え、税収も上がり、ひいては高齢者サービスの充実にも繋がると思っていますので、子育て世帯へのサービスの優先順位を上げていただくことを願います！

- 荒尾市での暮らしは買い物等便利で、災害も少ないし満足しています。子育てをしていますが、子育て政策もいろいろとあり今後も期待しています。ですが、保育料は高いと思います。また、地域の小学校でいろいろと問題があるようで、地域の方から話を聞きとても心配しています。子どもが進学するとなるととても不安で今のままであれば地域の小学校に通わせることも悩みます。市としても、調査など何かできることをしてもらえたらと思います。
- 荒尾市は子育て支援が充実しているので、職場が変わっても引っ越さずに荒尾に留まっているが、他の自治体も荒尾市と同レベルまで充実してきているので、荒尾市の魅力がなくなりつつある。子育て世代を荒尾に留めておきたい。子どもを増やして欲しいのであれば突き抜けた子育て支援をぜひお願いします。
- 今年度からの保育園の利用料無料はすごいと思いますが、小学生以上への支援が希薄と感じます。市外の中学校に通いたいのが最寄りがないなど交通機関が不備に思い受験をしない声をよく聞きます。交通機関の整備を行ってほしいです。また市外の中学校、高校に通学する人に対して、通学費用の補助（バス、電車代など）を行ってほしいです。小学生以上になっても住みやすい市にしてほしいです。
- 産後ケアについて：産前産後の仕事しています。産後サポートがないご家族が多々いらっしゃいます。幸せな出産をされたにもかかわらず、退院後は慣れない子育てや夫婦関係の悪化で苦しんでいる方がたくさんいます。行政の助成金で、誰もが自由にサポートを受けられるようになれば、母親にも十分な愛情が注がれ、また子どもを産み育てたいという気持ちになってもらえるのではないかと思います。一人でも多くの母親の産後を大切にしたい思いで仕事を頑張っています。よろしくをお願いします。
- 子どもが県外からでも集まってくるようなキャラクターものの施設を作っていただきたい。また身障者だけでなく子連れでも利用できるような駐車スペースを確保してほしい。駐車スペースが狭くベビーカーへの乗せ降ろしやその間の他の子の安全確保が困難だったりするため日常的な買い物でも億劫だと感じます。
- 子どもの教育環境を更に充実して頂きたい。資金面、設備、人的等あらゆる面で。数年前に図書館がリニューアルされて便利になったと思う。
- 市内には子どもや親子で遊べる所が少ないと思います。特に雨天の時にも利用できる室内で体を動かせる施設が欲しいです。
- 小学校でのタブレット学習について、学校によって使用方法がかなり異なっているようです。使い方の差が情報格差になるのではないかと感じられます。
- 岱志高校は通信制かITに特化した方がよい。高校卒業後の進学先がほしい。特殊な短大専門学校など。
- 賃上げ、小学校の開門を7時にしてほしい。
- 来年から子どもが小学生になります。共働きゆえに学童を利用するつもりですが、世間では小学3年生から学童利用が難しいと話を小耳に挟み不安を感じています。性犯罪などが増えた現代で親不在の家に子どもを1人帰すことや、道中に犯罪に巻き込まれないか心配しています。希望すれば小6まで学童など、安心して仕事を終えお迎えに行けるまで預かってもらえる環境が整っていたらいいのにと感じます。通学路の道中の監視カメラを増やしたり治安の良い街にさせていただいてアピールしていただけると安心してこの町で子育てできるのにと感じます。

【スポーツ・文化・生涯学習分野】

- 荒尾市では独自の夏祭りが無いと思います。以前市民カーニバルがありましたが、統一感がなく、盛り上がり欠けたことも消滅した一因だと思います。夏祭りのように曲と踊りを統一してパレードしたらどうでしょうか。炭坑節をアレンジしてもいいと思います。一般募集かプロ（例えば関島秀樹氏）に依頼すればどうでしょうか。子どもや孫が夏の里帰りを楽しめるような荒尾市独自の行事を希望します。
- 荒尾市の体育館が古くて不安。以前子どもが利用しているとき、ハネアリが飛び回って気持ち悪かった。大会があるときは観客席が使いづらい。お年寄りの利用時は不安がある。
- 荒尾市民体育館の建替え希望。地域体育館の整備。
- 運動公園の整備。陸上競技場をタータン、サッカー場の土手整備、多目的を人口芝。
- 現在プールは夏場しか使えない。健康の上でも一年中使える施設であってほしい。
- サッカー場上の駐車場、入口に公共トイレがあるところ、市民の多くの方が朝夕遊歩道コースで歩いています。その駐車場の入口に穴がボコボコ開いています。ぜひ整備をお願いします。
- 少子高齢化が進む中で体を動かす場所の設備を整えることが大事。道の駅などは時代遅れ。やめてほしい。国体、県体ができるような施設を作った方が荒尾市の利益に繋がる。無駄なお金は使わないでほしい。
- スポーツ施設①体育館の新築。②陸上競技場の応援席（石の椅子）夏は暑くて座れない。冬は冷たくて座れない。③野外音楽堂の必要性。④多目的コートトイレ（今はわからないけど）洋式がない。年を取って応援に行ったときサッカー場のところまで行った。⑤子どもの将来のためにももう少し競技施設を見直して子どもが安心してスポーツのできるようにしてほしい。
- スポーツにももう少し補助金がほしい。
- 体育館の建替えを行ってほしい。健康づくりにも重要な施設であり、利用者も多い。隣の大牟田市を見ても新しくなっている。大会中に雨漏りなど、外部に向けても恥ずかしい。早急の対応を求める。
- 博物館－むかしから現代までの荒尾の歴史を人々にわかるようにしてみんなが楽しく見学できる施設を作り、みんなが心豊かになるようにする。水族館－有明海の歴史、現在まで、みんなが楽しめる施設を作り、みんなが楽しめるようにする。その他の施設館－みんなが楽しく、心豊かになる施設を作り、荒尾市を盛り上げるようにする。
- ラグビーワールドカップの流さん、荒尾高校の花園出場、オリンピックの宮浦さん、数本の旗のぼりで少ない。シティモール、市役所、公共施設に目立つようにしてほしい。
- 陸上競技場や市民プールまで乗せていくバスを作る（もちろん帰りも）。土日は引率がない。大会等で士気が下がる。保護者役員に負担大。先生にきちんと残業代。超過勤務代として土日や放課後部活の代金を払う。きちんと指導ができる先生をつける。未経験者がついてもないのと同じ。荒尾の環境では、上を目指せない。実力者はたくさんいるのに。ふれあいなどのボランティアではなく、ちゃんと職業として成り立つように賃金を払う。荒尾に中学生の陸上教室を作ってほしい（玉名と大牟田にしかない）。早急に来年度から取り組んでほしい。
- 若者が集える娯楽施設（ラウンドワンやスタバ）、スポーツが楽しめるような場所が増えるといいなと感じます。高齢者が多いからか、わりと高齢者向けの発信は多いと思うので、子供向けの情報や施設、設備もよろしく願いいたします。
- 過去にいろいろな遊び場、カラオケ、囲碁等楽しむ場所があった。現在古い建物で風呂

- だけはあがるが、新しいスマートタウンに道の駅など他に大きな店舗等たくさんある中、どうかと思うが、この場所に以前の潮湯みたいな高齢者がくつろぐ場所が欲しい。
- 文化センターにいろいろな催し物がきてほしい。音楽。演劇等々ウィーン少年合唱団は大変良かったです。
 - もう少し、全世代が利用できるスポーツ施設と、フットサルコートがあれば嬉しく思います！
 - 私は卓球の練習で週 2 回昼間に体育館を利用しています。市外の方も含めて毎日のように午前中からたくさんの方が利用されているようです。でも夏は暑くてたまりません（先日の温度計は 40 度でした）。一日で何回も（汗のため）着替えをされている方も多いです。そして卓球台も驚くほど古いです。雨漏りもしてますよね。これでは災害時の避難所としても使えないと思います。チマチマ修理、改修を重ねるよりも、昭和 40 年と築年数も古いのでぜひ建替えをお願いします。運動公園一带はいろいろな施設が集まっていて、春には綺麗な桜が咲くし、文化センターやグリーンランドもあり、市内ではとても好きな場所であり、市外、県外の人にも誇れる場所です。だからこそ念願だった新市民病院が完成した次は新体育館の建設こそが急務だと考えます。体育館が新しくなれば、行ってみたいと思う人も増えるだろうし、ひいては市民の健康増進に役立つと思います。
 - 過疎化対策や人口減少対策として起爆剤となるものに再開発計画がありますが、他の地域にはないものづくりが必要かと感じます。ここ数年で注目を浴びているアーバンスポーツはその 1 つではないでしょうか。アーバンスポーツができる充実した施設を作ることによって、人の流れがおき地域活性化に波及すると思われれます。
 - 荒尾にはゲームセンターやボウリング場はあるけどカラオケ出来る場所が少ないと感じています。まねきねこ や BanBan などの大きな所は大牟田まで行かないと無いのでラウンドワンが荒尾に出来て欲しいです。スポッチャのあるラウンドワンなら楽しく運動も出来るのではないかなと思います。
 - 荒尾の市民プール：流れるプールもなく子どもだけがすべる滑り台みたいな物、日に焼けて素足では回れない。久留米の市民プールは流れるプールなどがあり行くのが楽しみです。荒尾も今後のまちづくりに市営プールの事を考え欲しい。道の駅が出来て、夏は荒尾の市営プールの流れるプールで遊ぶ最高じゃないですか。福岡のサンシャインプールは遠いけど又行きたいと思う魅力が沢山ですよ。他の県を参考にされたらいかがですか。
 - 荒尾運動公園のサッカー場の環境が悪い。水捌けがとても悪い。サッカーの試合の為、フルコートで 1 面とろうとすると、ゴールのすぐ裏に壁が来る事になる。息子は昨年のゴールデンウィークに試合中に相手に押されて壁に激突し、膝を打撲した。照明も足りていない。
 - 市の体育館、グラウンドなどの施設が古く利用しづらい。綺麗になれば、スポーツ人口も増えると思う。気持ちよくスポーツできる施設を希望します。広くて観覧席も快適な体育館、人工芝のグラウンド等を希望します！
 - 市内にはサッカー場がありますが雨の日は池が出来るとの水溜まりになります。排水もですが、子どもたちがボールを使って安全に遊べるような人工芝や天然芝のコートが欲しいです。少子化が叫ばれる中、子育てしやすい子育てしたいと思えるような荒尾市のスポーツ施設の整備をお願いします。スポーツをしに他県や他市に行かなければならないような施設ではこのままだと廃れていく一方です。
 - 市民体育館や市民プール等、建物が古すぎます。避難所指定されている建物には冷暖房を設置するべきです。

- 市民体育館を建て替えてほしい。見学する所、座る所が少なすぎます。使用物品を新しくしてほしい。
- 市民体育館を建て直してほしい。
- 市民体育館を利用しますが、雨漏りがひどく、またエアコン設備がないため、夏期は熱中症の懸念もあるので、早めに建替えなどの対応をお願いします。
- 新しく図書館が移転されとても便利になりました。よく利用させていただいております。土日はやはり人が多く席がなかなか確保できません。夏休み、冬休みはみんなの部屋を学習室として開放していますが、土日の1番人の多い時間帯だけでも開放も検討していただきたいです。またその他の空いている場所（デジタルライブラリーなど）の場所も人を分散させるために活用していただきたいです。
- 世代間交流機会をより広げて行く為に、現在、荒尾市立図書館で行われている「映画鑑賞等」の催し物の機会を増やして頂ければ、有難いです。

【交通安全・防災・防犯分野】

- グリーンランドの花火大会などだいたい暴走族風の者が来て爆音を鳴らす。子供や女性が怖がって荒尾がど田舎扱いされ出て行きそう。ポイ捨て雑草も多い。駅のトイレの電気が消えてる。
- 子ども達がいつも利用している南荒尾駅ですが、夜は暗いし車の通りが多く、いつか事故が起きないかヒヤヒヤしています。荒尾駅もそうですがもう少し駅周辺が栄えるといいなと願います。
- これは市の問題だけではなく、自然災害についての備えが十分に伝わっていないような気がします。
- 市内の各所に空き地や空家があると思いますが管理されていない所もあり、ブロック塀が崩れそうな危険な箇所もあります。児童が通学で歩く際に万が一地震等の自然災害が起こったらとても恐ろしいです。
- 常時安心して生活出来る対策。1. 廃校になった学校の利用（避難、その他）2. 梅雨時期安心した生活できない（万田）。いつ水害になるか。毎年1～2回は必ず道路まで水があふれる。
- 深夜に子どもたちが外をうろついている（中学生など）。
- 住む地域の安全性：街灯、防犯カメラの増設。
- 道路の中央線が消えて全く見えない場所もあり、雨で路面がぬれて反射した時が危険だと感じます。
- 歩道が狭い。
- 市の管轄ではないと思いますが道路の白線が消えているところが多く、他から来た方は夜の車の運転が怖いそうです。一日も早く車線を変更するところなど（センターラインなど）引いてほしいです。
- ペットと避難できる（同伴できる）場所を要望します。
- ペットと行ける避難所があると嬉しいです。
- 私の道は昔は市道でした。子どもは学校に通って通学していました。昔はナビで軽自動車が通路を示したので通るということがありました。自転車、バイクはもちろん散歩コースはもちろん、中学校、小学校のマラソンコースにもなっていて現在も行われている。現在は里道になっています。何故か私達は土地を無償にて提供している。この道は後々まで通れるようにしていつてもらいたい。本当にもっと話を聞いてもらいたい。
- 私の居住地は川のそばの土砂災害警戒区域です。避難するときは小袋工芸館かみどり

蒼生館ですが、どちらも歩いていける距離ではありません。菜切川の上流ですが川の道が大雨時は変化します。またイノシシがほじくりかえします。危ないけど平屋の真ん中で過ごします。咳が出るし、ストレスでお腹が緩んでトイレの心配があります。避難場所に行けません。いろんな理由で行けない人多いかもしれないと思います。

- 安全安心なまちづくり：雑草の除草、道路整備、デコボコが多い、町中が暗い、街灯設置がなされていない、公共交通機関が全く整備されていない、などです。税金の有効利用をお願いします。
- 近所に空き家や管理の行き届いていない家があり、防犯や防災面で心配。
- 荒尾に住み長くなりましたが街灯が少ない。孫が学生の時暗くて怖い思いをしました。
- 至るところに放置された大木があり常々危険だと思っている。電線にかかっていたり、交通の見通しを悪くしていたり全く管理されていない。併せて歩行者ラインに伸び放題の雑草も気になる。見た目も悪いし、事故犯罪にも繋がりがねない。行政の怠惰さを象徴していると思う。荒尾市＝手入れされていない荒れ地だ。市民にばかり清掃活動を強制せずにはまずは行政が視界良好な街並みの徹底をして欲しい。
- 平井小学校への通学路が危ないので整備して欲しい。

【都市基盤、定住環境、公共交通分野】

- 80才になったら免許を返納するつもりですが、車が無かったら交通機関がないので買い物や病院通いが不便。バスじゃなくてマイクロバスのような車が定期的同じコースを回ってほしい。
- 荒尾駅：コンビニや店舗など入るともう少し活気がある駅になるのではないかと思う。
- 荒尾駅の改良：バリアフリー化の関係で西口改札、橋上駅、平面交差、エレベーター新設等色々な話が10年位前から話があったみたいですが、なかなか決まらないのは何が原因なのでしょう？駅舎の老朽化、長い跨線橋、ホーム、駅前の再開発はされないまま老朽化している。
- 荒尾市と固定することではありませんが世間の物価高にはついていけない。給料は安いのに家賃は近隣と変わらない。残りで生活も厳しい。年金もしかり（80才過ぎの方は多いかも？）一人暮らしも一人分購入も難しい点多々。高齢者は食事の量も減り、一人気軽に入れるようなワンコインとかのお店が出来てくれると外出の機会も増えたり、独居対策につながっていかないかと・・・
- 荒尾市に道の駅ができるようになっていますが、今から作るのは遅すぎだと思う。大牟田の道の駅も短い期間でしたね。それよりも皆が行くような公園、子どもたちが遊べる公園、荒尾には何も魅力になる目玉がないように思います。人が集まる町づくりをお願いします。
- 荒尾市は車社会ですが、運転できない者もいるのももう少し公共交通機関の車数を増やしてほしい。増やさなくてももう少し安くしてほしい。
- 一番は荒尾駅の利便性。少し南へ移動してバリアフリー化、東西両方に入出口を作る計画はあるそうだが、あまりに遅い。線路をまたぐ橋をロングブリッジとか言って喜んでいるのは60年は遅れている。JRの利用客だけの問題ではなく、荒尾市の顔をどうするかの問題である。
- いつも私たちの暮らしを支えてくださりありがとうございます。市営施設について、「こんな施設が身近に欲しい」と感じている施設についての要望です。私は生まれたときから荒尾市に住んでいますが、荒尾市民図書館が自宅から遠く、自宅以外に勉強

ができたり、子どもが遊べる広い公園が欲しいと思っていました。大学生になった今も、少し勉強したいときに身近に立ち寄れる場所が欲しいと感じています。荒尾競馬場跡地の開発計画も進めておられるかと思いますが、市民が休憩したり、ちょっと勉強をしたり、子どもを遊ばせたりできるような市民の広場のような施設があると嬉しいです。

- 今、平山に建設中の工場がありますが、交通設備が心配で何人従業員がおられるかわかりませんが、朝や帰りの交通渋滞も懸念されます。事故など起こらないといいですが・・・小学生もいるので工場内部だけでなく周囲も整備が必要かと思えます。
- 沿岸道路早期実現頼みます。
- 大雨による道路冠水、さらには何十年も住んでいるので道路の舗装工事も全くなく老朽化し、飛び石等も発生している現状なので早急に改善してほしい！
- 大島で橋桁5~6か所作っているけどあまり進んでないみたい？昔の荒尾競馬場は工事中ですがどうなっていくんですか？
- 親が80歳過ぎました。買い物、病院へ行くのにバスが少なすぎると思えます。回る道路を見直してください。バス停が少なすぎます。送っていける時はいいですが仕事で行けない時が多いです。おもやいタクシーも考えてください。内容がよくありません。空家住宅も多くなってきました。
- 現状では自動車がないと不便を感じると思っていて、これからは免許を返上する老人も増え、引きこもりがちになってしまう。市内を走るバスの無料化を実現してもらいたい。元気な老人が買い物したりスポーツ施設で運動したり、お金をたくさん使うはずだ。
- 高齢化に不安：後継ぎ、班の存続、文化伝統の問題。
- コンパクトシティ：シティーモール周辺に様々な店舗や病院などがあり、便利だと思えますが、流行のインテリア用品や服飾品などは、ネット通販か大牟田市などへ買いに出ています。近年、長洲町や玉名市から荒尾市へ買い物に来ている方や、子育て支援を求めて、ファミリー世帯が引っ越して来ていると聞きました。シティーモール周辺へ、IKEA、ニトリ、ユニクロ、等、大型店の出店を望みます。シティーモール周辺でも、細い道が入り組み、直線距離ではすぐなのに迂回しないと行けない場合があります。増加が予想される空き家などを整理し、車が通りやすい道路整備を望みます。
- 桜山町にも空家があり、市としてどう処理するのが問題です。解体費用の問題があるが更地にした方がよいと思えます。市により安い老人ホームを作してほしい。
- 市街地から高速道路が遠い、荒尾駅も遠い。
- 自然は多いが整備されていないため、町全体が汚い（犬のフンや雑草、空家）。
- 自動小型バス運転など便利になるように早くなってほしい。海陽スマートタウン：道の駅ができるようですが、賑わいのある町、行きたくなる場所になってほしい。治安が悪くなるのでは・・・不安があります。
- 周辺の施設：スーパーや医療施設の充実。
- 数年数十年前に比べるとまちは大きく変化してきたと思えます。それは衰退ではなく深化している感じだと思います。少しずつ道路の整備、商業施設ができたりとグリーンランドの周辺は中心街になりつつあると思えます。ただグリーンランドを取り除くと普通の街です。何かほかにも荒尾市を目立たせるものを作り上げていっていいのではと考えます。病院も有明医療センターが出来ましたが新築しただけで内容はちょっとした個人病院の方ががまだいろいろな疾患に特化しています。ちょっと足を延ばせば大牟田には商業施設があり病院も多数あります。ちょっとしたきっかけが市を出たいと

いう気持ちになります。そう思わせないためにも荒尾市で満足できる生活環境をお願いしたい。子どもと言えはすぐ給食費、医療費免除、高齢者と言ったらそこを手厚くすると何か極端すぎる。あと何年この景色をみれるのかわかりませんが期待したいと思います。

- 中央区の市営住宅は毎年抽選をされているようですが、当選するのは1, 2軒、ほとんど待機状態です。最初からそう言ってほしいですね。何度も役所に足を運んで期待だけさせないでほしい。しかも未だに空室が多い。入る予定がある方は早々に入居してほしい。随分な期間、随分な数の空室があります。通るたびに腹が立ってくる。困っているから申し込みをするんです。なかなか入居しない人のために空けておくのはいかがなものでしょう。
- 中央公民館が古すぎて調理室など使用しにくい。食器や機械類、調理器具等も揃っていないし、整理しようがない。棚もオープンで不潔である。各部屋も使いにくく、魅力を感じない。○○講座とか募集があっても参加を考えます。
- ゆめタウンシティモールの駐車場を開放してほしい（月極でも可）。
- 道路工事が遅い。例えば有明沿岸道路工事では佐賀の方では格段に工事が進んでいるが、荒尾市の工事は遅々として進んでる？野原の辺りに道路工事が終わってるようなところがあるが、いつになったら開通するのか？大牟田、玉名など電柱の地下化が行われているが荒尾はしないの？
- 道路上で思う。横断歩道の白線（印）が消えかけているところが多い。白線も消えてしまっている黄色の線も同じ。ある所はあるが、全部はない。小学校近くでは路面に色で表示してあるところは良いと思います。
- 道路の整備：沿岸道路の早期開通、歩道自転車道の整備。
- どうしたら移住したくなるのか、移住したくなる町を参考にして頑張ってください。荒尾市が魅力ある市になる事を願います。
- 年寄りには交通の便をもっと良くしていただきたいです。
- ネットで「1台の自動運転バスが町を変えた」という記事を見ました。荒尾市としても産交バスさんと協力して自動運転バスの実現を検討してみてください。
- 自転車道等を整備することで他市からの流入を図る。10年ほど前、親との同居で荒尾へ帰って来たのだが、今年6月で定年退職（大牟田市）し、ハローワークや年金手続等で玉名市まで行くのが苦労。今後、不動産登記等もあり、荒尾市で出来るようにお願いしたい。
- 2年前私が病気をして車が乗れなくて、バスを利用しましたがバスの台数が少ない。バス停にイスがない。
- JR 荒尾駅に東口を作るべき。国道沿いに宿泊施設や飲食店があり、大きい荷物を持った観光客や出張者が遠回りをしている場面を多く目にするので。
- 道路整備も含めて。乗り合いタクシーは自宅まで来てほしいです。
- バスの回数が少ない。交通便が悪い。
- 人が減らないよう誘致のことを進めることも大切なのですが、これから増え続ける空き家問題も深刻で、自分の近隣でもほったらかしのところが多くなってきました。早めの対策が必要です。まず独居家庭の住人年齢や確実な連絡先を把握しておくべきで、気が付くと権利者が誰もわからず、勝手に取り壊すこともできず、荒れています。世帯が減るのは確実なので考えていただきたい。
- 民生委員をしていますが、近くに大きいスーパーもなく、バスも通らず、皆さんとても不便に感じておられます。市の中心ばかり、商業施設が（スーパーなど）あって、もう少し田舎の方にも目を向けてほしい。病院も少ないです。移動販売カーも利用で

きるなら来てほしい。買い物、病院行きも子供さんたちにお問い合わせされています。

- もっと公園を増やしてほしい。
- もっと施設にお金を投資して欲しい。公共施設の老朽化が著しいと感じる。特に、トイレは古すぎるのではないか。
- 花いっぱい運動：有明医療センター沿いの花壇に花を植えるは良いが、その後のメンテナンスが全くされていない。現状であれば植えないが良い。
- 公共交通の整備、草刈り条例の推進、文化活動。
- 公共交通機関が充実すると良い。
- 荒尾駅が東側から乗り降りできるようにして貰いたい。
- 高齢者の為に、車を手放して良いような環境づくりをしてもらいたい。
- 市役所施設が古すぎる。他地域の役場施設と比較して、とても恥ずかしいレベルである。昨日唐津市を訪れる機会があったが、市役所の施設レベルが違いすぎて驚いた。
- 正直転居する前から過疎地域や僻地のイメージが強かった。九州の主要都市の福岡と熊本どちらにもアクセスしやすいというメリットをしっかり押して活性化させて欲しい。熊本方面は半導体関連で雇用が増え、人口が増加する分、土地代も上がるので、広い戸建てが建てやすいベッドタウンとして候補に上げてもらえるようアピールしてみてもどうか。働き世代を呼び込むために子どもの教育環境を充実させてほしい。小中学校を統合し学校施設や教育内容を新しくすることでかなりイメージアップになると思う。学校そのものが古く暗いイメージが強すぎる。こちら納税をがんばるので市としても頑張ってもらいたい。
- 昔の炭鉱社宅（鶯町？）にかなり広い整備し始めてるけど、もっと若者が集まる所を増やして欲しい。
- 南新地の活用法について：広い土地を利用して、雨天時に子どもから大人まで1日中も遊べる施設を建設してほしい。健康維持にもつながると思う。
- 魅力的な街を作っていくのであれば、公共施設を新しくしてくべき。老朽化が顕著な建物が荒尾市にはたくさんある。市役所、体育館、サッカー場、市民プール、野球場...。市外からも人が集まるような施設があれば、魅力は増す。若者が集まるようなスポーツ大会など積極的に行える場所になってほしい。
- 利用しやすい大きな公園：駐車場、遊具がたくさんあり、日陰や水遊び広場なども整備された公園が欲しい。

【協働分野】

- 以前と比べ近所付き合い、住民同士のつながりの希薄さを感じます。私はこれからも荒尾に住みたいと思っていますが、荒尾の魅力は・・・何？宮崎兄弟の生家、荒尾干潟水鳥湿地センター、ジャンボ梨は最高ですよ。しかし高齢者に対し、障がい者に対し優しい所でしょうか。1つスーパーが偏り過ぎなのではないか。田舎の方に行くとも高齢者が多いのに、スーパーもコンビニもなく、困っている方がいらっしゃるのではないかと思います。目の前の困りごとがないか、市の方で検討が必要なのでは。あらお広報を読むのは楽しみです。作成されている方ご苦労様です。市役所の窓口対応の方、もう少し笑顔での言葉かけ、対応をお願いしたいです。
- 土日祝日以外でも平日早朝からの地域清掃への働きかけを市から荒尾広報等を通じて呼びかけてもらい、市民全体で荒尾市をきれいにするという取り組みを行ってもらいたい。特にグリーンランド花火大会やシティモールでのお祭り後は市外より多くの方が来られ、ゴミも出るためイベント後に行うとより良いと思います。道路わきの伸びすぎた雑草を除去する作業を暑い中されているのを最近よく見かけます。作業員の

方々も一生懸命されており本当に感謝しています。花を植える取り組みは毎年あっており、とても良いことだと思います。曜日が関係ないシニアの方やシフト勤務の方も参加しやすい様に平日にも予定してほしいと思います。

【環境保全・リサイクル分野】

- 荒れ地が多いです。
- 海外では海の近くの環境がとても美しい（オーシャンビュー）というだけで地価が高く、評価が著しく高い。海岸線の道は狭く、松が枯れたものも多い。もっと美しい海岸ビューになることが好ましい。せっかく夕陽が綺麗なのにもったいない！
- 車を走らせていると雑草の伸び放題でもう少し町全体の美化作業に力を入れてほしいと思います。
- ご近所数軒で一か所にごみを集めるのですが、早く出すところがあり、カラスが毎回散らかしています。歩道に散乱しているので掃除をするのですが毎回なのでとても大変です。長洲町でのゴミ出しでは水色のごみネットステーション（折りたためます）があります。荒尾市でも集合地に用意してもらえると助かるのになと思いました。個人で大きいものを用意するとなるとお金が高くかかります。市で用意していただけるよう検討をよろしくをお願いします。
- ゴミを道や家の前、まして子どもが遊ぶ公園に捨てるのはもってのほか。関西からの移住ですが、朝、カラスやネコが荒らしてとても汚い。公園がリサイクルの場所になっていて、ゴミが散乱。ガラスや鉄パイプなども落ちていてとても安心して遊ばせられる環境ではなくそのまま帰るという経験を何度しました。荒尾はせっかくいいものがたくさんあるのに勿体無い。観光客へのアピールも、あまり響かない。仮に来てもらったとしても、そこだけ綺麗で一般道が汚いとなれば幻滅されそう。
- 最近ニュースで雀が減少しているという記事を見ました。増永（有明小校区）は自然豊かで野鳥も多くウグイスの鳴き声にうっとりしながら生活していますが20年前に比べるとアパートがたくさん建ち、人が増え少しづつ変わりつつあると実感しています。人が増え栄え、高齢者も多いので歩いていけるスーパーなどがあるといいなと思いますがこの自然もキープしながら適度に生活に困らず過ごしていけたらいいなと願います。
- 当市の街路樹の私見として不具合点を意見いたします。街路樹は景観、環境づくり交通安全の観点で重要性を持っていると言われています。荒尾市の現状は長洲町に対しても残念ながら目的を達していません。①大谷長洲港線のモチの木ですが、長洲町と荒尾市の樹の勢いには差があります。メンテナンスの頻度等が考えられます。②増永緑が丘線（市屋から本村間）のシュロの木のあまりにも貧弱状態が目立っていて残念です。新しく樹木の剪定していただき、よろしく願いいたします。
- 道路わきの花壇がいつもきれいに整備されていることは感心する。
- プラスチックごみの収集、大牟田市のように毎週にできないですか。リサイクルしたいですが、リサイクルとして店舗などに持ち込むこともできず、家の中に袋に入れて置いておくのも部屋が散らかり不便です。
- ラムサール条約云々ではなく、あさり貝の採れる干潟に戻ってほしいと熱望する。現状のヘドロの溜まった死の海では、やがて渡り鳥も来なくなるのではないだろうか。白砂青松の昔は無理だとしても、日本一干満の差のある有明海を活かせるような施策を考えてもらいたい。
- プラごみの回収を燃えるゴミ並みに回数を増やして欲しいです。しかし、プラごみを別に回収すると、処分にお金がかかると聞きましたが本当でしょうか？水道代、洗剤

代、時間、手間をかけて分別して、処分に余計お金かかるって本末転倒な気がします。

- プラスチックゴミを出す日を週に1回にしてほしいです。2週間に1回では、少なすぎます。
- 燃えないゴミを処理施設に自分で持っていった時、職員さんの対応が悪かった（面倒くさそうな態度）。ゴミの判別が他の市より厳しすぎる。指定ごみ袋に入れて持ち込んだが、家に帰って分別するか、この場でごみ袋を開けて分別しろと言われた。言われ方に腹が立った。対応の仕方を改めてほしい。
- 農地をやめたあとの、土地の維持が大変です。今後高齢になっていくので、草刈りなども出来なくなります。本当に困ってます。
- 野犬について：住宅街でもたまに見かけるが、グリーンランドのゴルフ場（山側？）付近にて夜間を数匹よく見かける。住宅街では夜間に散歩されている方も多く、なんの対策もされずに放置されていると市の治安に対する印象にも影響するかと思われる。

【市政全般・その他の分野】

- このアンケートは所要時間5分ではとても回答出来ませんでした。
- ゆめタウンシティモールで婚活をする。荒尾文化センターで婚活をする。外国人を空家に居住させる（ウクライナ人など）グリーンランドで婚活をする。イオンタウン（ロックタウン）で婚活をする。荒尾の自然豊かな映像をYouTubeで配信（くまモンとともに）。荒尾の飲食店で婚活をする。荒尾のカラオケ店で婚活をする。職場の5人に1人を外国人にする。
- 安心して生活ができる雇用の確保（企業誘致、TSMC関連便乗（市街化調整区域の活用）。唐池府本地区等。高齢化の進行に伴う交通弱者の増加による活発な移動の制限。健康的なライフスタイル構築による高齢者福祉計画。荒尾スマートシティ構想時における道の駅エリアへの温泉施設構築による他所からの集客（例山鹿、七城温泉内カラオケ、レクリエーションによる地域活性化、近隣地区との持続可能な活気ある連携）。雇用の確保による労働力の提供と仕事がしやすい雇用環境の整備並びに待機児童の解消と保育サービスの整備充実。災害が少ない市農水産物の安定的な供給による後継者不足の解消と取り組み他・・・問題点しか記載してませんか PDCA？
- 井手川地区に引っ越して早45年、この地で骨を埋める覚悟で生きている。バスが1日4、5便で車がないと生きてゆけないが、歩くという健康を手に入れている。中央公民館では20年余講師として頑張り、また多くの講座を受け、ありがたかった。小岱山登山、犬と四山登山、荒尾海岸でも犬が喜ぶ。こんな豊かな人生を送って幸せな75歳。今、民生委員としても地区の皆様とふれ合って花を公民館周囲に植え、喜ばれている。行政の皆様、今後もがんばって市を明るい楽しい若い人が集まる街にしてください。
- 運転免許を返上した後の生活が不安です。街並みは市内を知りませんのでわかりません。荒尾干潟はいったことがありません。60才過ぎて戻りましたのでよくわかっていません。
- 過去は石炭産業で国内でも栄えていたが、資源が枯渇し、人材育成、地域に住める、住み続けるための先見さがなく、市外、県外に流れた。今は借金してでもキッチンと生計たてられる分野の人材を年齢や性別、障害なくやれる業種の育成をすべきである。さもないと労働生産人口者は流れ、高齢者が多く、彼らが死亡すれば荒尾自体が消滅まっしぐらである。タックスヘイブン都市になるか富裕層に魅力感じる町にしつつ、計画的な人的、物理投資をすべき（その点菊陽は自然環境とは引き換えにしたが半導体で潤ってい

る) デジタルやセキュリティ、AI 技術者育成を市民に無料で施す。デバイス借出などすべきでは? シンギュラリティには間に合わないかもしれないが、田舎だからうまくいくとその恩恵は後回しになるのが常だから、先手を打て、田舎からよい方へ行く為、とにかく生産力のある分野人材育成をし、人を集めねばここは滅ぶ。

- 議会の可視化。安芸高田市のように議会の様子を you tube 等で可視化してほしい。議員の荒尾市に対する熱意が見て取れると思います。→まちづくりに繋がると考えます。
- 現役世代の意見を取り入れるのも大事だと思うが、これからを担う若い世代の意見を積極的に聞いて若者が住みやすい環境を作っていくのが荒尾市衰退に歯止めをかける策の一つだと思う。
- 現在は結婚後親と同居する若い夫婦は少ないと思う。各家族で会って子どもが結婚や就職で独立するとその後は親世代が年おいて地区や地域に若者が少なくなってしまう。地域全体が年老いていくような感じがする。
- 個人情報が必要な時に入手しにくい。相変わらずの縦割りの形の行政にうんざりしていて、役所に行ったらいろいろ受付場所をたらい回しにされるなど。あと 60 歳を過ぎており、以前は車の免許を持っていたが今現在は失効しています。もう一度免許だけでも取りたいと思っているのですが、そういう人たちのために免許再手配の際の簡素化と免許センター (菊陽町) 以外の受付場所、更新場所 (支所) の建設を望みます。生活保護を受けていてもデジタル通信機器 (携帯) 電話等を常日頃から簡単に持てるようにしてもらいたい。
- 市長はじめ市会議員、行政、ガンバレ!! 50 年前の荒尾はガンバっていましたよ! 荒尾市の一浪人より
- 人口減少に伴い市役所も人員削減に取り組みを実施すべきである。市役所経費削減を実施してください!!
- 税務課に用がありお昼頃だったのですが、職員の方が対応していただきましたが、その時職員の方は昼食を自分のデスクで食べてありました。私はその姿を見て私たちのために仕事とはいえ、食事も別の部屋等で取ることもできないのかと思い、頭が下がりました。また対応していた職員さんにもごめんね、お昼の食事の時に来てと謝りました。市役所職員の方もこの働き方改革というご時世に、食事の場所もないのはと思い、それと同じに頑張っているのだなあ~と感じました。このアンケートとは話がそれていますが、大事なことだと思い書かせていただきました。ありがとうございました。職員さんの対応はとても丁寧でした。
- 地域が独特、地元感がありすぎる。高齢者がいばっている。主人は移住を考えている (他県へ)。
- 子どもがなく後継ぎを探していることについて相談に協力してほしい。
- 30 代の子育て世代が住んで嬉しいと思うまちづくりに期待したい。
- いつか思いを伝えたかったので機会を作っていただいてどうもありがとうございました。集計は大変でしょうが、よりよりまちづくりのために活用してください。お疲れさまです。
- 市民の声を積極的に聴き、それを形にできるかも含めて共に協議し、問 26 は 1 よりの 2。
- 市役所の皆様、どの課に行っても親切に対応してくださるのでいつも有難いです。友人たちに自慢できます。
- ペット同伴のコミュニティづくりの充実: 今やペット同伴は当たり前になりつつあります。荒尾市でも未来のまちづくりに是非とも盛り込んでいただきたい。現在はそのような施設、コミュニティは荒尾にはありません。公共のドッグランの整備など、せつかく

競馬場跡地にも複合施設や住宅や道の駅など計画されていますのでよろしくお願ひします！

- 別にありません。今の状態で良いと思うので、満足しています。
- 老朽化が進み、行く度に心配です。市民が必ず使用し、市の顔でもある市役所で市のために働いていらっしゃる皆さまが少しでも環境が良くなりますよう願ひます。
- 私は大牟田から子どもが1歳の時来ました。荒尾は子育てにいいと聞いていましたが今考えると何が良かったかあまり覚えていません。今は荒尾はこんなことに力を入れますと言って子どもを育てている人を荒尾にいっぱい来てもらってください。TVで見たことがあります。人口がどんどん増えていけばいいなあと思います。今熊本県は台湾の会社など一緒に大きくなっているように荒尾も仕事がいっぱいあって若い人たちが外に出て行かないようになるようにお年寄りも大事に願ひします。
- 一部の人が喜ぶような事をせず市民が望む街づくりをしていただきたい。
- 個人の幸せと公共の福祉について。
- 荒尾市のホームページに、この間30のコーナーを設けていただきたい。
- 荒尾市の予算について 令和6年の荒尾ペイがなぜないのか？子育てにお金が掛かり、唯一外食ができる手段だったが、無くなったことは非常に残念。荒尾ペイの復活を期待します。
- 市議会議員の数をもっと減らして欲しい、多過ぎるし全く役に立って無い。
- 若者が転出せずに安心して暮らせる環境作り。
- 手続き関係(特に給付金関係)が遅すぎる。
- 誰に、どこに向けてまちづくりしているのか全く分からない。子どもが少ないとか言われるのであれば、もっと子どもが伸び伸びと成長出来る環境に投資すべきだと思う。海陽スマートタウン？アジアパーク等の過去の産物はもう忘れたのか？宮浦選手、乗松選手等がせっかく荒尾市出身で活躍しているのに、あの古いみすぼらしい体育館はあり得ない。優先すべき環境整備をよく考え、もう少し荒尾市の未来のことを考えれる人材を採用すべき。
- 誰もが安心して住みやすい街：高齢者、子ども、障がい者にも優しく。道路などの整備強化。
- 要望ではないですけど、職員の方々がよく頑張っている姿をみるのが多くなって来ました。

第3章 調査票

あなた自身のことについてお尋ねします

■ 当てはまるものに○をつけてください。

性別	1. 男 2. 女 ※男女別の傾向を調査する項目があるため、戸籍上の性別でご回答ください。			
年齢	1. 18歳未満 2. 18歳～29歳 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上			
居住地区	1. 荒尾	2. 万田	3. 万田中央	4. 井手川
	5. 平井	6. 府本	7. 八幡	8. 有明
	9. 緑ヶ丘	10. 中央	11. 清里	12. 桜山
	【わからない方は】 お住まいの行政区（町名）等を記入してください。 ()			
通勤・通学先	1. 荒尾市内 2. 大牟田市 3. 玉名市 4. 長洲町 5. 熊本市 6. その他 () 7. 通勤・通学はしていない			
荒尾市での居住年数	1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満 4. 5～10年未満 5. 10～20年未満 6. 20年以上			
移住の有無	1. 生まれてからずっと荒尾市に居住している 2. 一度、荒尾市から転出し、再び荒尾市に戻ってきた（Uターン） 3. 荒尾市以外から移住してきた（Iターン）			
	上記で「2」または「3」と回答した方（荒尾市外での居住経験がある方）にお伺いします。			
	a. 荒尾市への移住の目的・きっかけは何ですか。【1つのみ】			
	1. 自分や家族の仕事（就職・転勤など） 2. 自分や家族の進学 3. 自分や家族の結婚 4. 親や子、祖父母との同居・近居 5. よりよい生活環境を求めて () 6. その他 ()			
b. 転居先を荒尾市に決めた理由は何ですか。【3つまで】				
1. 希望の仕事があった 2. 職場に近い 3. 希望の住居があった 4. 生活環境が良い（利便性が高い） 5. 光熱費、家賃など生活費が安い 6. 自然環境が良い 7. 家族や友人が近くにいる 8. 教育環境が良い 9. 行政のサービスが充実している（例：) 10. 出身地である 11. その他 ()				

健康づくりについて

問1 あなたは、普段朝食を食べていますか。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 毎日食べる | 2. ほとんど毎日食べる |
| 3. あまり食べない | 4. 全く食べない |

問2 あなたは、食事をとるときに栄養のバランスを考えて食べていますか。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. よく考えている | 2. 時々考えている | 3. 全く考えていない |
|------------|------------|-------------|

問3 あなたは、日常的に1回30分以上の汗ばむ程度の運動をしていますか。

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 週3回以上行っている | 2. 週2回行っている | 3. 週1回程度行っている |
| 4. 月1~2回程度行っている | 5. 全くしていない | |

問4-1 あなたは、どれくらいの間隔で健康診断や人間ドックを受けていますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 毎年受けている | 2. 2年に1回程度受けている |
| 3. 3年に1回程度受けている | 4. 5年に1回程度受けている |
| 5. 受けていない | |

問4-2 (問4-1で「5. 受けていない」と回答した方)

その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

- | | | |
|------|-------------------------|-------------------|
| 【理由】 | 1. 元気で必要ないと思うから | 2. 忙しくて受ける時間がないから |
| | 3. 自覚症状が出てからでも遅くないと思うから | 4. 費用負担が大きいから |
| | 5. 時期や方法が分からないから | 6. 面倒だから |
| | 7. 定期的に医療機関を受診しているから | 8. 受けても意味がないと思うから |
| | 9. その他 () | |

問5-1 あなたは、荒尾市の保健サービスや医療体制についてどのように思いますか。

(注)「保健サービス」とは、母子健診や成人向けの健康相談などを指します。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である |

問5-2 (問5-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方)

その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

- | | | |
|------|-------------------------|---------------------|
| 【理由】 | 1. 緊急時の医療体制が整っていないから | 2. 医療機関の数が少ないから |
| | 3. 市内で受けられる診療科目が少ないから | 4. 気軽に相談できる機関が少ないから |
| | 5. 医療に関する情報発信が少ないから | |
| | 6. 保健サービスに関する情報発信が少ないから | |
| | 7. その他 () | |

問9-1 あなたは、荒尾市で子育てをしたいと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問9-2 (問9-1で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」と回答した方) その理由はなぜですか。【2つまで】

- | | | |
|------|--|---------------------|
| 【理由】 | 1. 自然環境が良くないから | 2. 犯罪や事故が多く危険だから |
| | 3. 近所づきあいや地域活動があまりないから | |
| | 4. 公園や児童館など子どもが遊ぶ場所が少ないから | |
| | 5. 家族や親せき、友人など相談できる人や支援してくれる人が近くにいないから | |
| | 6. 子育て支援サービスが充分でないから | 7. 子どもの教育環境が充分でないから |
| | 8. その他 () | |

問9-3 (問9-2で「6. 子育て支援サービスが充分でないから」「7. 子どもの教育環境が充分でないから」と回答した方) どのような事柄が充実するとよいと思いますか。【2つまで】

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 子育て支援に関する相談体制 | 2. 子育てにかかる経済的支援 |
| 3. 放課後や休日の子どもの居場所づくり | 4. 小中学校の施設・設備環境 |
| 5. 市内高校の活性化 | 6. 塾や習い事等の学習環境 |
| 7. その他 () | |

生活全般について

問10 あなたや、あなたの家族(荒尾市に居住の方のみ)の給与について、前年と比べて、改善していると感じますか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 改善していると感じる | 2. 改善していると感じない |
|---------------|----------------|

問11-1 あなたは、荒尾市における労働環境について、どのように思いますか。

- | | | |
|------------------|-------------------|----------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である | 5. わからない |

問11-2 (問11-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方) その理由はなぜですか。【いくつでも】

- | | | |
|------|------------------|---------------|
| 【理由】 | 1. 働く場所が少ない | 2. 希望する職種が少ない |
| | 3. 就労先の会社の情報が少ない | 4. 待遇が良くない |
| | 5. その他 () | |

問11-3 (問11-2で「1. 働く場所が少ない」「2. 希望する職種が少ない」と回答した方) どのような職種があれば荒尾市内で就労したいと思いますか。【主なものの1つ】

- | | | | | |
|----------------|--------|------------|----------|----------|
| 1. 医療、福祉 | 2. 製造業 | 3. 卸売業、小売業 | 4. 建設業 | 5. サービス業 |
| 6. 事務職 (IT系含む) | 7. 農業 | 8. 水産業 | 9. 創業したい | |
| 10. その他 () | | | | |

問12 あなたは、この1年間で路線バス、乗合タクシー、おもやいタクシーのいずれかを利用しましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問13 荒尾市の公共交通 (電車、路線バス、乗合タクシー、おもやいタクシーなど) の利便性について、どのように思いますか。

- | | | |
|------------------|-------------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である | 5. ほとんど利用しない |

問14 荒尾市の街並み (道路の植栽などの景観) について、どのように思いますか。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 美しいと思う | 2. どちらかといえば美しいと思う |
| 3. どちらかといえば美しいと思わない | 4. 美しいと思わない |

問15 荒尾市の地域資源である、ラムサール条約湿地の「荒尾干潟」について、親しみやすいと感じますか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 親しみやすい | 2. どちらかといえば親しみやすい |
| 3. どちらかといえば親しみにくい | 4. 親しみにくい |

問16-1 荒尾市の文化・教養に関する環境について、どのように思いますか。

- | | | |
|------------------|-------------------|----------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である | |

問16-2 (問16-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方) その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

- | | | |
|------|-------------------------|----------------------|
| 【理由】 | 1. 文化・教養のための施設が整備されていない | |
| | 2. 文化・教養に関する行事が少ない | 3. 文化・教養に関する情報が身近にない |
| | 4. 興味がある行事が行われない | 5. その他 () |

問17-1 荒尾市のスポーツに関する環境について、どのように思いますか。

- | | | |
|------------------|-------------------|----------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している | |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である | 5. わからない |

問17-2 (問17-1で「3. どちらかといえば不満である」「4. 不満である」と回答した方) その理由はなぜですか。【主なもの1つ】

【理由】	1. スポーツのための施設が整備されていない	3. スポーツに関する情報が身近にない
	2. スポーツに関する行事が少ない	4. 興味がある行事が行われない
	5. その他 ()	

問18 防犯や防災の観点から、あなたのお住まいの地域は安全だと思いますか。

1. 安全だと思う	2. どちらかといえば安全だと思う
3. どちらかといえば安全だと思わない	4. 安全だと思わない

問19 あなたは、普段から性別や障がいの有無などに関わらず相手を尊重して接していると思いますか。

1. 尊重している	2. どちらかといえば尊重している
3. どちらかといえば尊重していない	4. 尊重していない

問20 あなたは、障がい者への理解や関心があると思いますか。

1. 理解や関心がある	2. どちらかといえば理解や関心がある
3. どちらかといえば理解や関心がない	4. 理解や関心がない

問21 あなたは、日常生活において、家族以外の人と交流がありますか。

1. 毎日交流がある	2. 週に数回交流がある
3. 月に数回交流がある	4. 全く交流がない

問22-1 あなたは、普段インターネットを使える環境(パソコンやスマートフォンなど)がありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

問22-2 (問22-1で「1. ある」と回答した方)

主にどのような機器を使用していますか。(複数回答可)

1. パソコン	2. スマートフォン
3. タブレット	4. その他 ()

問23 あなたが、店舗等で買い物をする際の、主な支払方法は何ですか。

1. 現金	2. 主にカードを利用したキャッシュレス決済(クレジット、電子マネー等)
3. 主にスマートフォンを利用したキャッシュレス決済(QR/バーコード決済等)	

問24-1 あなたは、デジタルサービス(インターネットやスマートフォン、タブレットなどのデジタル技術で提供されるサービス)が進んでいく中で、デジタルによ

問27-3 (問27-2で「4. 興味がある行事が行われたい」と回答した方) どのような行事であれば参加できそうですか。【主なもの1つ】

【理由】	1. 除草作業などの環境美化活動	2. リサイクルに関する活動
	3. 交通安全や防犯に関する活動	4. 消防団や避難訓練などの防災に関する活動
	5. スポーツや祭りなどの交流活動	6. 体操やウォーキングなどの健康づくり活動
	7. その他 ()	

荒尾市の住みやすさについて

問28 あなたは、荒尾市での暮らしについてどのように思いますか。あなたの考え方に近いものを1つ選んで番号に○をつけ、その理由をお答えください。

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば不満である 4. 不満である
--------------------------------	------------------------------

↓ 「1」または「2」と回答された方

↓ 「3」または「4」と回答された方

その理由について、当てはまるもの3つまで○をつけてください。

その理由について、当てはまるもの3つまで○をつけてください。

1. 郷土・ふるさとである 2. 人情が厚い 3. 自然環境が良い 4. 働きやすい環境が整っている 5. 物価が安い 6. 日常の買い物が便利 7. 交通の便が良い 8. 医療・福祉が充実している 9. 子育て環境・支援が充実している 10. 教育環境が整っている 11. 大きな災害が少なく安心できる 12. 治安が良い 13. 観光資源や娯楽施設が豊富である 14. コミュニティが充実している 15. その他 ()
--

1. 郷土・ふるさとでない 2. 人情が薄い 3. 自然環境が悪い 4. 働きやすい環境が整っていない 5. 物価が高い 6. 日常の買い物が不便 7. 交通の便が悪い 8. 医療・福祉が充実していない 9. 子育て環境・支援が充実していない 10. 教育環境が整っていない 11. 災害が起きたとき不安である 12. 治安が悪い 13. 観光資源や娯楽施設に魅力が少ない 14. コミュニティが充実していない 15. その他 ()

問29-1 あなたは、これからも荒尾市に住み続けたいと思いますか。

1. 住み続けたい 3. どちらかといえば市外へ移り住みたい	2. どちらかといえば住み続けたい 4. 市外へ移り住みたい
-----------------------------------	-----------------------------------



問29-2 (問29-1で「3. どちらかといえば市外へ移り住みたい」「4. 市外へ移り住みたい」と回答した方) その理由は何ですか。【主なもの1つ】

